

---

# **KDDI Smart Mobile Safety Manager**

## **Android Enterprise**

### **アプリケーション配信 手順書**

最終更新日 2025年4月17日  
Document ver.1.11  
(Web サイト ver.9.21.2)

---

## 変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2020/3/17	1.0		新規作成
2021/2/21	1.1	2.3 オリジナルアプリをインストールする	Google Play Console ヘルプ参照先変更
		2.6.1 アプリケーション配信設定を作成する	アプリ構成適用の説明を追加
		2.7.3 アプリケーション配信設定を作成する	
2021/7/25	1.2	2.2 アプリを強制インストールする	G Suite を Google Workspace (旧 G Suite) に変更
		全体	Windows 10 Mobile を削除
2022/2/20	1.3	2.2.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	赤枠位置を修正
		2.3.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		2.4.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		2.5.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		2.6.2 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		2.7.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる	
		4.2 インストール／アップデートできないときは	管理サイトと端末の見出しを追加
			参考を追加
		3.1 インストール済みアプリを自動アップデートする	見出し文追加
		4.2 インストール／アップデートできないときは	参考を追加
		2.2.1 企業許可アプリを追加する	セクション追加
		2.5.1 企業許可アプリを追加する	
		2.7.1 企業許可アプリを追加する	
		2.7.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.2.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.3.1 アプリ個別設定を作成する	
		2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.4.1 アプリ個別設定を作成する	
		2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.5.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する	
2022/6/12	1.4	4.2 インストール／アップデートできないときは	参考を追加
2022/7/24	1.5	2.2.1 企業許可アプリを追加する	手順変更に伴い、全体的に修正
		2.5.1 企業許可アプリを追加する	
		2.7.1 企業許可アプリを追加する	
		2.7.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.2.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.3.1 アプリ個別設定を作成する	
		2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.4.1 アプリ個別設定を作成する	
		2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する	
		2.5.2 アプリ個別設定を作成する	
		2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する	

日付	ver	変更箇所	変更内容
		2.6.1 アプリケーション配信設定を作成する 2.7 管理者が登録したアプリのみインストールを許可する 2.7.3 アプリケーション配信設定を作成する 全体	Google Play を Google Play ストアに統一
2022/11/20	1.6	はじめに 2.2.2 アプリ個別設定を作成する 2.4.1 アプリ個別設定を作成する 2.5.2 アプリ個別設定を作成する 2.7.2 アプリ個別設定を作成する 2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する 2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する 2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する 2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する 3.4 企業許可アプリを自動アップデートする 4.2 インストール／アップデートできないときは	全改修 アプリケーションへの権限移譲が表示されている画面に差し替え 自動アップデート設定の手順追加、画像差し替え セクション追加 自動アップデート設定の条件の条件追加
2023/3/26	1.7	2.3.2 企業許可アプリを追加する 3.1 インストール済みアプリを自動アップデートする	セクション追加 説明変更、条件追加
2023/8/6	1.8	全体 1 アプリケーション配信を利用するには はじめに	旧 G Suite の記載を削除 組織 ID が表示されている画像に差し替え 名称・呼称、用語集を追加 商標登録修正
2024/1/14	1.9	全体 2.4.2 企業許可アプリを追加する 1 アプリケーション配信を利用するには	規約に従い、表記揺れなど統一 セクション追加 メニュー名変更のため画像差し替え
2024/7/21	1.10	全体 2.1.1 ユーザーを組織に紐づける 3.5 オリジナルアプリをアップデートする 2 アプリをインストールする	「プロダクト ID」が「パッケージ名」になっている画像に差し替え 「隨時」が「高優先度」になっている画像に差し替え 「2段階認証」パネルがある画像に差し替え セクション追加 2.2 アプリを強制インストールするの注記を修正して記載場所移動
2025/3/24	1.11	2.5.2 アプリ個別設定を作成する 2.7.2 アプリ個別設定を作成する	アプリ構成に使用できるワイルドカードを追加、画面差し替え、説明の変更

日付	ver	変更箇所	変更内容
		2.2.5 端末にユーザーを割り当てる 2.3.5 端末にユーザーを割り当てる 2.4.5 端末にユーザーを割り当てる 2.5.5 端末にユーザーを割り当てる 2.6.3 端末にユーザーを割り当てる 2.7.5 端末にユーザーを割り当てる	割り当てたユーザーが変更できること注記追加

# はじめに

本マニュアルでは、KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解のうえ、マニュアルをお読みください。

## 名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

## 注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

## 記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
[ ]	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
〈 〉	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

## 参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

## 用語集

不明な用語は、以下を参照してください。

[『よくあるご質問（FAQ）』](#)

## オプション機能

オプション機能は、オプション契約をした場合に使用できる機能です。

本マニュアルでは、オプション機能の説明の見出しに **オプション** (オプションマーク) を表示しています。



## 免責事項

- 本マニュアルは、ユーザー種別が「管理者」のユーザーを対象としています。「管理者」以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。
- iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。
- 画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。
- 本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。
- OS のバージョンやブラウザーにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

## 商標登録

- Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。  
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

# 目次

<a href="#">1 アプリケーション配信を利用するには</a>	<a href="#">2 アプリをインストールする</a>	<a href="#">3 アプリをアップデートする</a>	<a href="#">4 その他</a>
<b>1 アプリケーション配信を利用するには .....</b>			<b>9</b>
<b>2 アプリをインストールする .....</b>			<b>10</b>
<b>2.1 アプリケーション配信の流れ .....</b>			<b>11</b>
2.1.1 ユーザーを組織に紐づける .....			12
<b>2.2 アプリを強制インストールする .....</b>			<b>14</b>
2.2.1 企業許可アプリを追加する .....			14
2.2.2 アプリ個別設定を作成する .....			17
2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する .....			20
2.2.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる .....			24
2.2.5 端末にユーザーを割り当てる .....			26
<b>2.3 オリジナルアプリをインストールする .....</b>			<b>29</b>
2.3.1 アプリ個別設定を作成する .....			30
2.3.2 企業許可アプリを追加する .....			35
2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する .....			38
2.3.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる .....			42
2.3.5 端末にユーザーを割り当てる .....			44
<b>2.4 ウェブアプリ（ショートカット）をインストールする .....</b>			<b>47</b>
2.4.1 アプリ個別設定を作成する .....			47
2.4.2 企業許可アプリを追加する .....			53
2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する .....			55
2.4.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる .....			59
2.4.5 端末にユーザーを割り当てる .....			61
<b>2.5 アプリ構成を利用してアプリをインストールする .....</b>			<b>64</b>
2.5.1 企業許可アプリを追加する .....			64
2.5.2 アプリ個別設定を作成する .....			67
2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する .....			72
2.5.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる .....			76
2.5.5 端末にユーザーを割り当てる .....			78
<b>2.6 すべてのアプリのインストールを許可する .....</b>			<b>81</b>
2.6.1 アプリケーション配信設定を作成する .....			81
2.6.2 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる .....			83
2.6.3 端末にユーザーを割り当てる .....			85
<b>2.7 管理者が登録したアプリのみインストールを許可する .....</b>			<b>88</b>
2.7.1 企業許可アプリを追加する .....			88
2.7.2 アプリ個別設定を作成する .....			91
2.7.3 アプリケーション配信設定を作成する .....			97
2.7.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる .....			99
2.7.5 端末にユーザーを割り当てる .....			101

<b>3 アプリをアップデートする .....</b>	<b>104</b>
3.1 インストール済みアプリを自動アップデートする .....	105
3.2 インストール済みアプリを自動アップデートする (アプリケーション配信の利用以前にインストールしたアプリの場合) .....	105
3.3 プリインストールアプリを自動アップデートする .....	106
3.4 企業許可アプリを自動アップデートする .....	106
3.5 オリジナルアプリをアップデートする .....	107
<b>4 その他 .....</b>	<b>113</b>
4.1 注意事項 .....	114
4.2 インストール／アップデートできないときは .....	115

# 1 アプリケーション配信を利用するには

Android Enterprise の「アプリケーション配信」を利用するには、あらかじめ本製品と Google の連携設定を行う必要があります。連携設定が完了しているかどうかは、以下の画面で確認できます。

**表示操作** [設定] → [サービス環境設定] → [Android Enterprise (企業アカウント登録)]

Google との連携設定が完了している場合は、(A)「状態」が「登録済」と表示されています。

(A)「状態」が「未登録」と表示されている場合は、連携設定を行ってください。

管理サイトと Google 間の連携方式によって、設定方法が異なります。事前に連携方式を確認のうえ、連携設定をしてください。詳細については、以下を参照してください。

『Android キッティングマニュアル』 – 「キッティング方法を選択する」

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager web interface. The top navigation bar includes links for 機器 (Devices), ユーザー (Users), 組織 (Organizations), 設定 (Settings), and ログ (Logs). The user is logged in as 'testcompany user1'. The main menu on the left is titled 'サービス環境設定' (Service Environment Settings) and includes options like '通知設定' (Notification Settings), 'アカウントポリシー' (Account Policy), '機器認証制御' (Device Authentication Control), 'ポータル表示' (Portal Display), 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' (Android Enterprise (Enterprise Account Registration)), 'Apple Push証明書' (Apple Push Certificate), and 'Windows情報保護共通設定' (Windows Information Protection Common Settings). The 'Android Enterprise(企業アカウント登録)' option is selected. The central content area displays a modal window titled 'Android Enterprise(企業アカウント登録)'. Inside the modal, the status '登録済' (Registered) is highlighted with a red box and labeled '(A)'. Below this, there are two informational boxes: one about the Android Enterprise feature and another about account deletion. At the bottom of the modal, there is a checkbox labeled '□ 同意する' (Agree) and a button labeled 'アカウント削除' (Delete Account).

## 2 アプリをインストールする



### 注意

- Android Enterprise では、有料アプリのインストールはできません。
- Android Enterprise では、「アプリ内課金あり」のアプリをインストールしても、追加機能の購入などはできません。
- Google の画面は、予告なく変更される場合があります。

## 2.1 アプリケーション配信の流れ

Android Enterprise の「アプリケーション配信」では、大まかに以下の流れでアプリのインストールを行います。

組織に対してアプリケーション配信設定を割り当てる場合は、あらかじめユーザーを対象組織に紐づける必要があります。詳細については、以下を参照してください。

 「ユーザーを組織に紐づける」

1. managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、Android Enterprise で配信することを企業で許可するアプリを「企業許可アプリ」に追加する。

すべてのアプリのインストールを許可する場合は、この操作は不要です。

2. 「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成する。

すべてのアプリのインストールを許可する、または企業許可アプリのみインストールを許可する場合は、この操作は不要です。

3. 「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成する。

4. 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる。

5. アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行う。

6. 端末の Play ストアからアプリのインストール操作を行う。

端末にアプリを強制インストールする場合は、この操作は不要です。

## 2.1.1 ユーザーを組織に紐づける

組織に対してアプリケーション配信設定を割り当てる場合は、以下の手順であらかじめユーザーを対象組織に紐づける必要があります。

ユーザーに対してアプリケーション配信設定を割り当てる場合は、本操作は不要です。

[1] [ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。

[2] [編集] をクリックします。

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager web interface. On the left, there's a sidebar with options like '一覧', 'CSVで追加', 'CSVで編集', and 'CSVをダウンロード'. The main area has a search bar and a list of users. A user named '検査者' is selected, indicated by a red box labeled '1'. On the right, a detailed view of the selected user is shown in a modal window. This window includes tabs for '管理' (Management), '「Appとブック」設定' (App and Book Settings), and 'その他' (Others). The '管理情報' tab shows fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Kanji), '姓' (Family Name), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザー種別' (User Type), '閲覧者' (Viewer), '組織' (Organization), '備考' (Remarks), and '機器認証制限' (Device Authentication Limit). The 'パスワード' (Password) tab shows '現在のパスワード' (Current Password) as '\*\*\*\*\*'. The '2段階認証' (Two-step authentication) tab shows '設定済み' (Configured). The '機器' (Devices) tab shows '機器数' (Number of devices) as '0'. A red box labeled '2' is placed over the '編集' (Edit) button at the bottom right of the modal window.

[3] 「組織」のプルダウンメニューから、ユーザーに紐づける組織を指定します。

[4] [保存] をクリックします。

⇒ ユーザーに組織が紐づけられます。

The screenshot shows a user profile editing screen. On the left, there is a sidebar with tabs: '管理' (Management), '「Appとブック」設定' (App and Book Settings), and 'その他' (Others). The main area has several sections:

- 管理情報 - 編集中**: Fields for '名前' (Name), 'フリガナ' (Kanji), '姓' (Family Name), '名' (Given Name), 'ユーザーID' (User ID), and 'メールアドレス' (Email Address). Below these are radio buttons for 'ユーザー種別' (User Type):
  - 管理者 (All operations available)
  - 操作 (Operations)
  - 閲覧者 (Changes cannot be made)
  - ロック・ワイプ (Lock-Wipe)
  - ログイン (Individual permission settings)
  - 一般 (Login not available)
- 組織**: A dropdown menu showing '全社 > 営業部' (Corporate > Sales Department), which is highlighted with a red box. There is also a '備考' (Remarks) field.
- パスワード**: Fields for '現在のパスワード' (Current Password) and '編集' (Edit).
- 2段階認証**: Status '設定済み' (Enabled) with a '設定削除' (Delete Setting) button.
- 機器**: Shows '機器数' (Number of devices) as 0.

At the bottom right, there are two buttons: '取消' (Cancel) and '保存' (Save), with '保存' being highlighted with a red box.

## 2.2 アプリを強制インストールする

「アプリケーション配信」でアプリを端末に強制インストール（サイレントインストール）するには、以下の一連の操作を行います。

■ 本製品と Google との連携設定で登録されているアカウントが Google Workspace アカウントの場合は、強制（サイレント）インストールが実行できない場合があります。

その場合は、managed Google Play ストアの利用規約の同意が必要です。以下の URL に Google Workspace の特権管理者で Google にログインして、承諾してください。

<https://play.google.com/work/termsofservice>

### 2.2.1 企業許可アプリを追加する

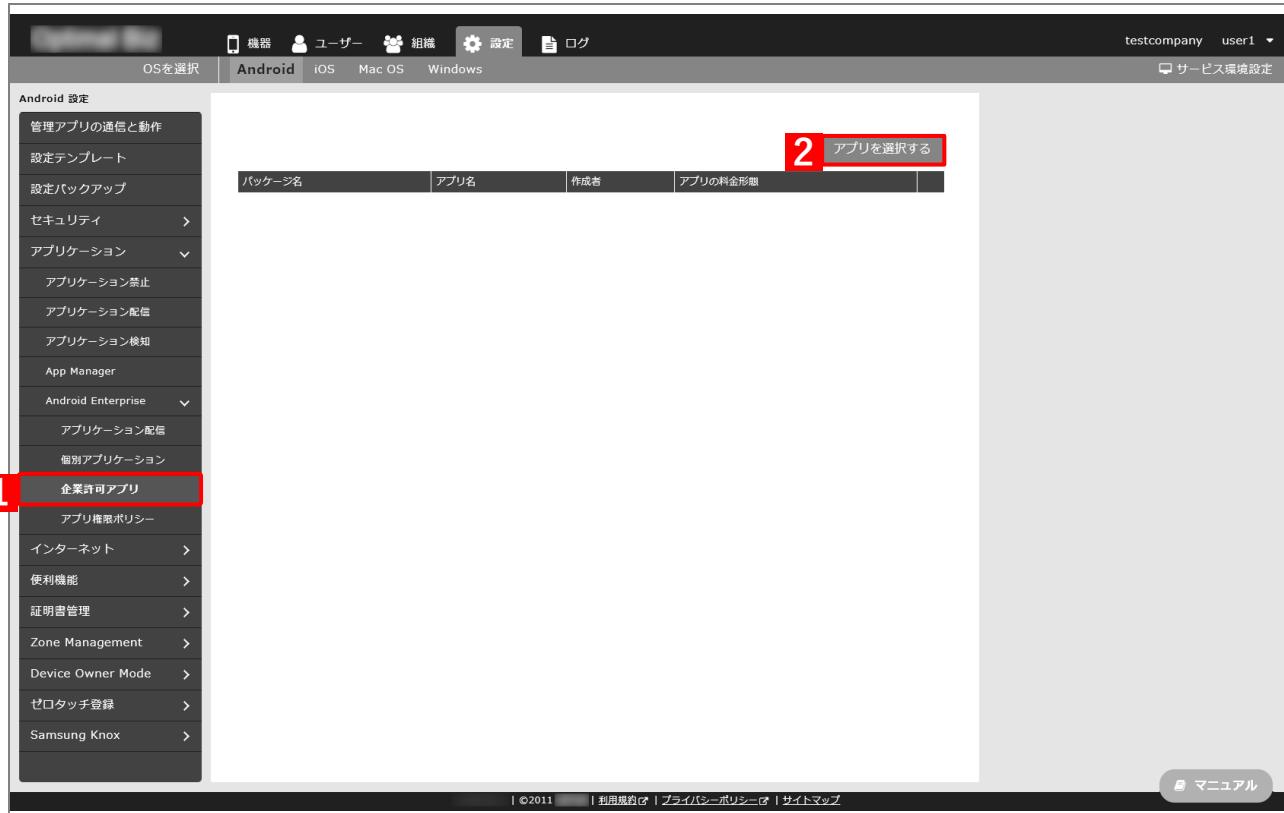
以下の手順で managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、Android Enterprise で配信することを企業で許可するアプリを追加します。

■ 「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

**[2]** [アプリを選択する] をクリックします。

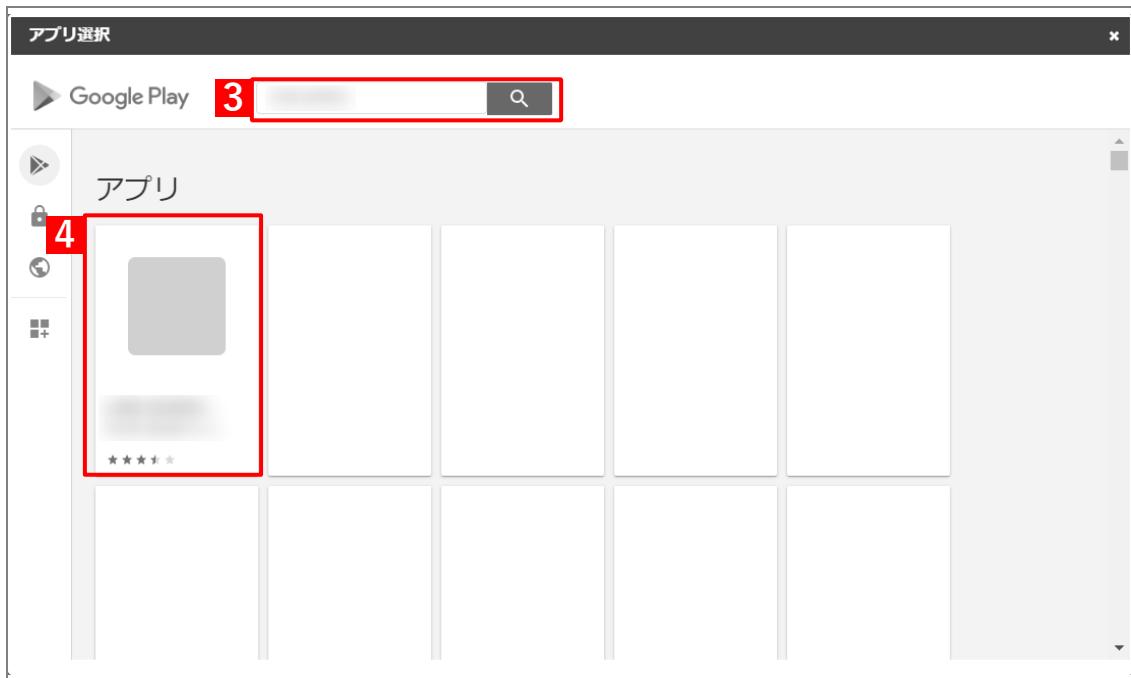
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



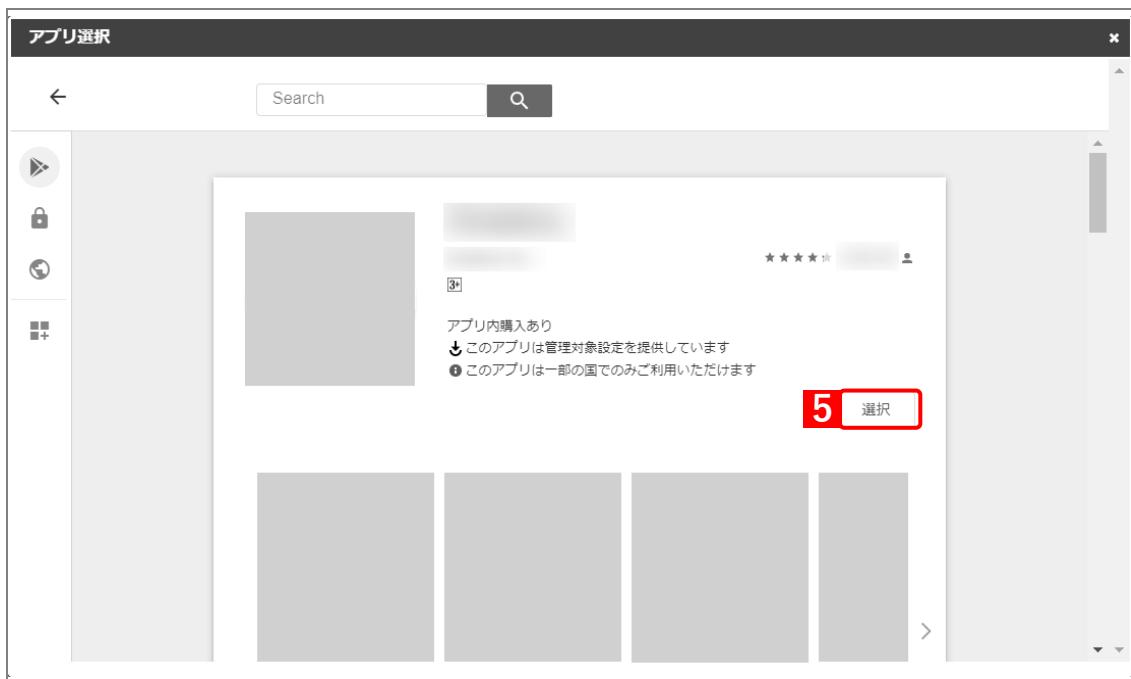
**[3]** 企業で配信を許可するアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

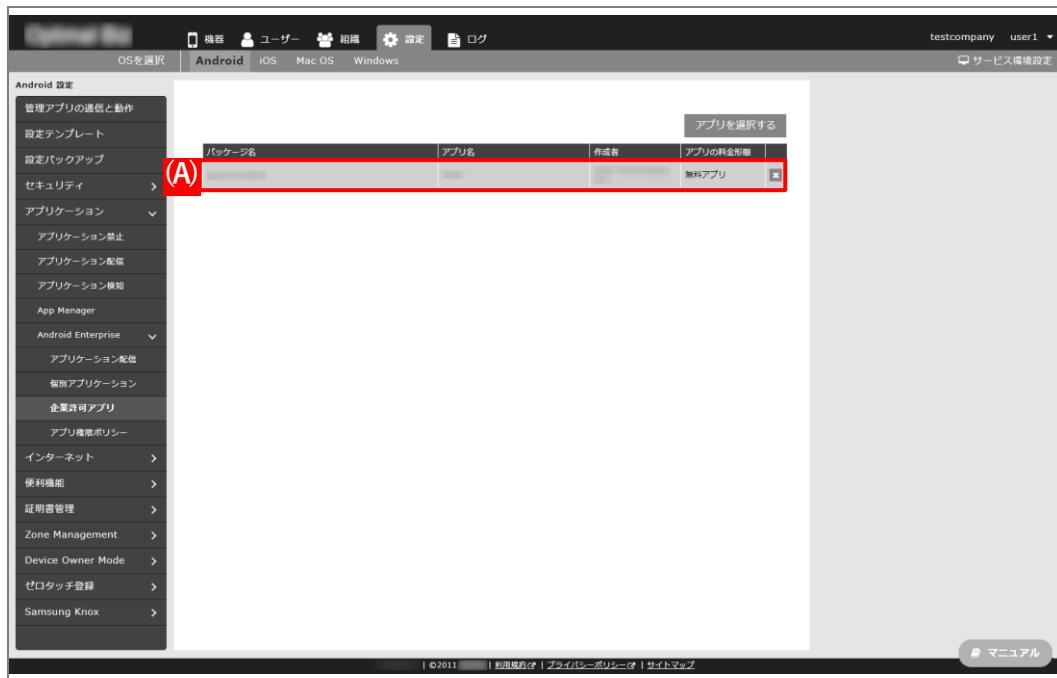
**[4]** 該当のアプリをクリックします。



**[5]** [選択] をクリックします。



⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じて、「企業許可アプリ」に (A) 選択したアプリが登録されます。



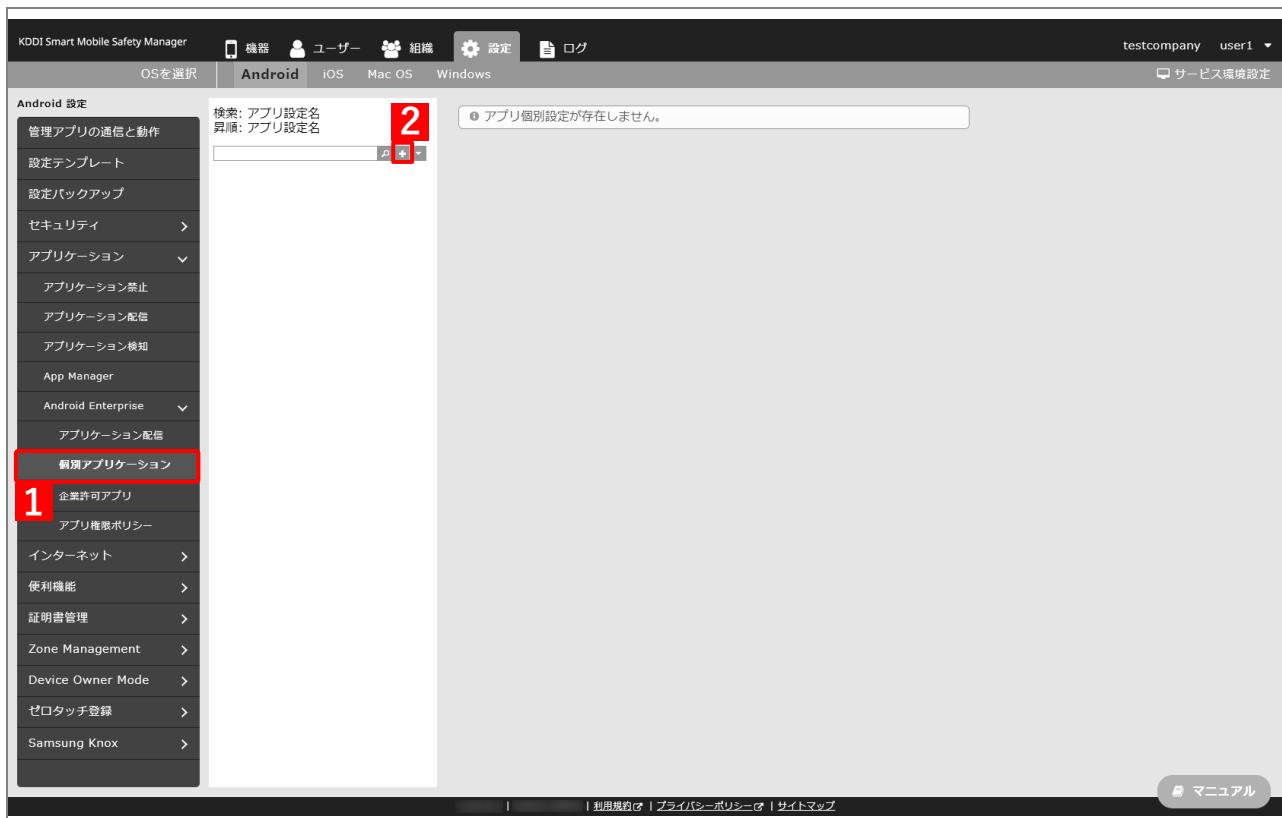
## 2.2.2 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

**■** 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。

**[2]** **+** をクリックします。



**[3]** 「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

**[4]** [アプリを選択する] をクリックします。



**【5】強制インストールしたいアプリをクリックします。**

☑該当アプリが表示されていない場合は、(A)「Search」から検索してください。

☑端末にインストール済みのアプリ、またはプリインストールされているアプリを自動アップデートする場合も、この画面で該当アプリをクリックします。

**【6】[選択] をクリックします。**

⇒managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じます。

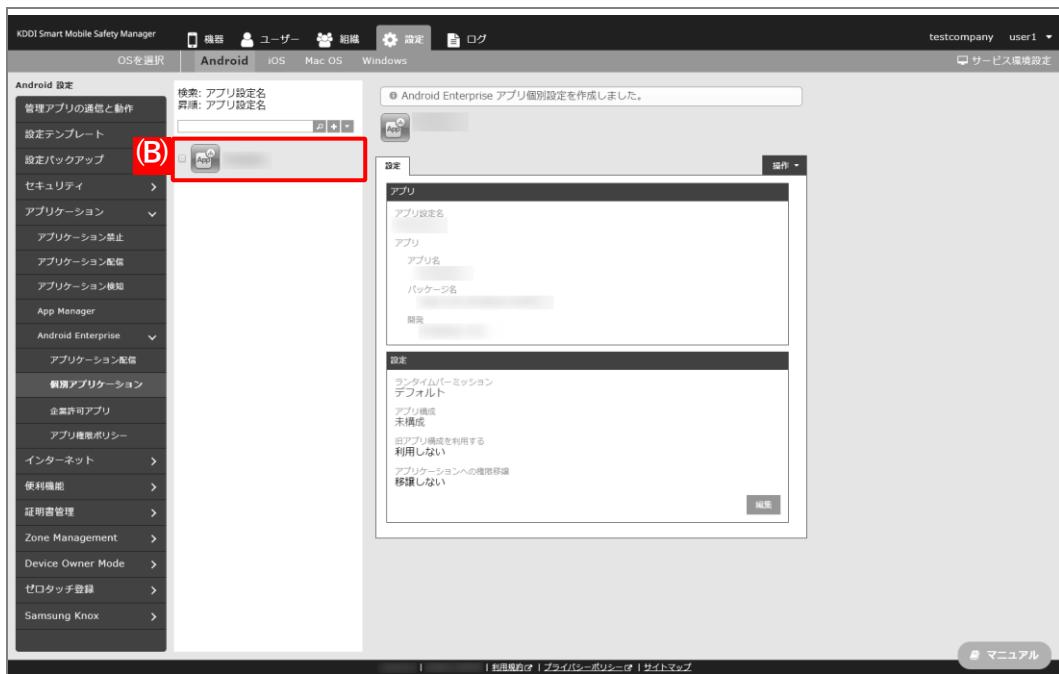


**[7] [保存] をクリックします。**

(A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。



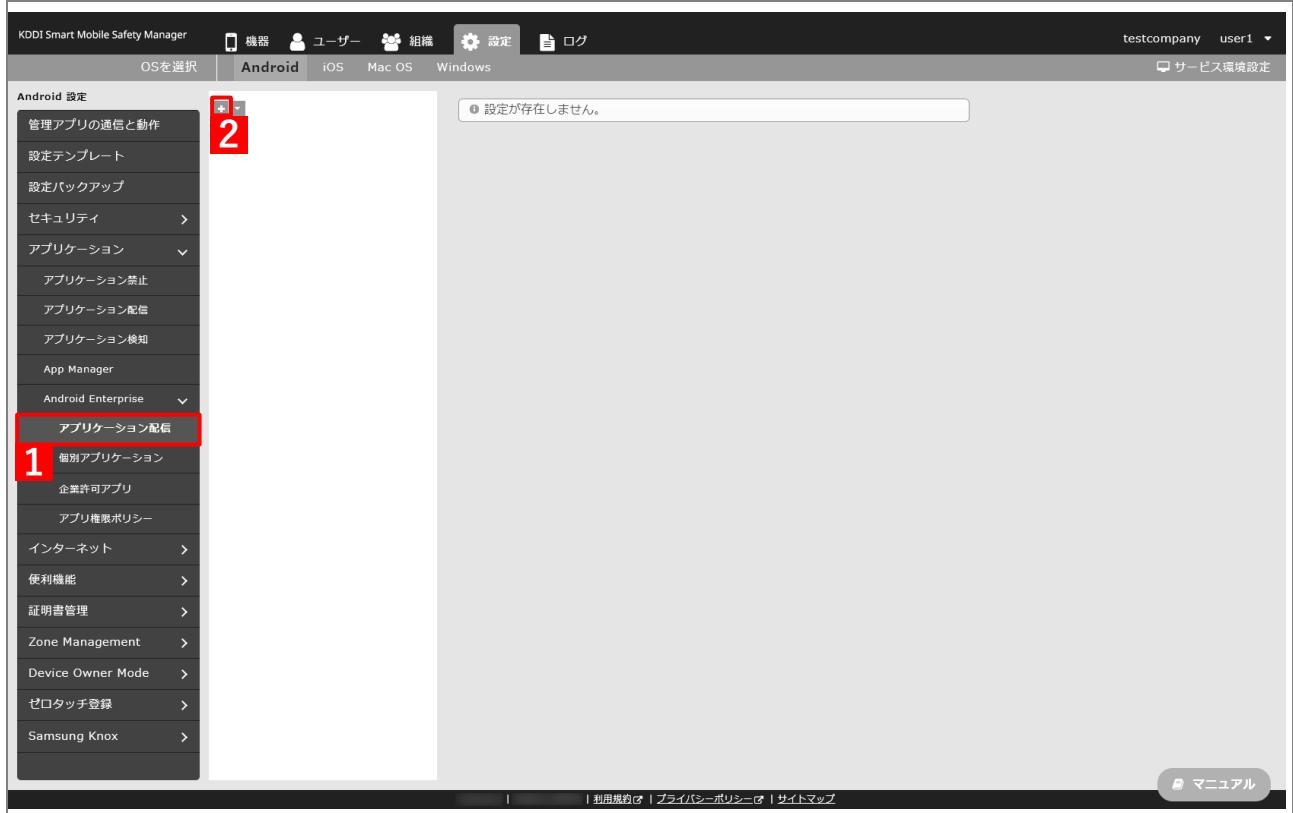
⇒ (B) アプリ個別設定が作成されます。



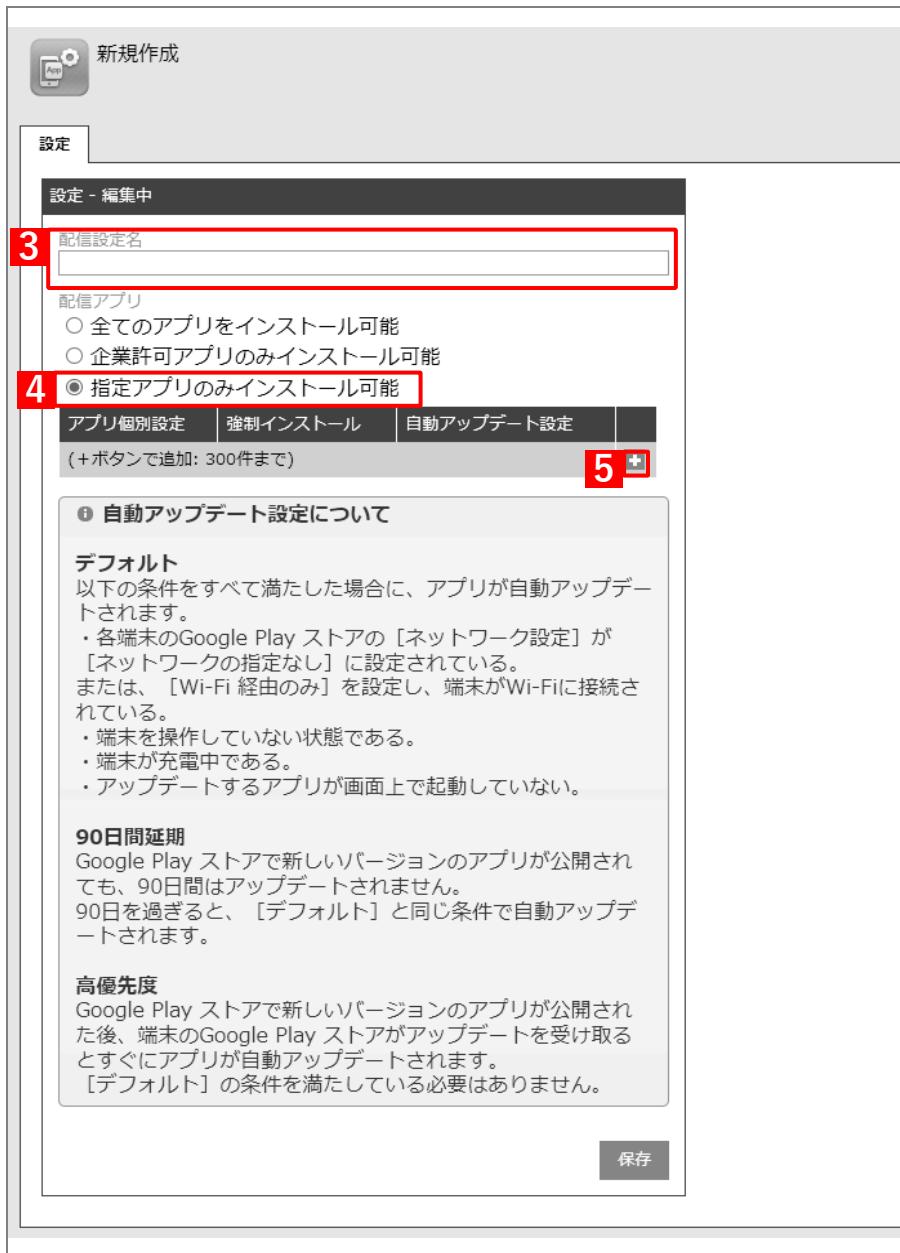
## 2.2.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- 【1】 [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- 【2】  をクリックします。



- 【3】 「配信設定名」に任意の名前を入力します。
- 【4】 「指定アプリのみインストール可能」を選択します。
- 【5】  をクリックします。



【6】「アプリ個別設定」のプルダウンメニューから、「アプリ個別設定を作成する」の手順【3】で設定したアプリ設定名を指定します。

【7】「強制インストール」の「する」にチェックを入れます。

【8】「自動アップデート設定」のプルダウンメニューから、アップデート方法を選択します。

【9】アップデート方法の詳細は、以下を参照してください。

「企業許可アプリを自動アップデートする」106 ページ

【9】[保存] をクリックします。



⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager interface. On the left, there is a sidebar with various menu items. One item, 'アプリケーション配信' (Application Distribution), is highlighted with a red box and labeled '(A)'. In the main content area, a message box says '設定を作成しました。' (Setting created successfully). Below it, a modal window titled '設定' (Setting) is open, showing configuration options for an application distribution. The modal has tabs for '配信アプリ' (Distributed Application), '指定アプリのマイインストール可能' (My Installation Possible for Specified Application), 'アプリ別設定' (Application-specific Settings), '強制インストール' (Force Installation), '自動アップデート設定' (Automatic Update Setting), and '企業許可アプリ' (Enterprise-Permitted Application). Under '企業許可アプリ', there are two options: 'する' (Enable) and 'デフォルト' (Default). A '確認済み' (Confirmed) button is at the bottom right of the modal.

## 2.2.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

- [1]** [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。

The screenshot shows the 'Organizations' section of the KDDI Smart Mobile Safety Manager. On the left, there's a sidebar with options like 'CSVで追加', 'CSVで編集', and 'CSVをダウンロード'. The main area shows a tree view of organizations: '全社' (Corporate) is expanded, showing 'システム企画部' (System Planning Department) and '営業部' (Sales Department), which is also highlighted with a red box and labeled with a large number '1'. Below the tree, there are tabs for '管理' (Management), 'Android設定', 'iOS設定', 'Windows設定', and 'その他' (Other). The 'その他' tab is selected and highlighted with a red box, labeled with a large number '2'. The right side of the screen shows a detailed view of the selected organization, including its name, parent organization, and permission inheritance status.

- [2]** [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。

This screenshot continues from the previous one, showing the 'User Settings' section of the organization details. The 'User Settings' button under the 'Other' tab is highlighted with a red box and labeled with a large number '2'. Other tabs shown include 'Management', 'Android Settings', 'iOS Settings', and 'Windows Settings'. The right side of the screen displays the organization's name, parent organization, and permission inheritance status, similar to the previous screenshot.

**[3]** [編集] をクリックします。



**[4]** プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。

**[5]** [保存] をクリックします。



## 2.2.5 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行うと、端末にアプリが強制インストールされます。

**■** 割り当てたユーザーは変更できません。変更する場合は、Android 端末を初期化して、再度キッティングをする必要があります。

**[1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。

**[2]** [管理情報の編集] をクリックします。

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager web interface. On the left, a sidebar menu includes options like '一覧' (List), 'ネットワークマップ' (Network Map), '認証手順' (Authentication Procedure), '全機器一括設定' (Batch Setting for All Devices), '入力項目のカスタマイズ' (Customize Input Items), 'メッセージ通知' (Message Notification), 'CSVで追加' (Add via CSV), 'CSVで編集' (Edit via CSV), 'CSVで削除' (Delete via CSV), 'CSVでクライアント証明書組付け' (Combine Client Certificate via CSV), and 'CSVをダウンロード' (Download CSV). The main content area is titled '機器' (Device) and shows a list of devices. A red box labeled '1' highlights the first device in the list. To the right, a detailed view of the device's information is shown, with a red box labeled '2' highlighting the '管理情報の編集' (Manage Information) button. The right side of the screen displays various settings and logs.

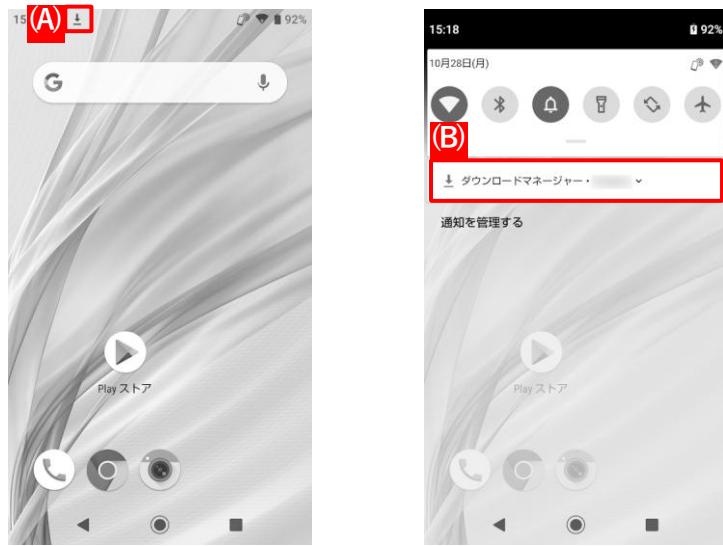
- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。

The screenshot shows the 'Machine' list on the left and a detailed view on the right. In the detailed view, the '归属' (Assignment) section is highlighted with a red box, showing the 'ユーザー' (User) dropdown menu with the option 'ユーザーを組織に紐づける' (Associate with Organization) selected. A red number '3' is placed over the dropdown menu. At the bottom right of the detailed view, there is a '保存' (Save) button highlighted with a red box, and a red number '4' is placed over it.

- [5]** [同期] をクリックします。
- [6]** [OK] をクリックします。

The screenshot shows the 'Machine' list on the left and a confirmation dialog on the right. The dialog title is 'auslsmartmanager.jp の内容' (Content of auslsmartmanager.jp) and contains the message '同期を実行します。尚未の状態によっては反映に時間がかかる場合があります。よろしければ「OK」ボタンをクリックしてください。' (Sync will be performed. Depending on the current state, it may take time for changes to reflect. Please click the 'OK' button if you agree.). The 'OK' button is highlighted with a red box and has a red number '6' placed over it. On the right side of the screen, a success message '機器を変更しました。' (Device changed successfully.) is displayed in a toast notification, with a red number '5' placed over it. The right panel also lists other management options like '管理情報の編集' (Edit Management Information), '設定' (Settings), and '操作' (Operations).

- ⇒ 端末へのアプリのインストールが開始されます。端末の画面にアプリのアイコンが表示されるまでお待ちください。
- ☑ 端末にアプリがインストールされるまでに、多少時間がかかることがあります。
- ☑ アプリケーション配信設定に多くのアプリが含まれている場合は、端末にアプリがインストールされるまでに時間がかかります。
- ☑ 端末にインストール済みのアプリ、またはプリインストールされているアプリの場合、アプリの最新バージョンが公開されていれば自動アップデートが開始されます。ただし、Play ストアの設定で「アプリの自動更新」が「アプリを自動更新しない」に設定されている場合は、自動アップデートは行われません。
- ☑ 機種や OS によっては、インストール中に端末の画面上部に (A) が表示されます。また、(B) 通知領域からインストールの状態を確認することもできます。



## 2.3 オリジナルアプリをインストールする

「アプリケーション配信」で自社開発のオリジナルアプリ（限定公開アプリ）を端末にインストールするには、以下の一連の操作を行います。

managed Google Play ストアであっても、Google Play ストアへアプリを公開する場合の要件を満たす必要があります。managed Google Play ストアへアプリがアップロードできない場合は、Google Play Console ヘルプ内「アプリを公開する」をご確認ください。

☞ [https://support.google.com/googleplay/android-developer/answer/9859751?hl=ja&ref\\_topic=7072031&visit\\_id=637447420079028238-1407887779&rd=1](https://support.google.com/googleplay/android-developer/answer/9859751?hl=ja&ref_topic=7072031&visit_id=637447420079028238-1407887779&rd=1)

Google Play ストアの仕様上、同じパッケージ名のアプリを複数 managed Google Play ストアにアップロードすることはできません。既に Google Play ストアに同じパッケージ名が存在する場合もアップロードすることができません。

関連会社などで同一のオリジナルアプリを利用し、かつ関連会社ごとに管理サイトが分かれている場合は、いずれかの組織で Developer Account（有償）を取得し、Google Play Console にログインしてから、公開先の利用企業に対して限定公開設定を行ってください。Google Play Console での限定公開設定方法については、以下のヘルプをご確認ください。

☞ <https://support.google.com/googleplay/work/answer/6145139?hl=ja>

バージョン違いのアプリを複数アップロードし、組織ごとなどに配信するアプリのバージョンを変えることはできません。

組織内での検証を目的として一部端末に新しいバージョンを配信したい場合は、テスト版リリースを作成してください。オープンテスト版、クローズドテスト版、内部テスト版をセットアップする方法については、以下のヘルプをご確認ください。

☞ <https://support.google.com/googleplay/android-developer/answer/3131213?hl=ja>

Google Play ストアの仕様上、一度アップロードしたアプリを削除することはできません。事前検証用の管理サイトをお持ちの場合は、本番環境で配信予定のオリジナルアプリをアップロードしないよう注意してください。

managed Google Play ストアへのアプリアップロードにおける不明点は Google Play Console ヘルプにお問い合わせください。

☞ <https://support.google.com/googleplay/android-developer>

公開したオリジナルアプリをバージョンアップする場合は、以下を参照してください。

☞ 「オリジナルアプリをアップデートする」 107 ページ

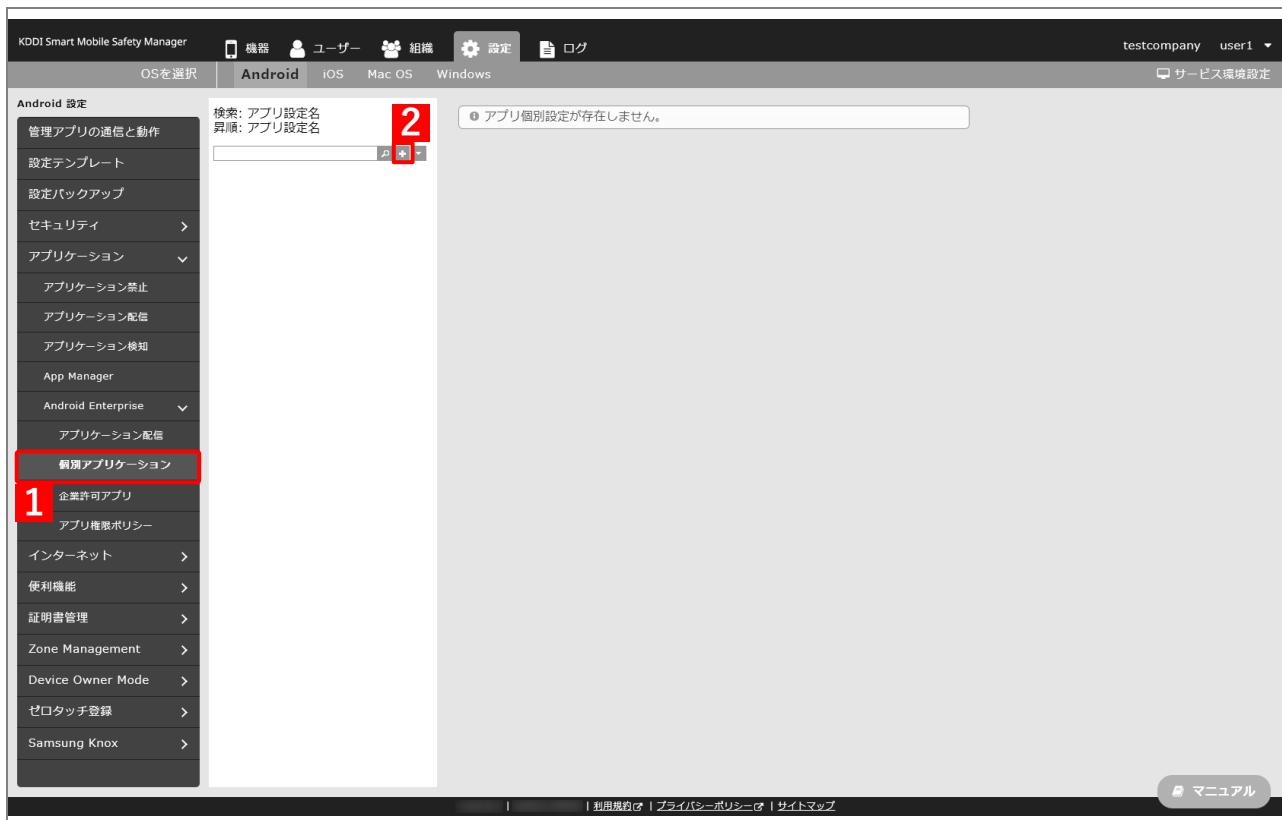
### 2.3.1 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

**■** 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。

**[2]** **+** をクリックします。



**[3]** 「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

**[4]** [アプリを選択する] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【5】（限定公開アプリ）をクリックします。

【6】をクリックします。



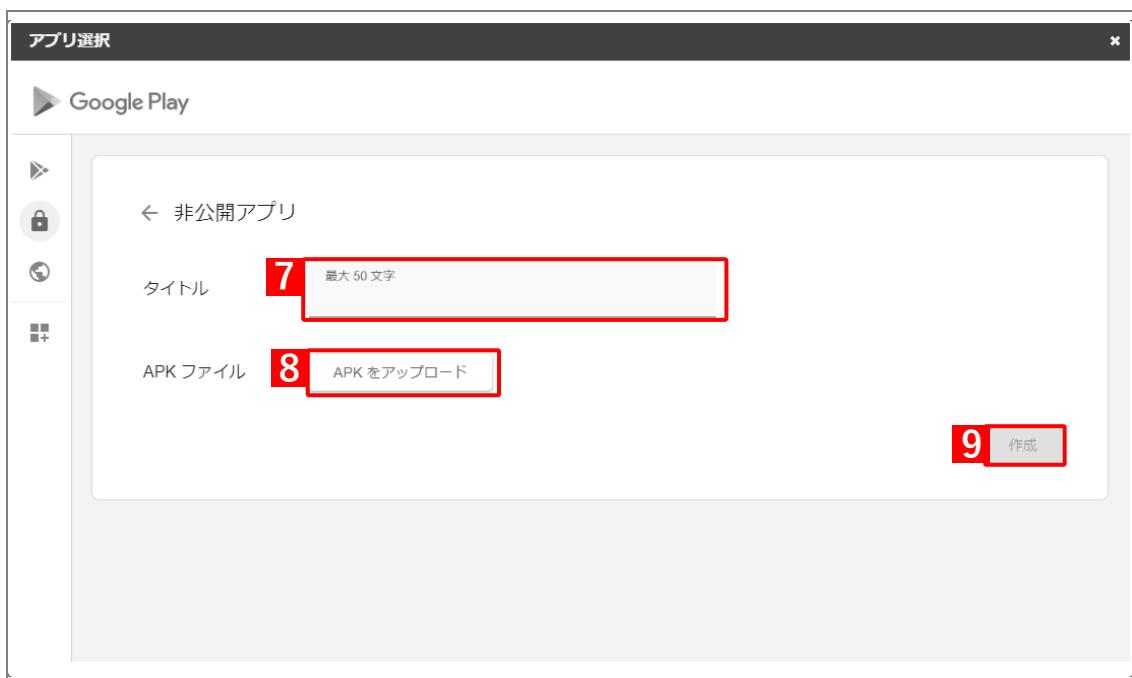
【7】「タイトル」に任意の名前を入力します。

【8】[APK をアップロード] をクリックして、オリジナルアプリの APK ファイルをアップロードします。

【9】[作成] をクリックします。

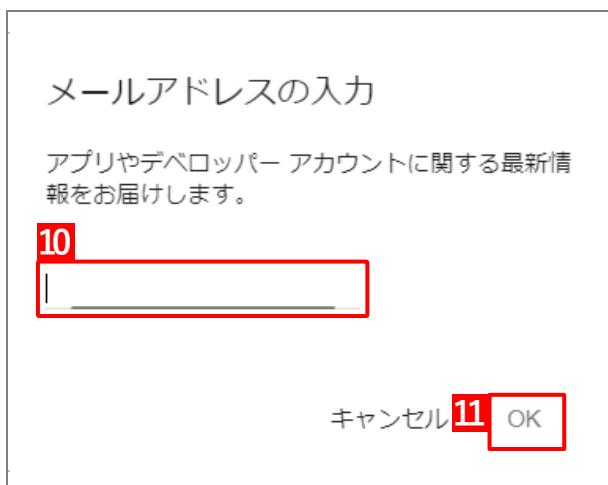
⇒メールアドレス入力画面が表示されます。

既にパッケージ名が Google Play ストアに登録されている場合は、エラーメッセージが表示されアプリをアップロードできません。詳しくは、アプリの開発元へお問い合わせください。



【10】メールアドレスを入力します。

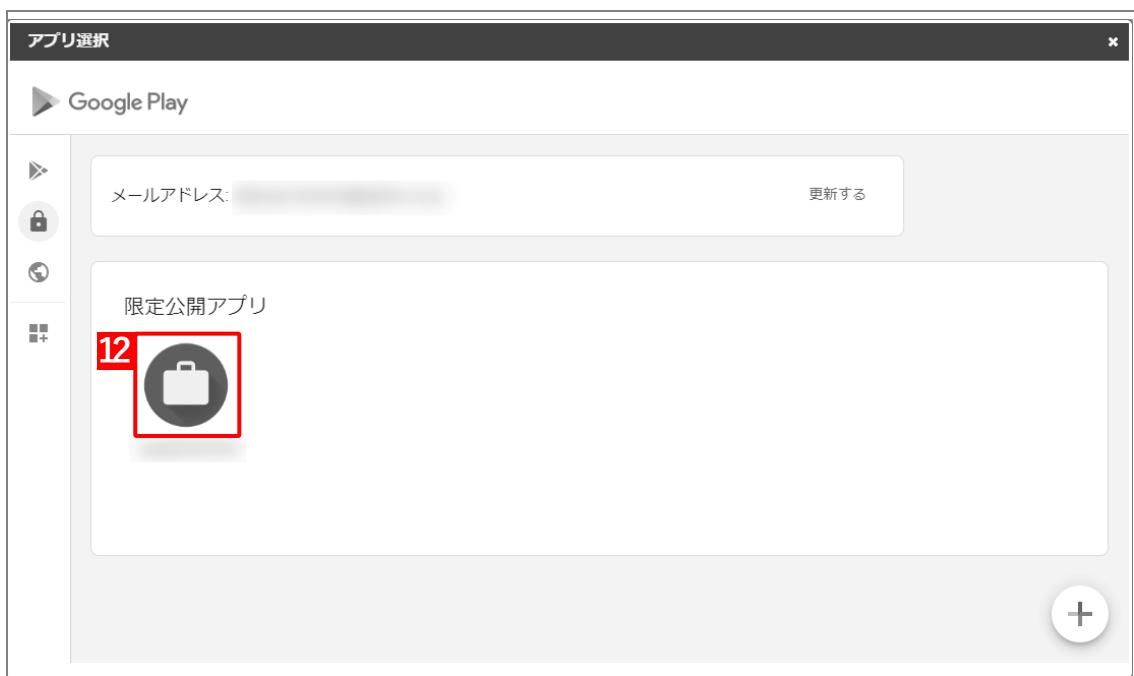
【11】[OK] をクリックします。



☑ オリジナルアプリ（限定公開アプリ）が公開されるまで、10 分程度お待ちください。公開されると、(A)「まだご利用いただけません」という表示が消えます。



【12】公開されたオリジナルアプリ（限定公開アプリ）をクリックします。



**【13】 [選択] をクリックします。****【14】 [保存] をクリックします。**

(A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。



⇒ (B) アプリ個別設定が作成されます。

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager application interface. The main menu on the left includes options like 'Android 設定' (Android Settings), 'セキュリティ' (Security), 'アプリケーション' (Applications), and 'App Manager'. The central panel displays a message: '検索: アプリ設定名 露出: アプリ設定名' (Search: App Setting Name, Exposure: App Setting Name) followed by '(B)' and a red box highlighting a button labeled '新規' (New). A modal window titled '操作' (Operation) is open, showing fields for 'アプリ' (App) and '設定' (Setting), with sub-options like 'ランク/ルール' (Rank/Rules) and 'アプリ構成' (App Configuration). At the bottom right of the modal is a '戻る' (Back) button.

## 2.3.2 企業許可アプリを追加する

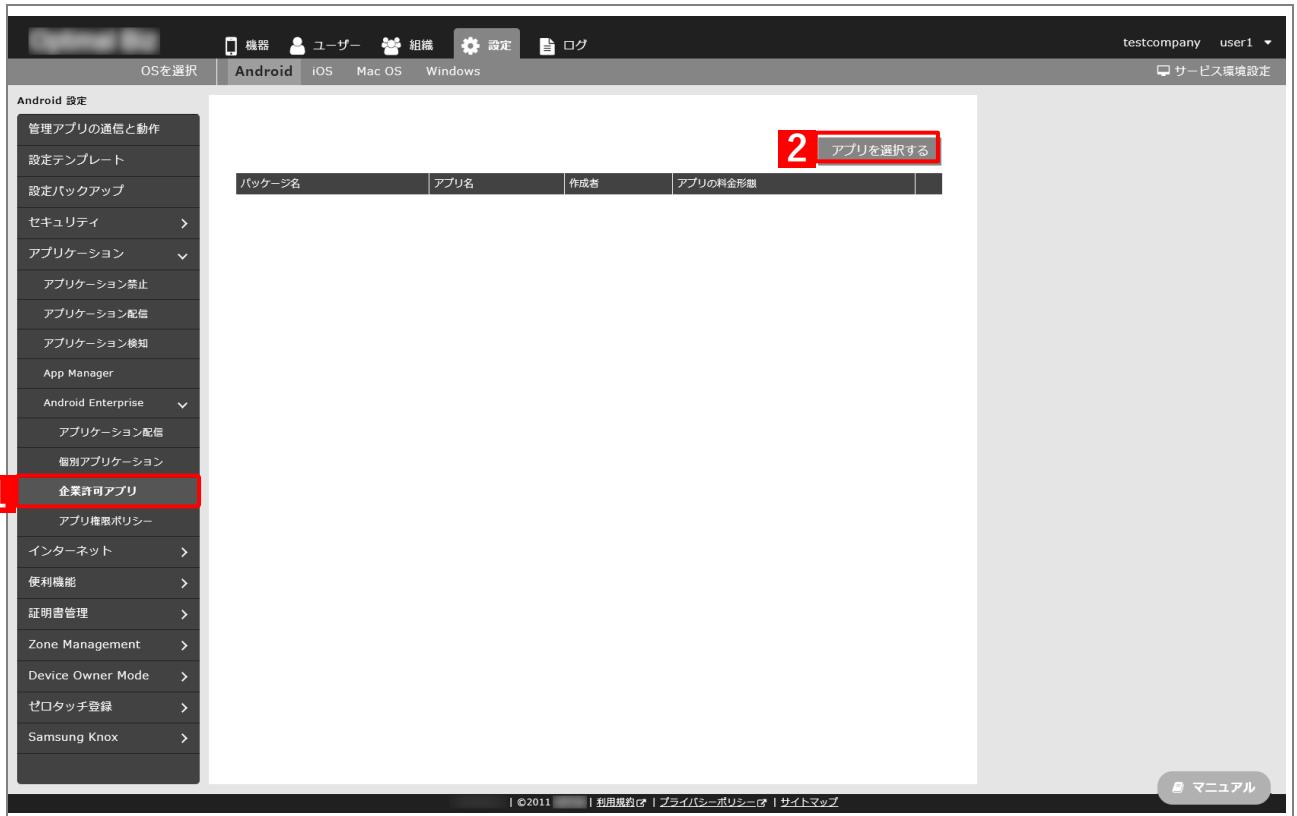
「アプリ個別設定を作成する」で managed Google Play ストアに限定公開したオリジナルアプリを、Android Enterprise で配信する「企業許可アプリ」として登録します。

【筆記】 「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

**[2]** [アプリを選択する] をクリックします。

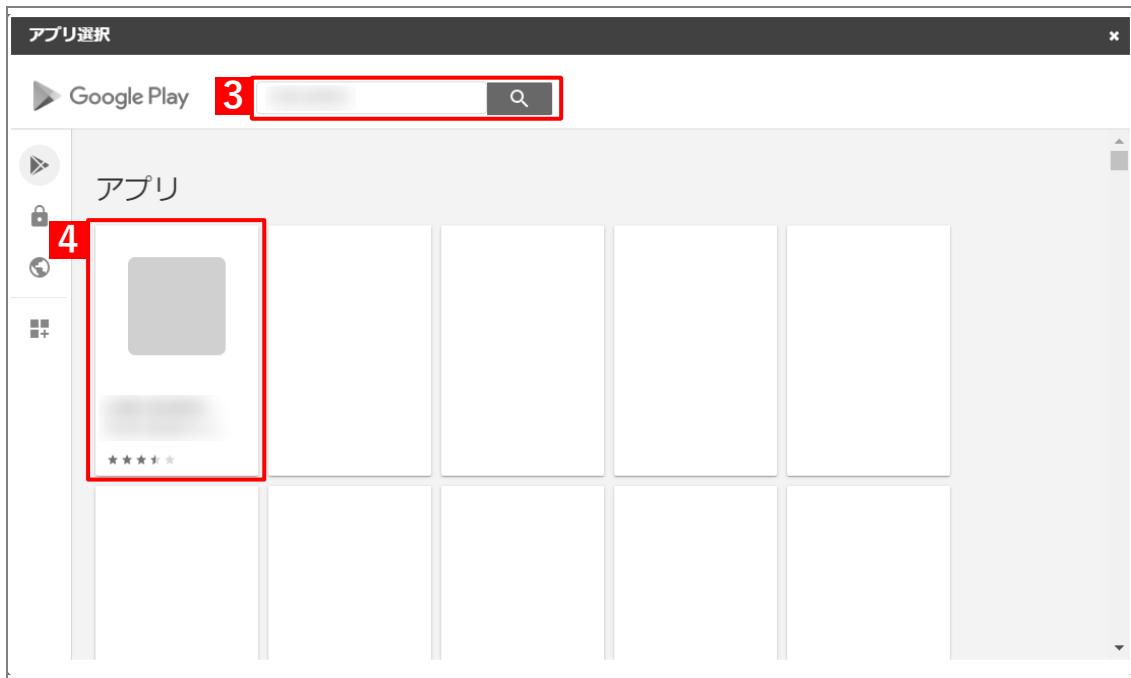
⇒managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【3】 「アプリ個別設定を作成する」で限定公開したオリジナルアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

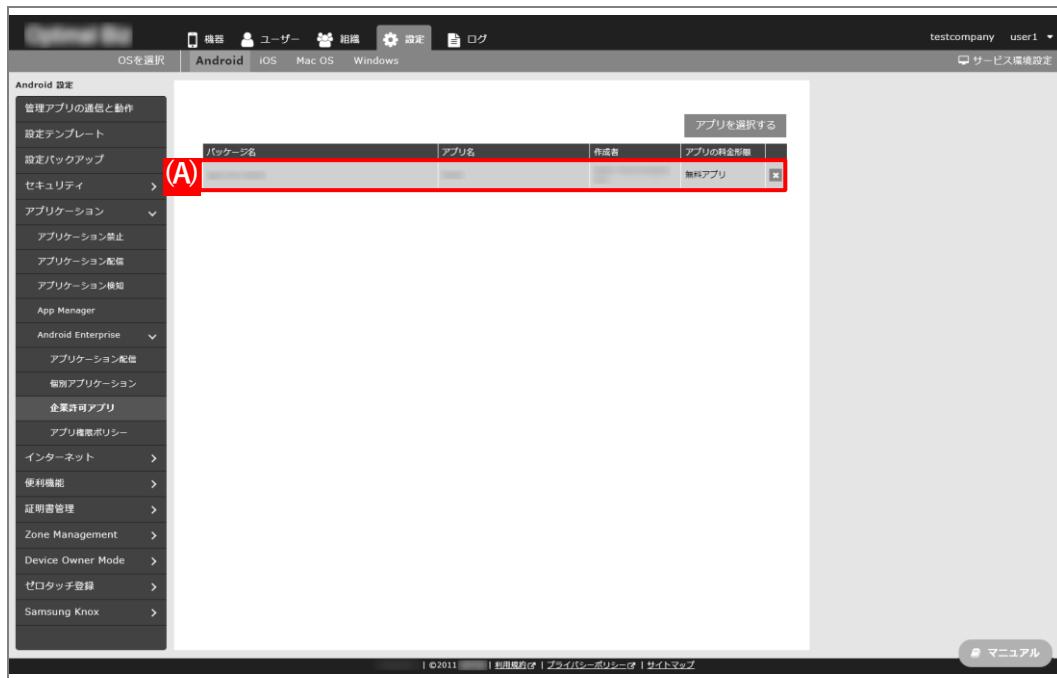
【4】 該当のアプリをクリックします。



【5】 [選択] をクリックします。



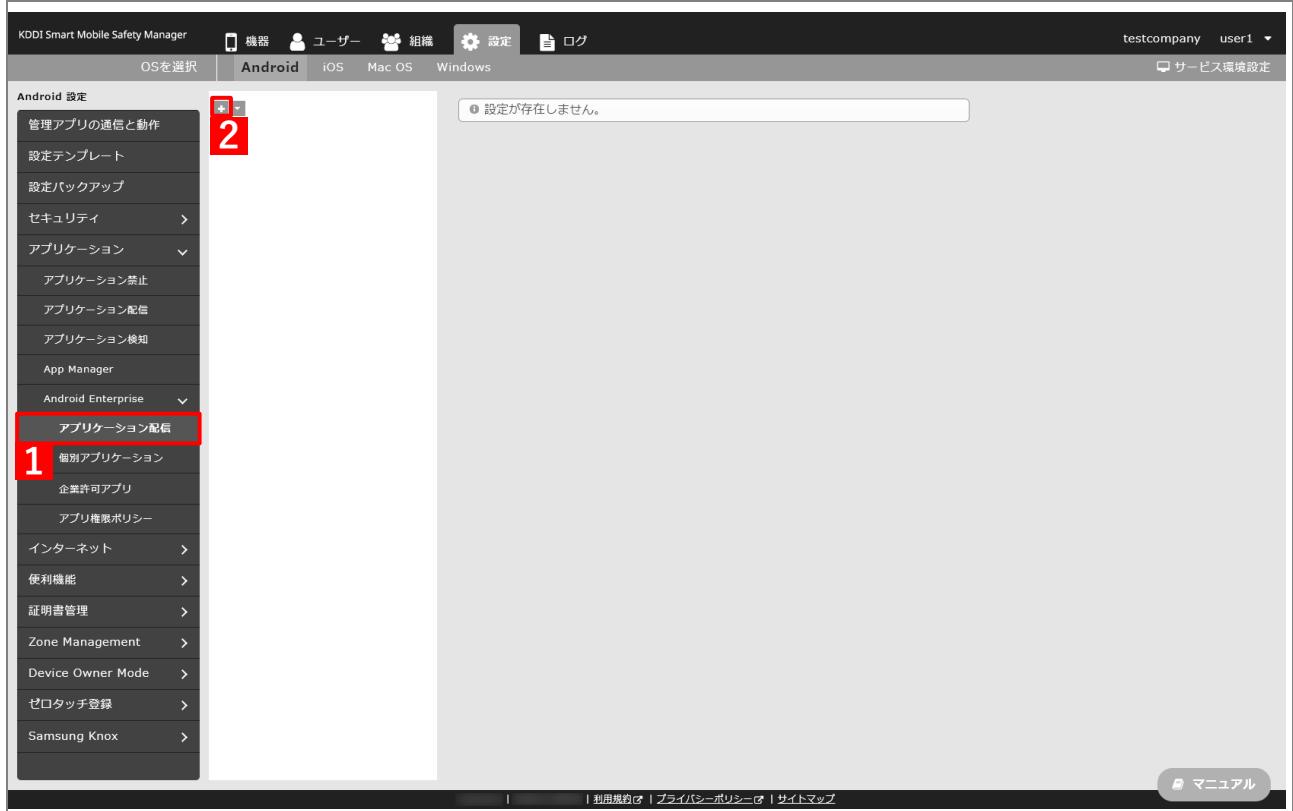
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じて、「企業許可アプリ」に (A) 選択したアプリが登録されます。



### 2.3.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]**  をクリックします。



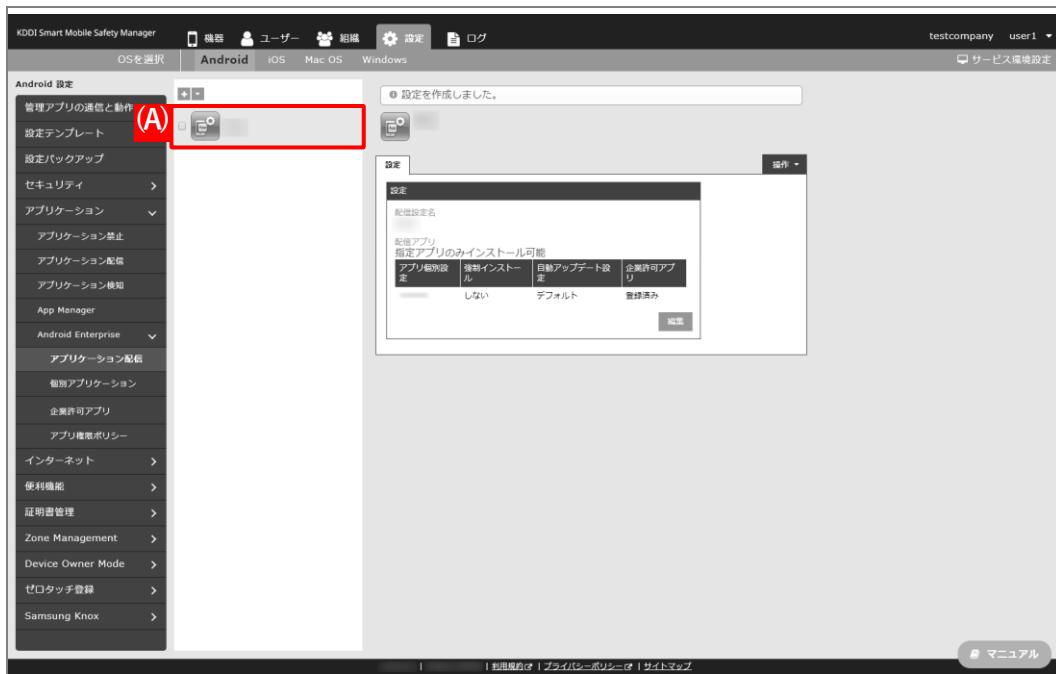
- 【3】 「配信設定名」に任意の名前を入力します。
- 【4】 「指定アプリのみインストール可能」を選択します。
- 【5】  をクリックします。



- 【6】 「アプリ個別設定」のプルダウンメニューから、「アプリ個別設定を作成する」の手順【3】で設定したアプリ設定名を指定します。
- 【7】 「自動アップデート設定」のプルダウンメニューから、アップデート方法を選択します。  
☞ アップデート方法の詳細は、以下を参照してください。  
〔「企業許可アプリを自動アップデートする」106 ページ〕
- 【8】 [保存] をクリックします。



⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。



## 2.3.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

- [1]** [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。

The screenshot shows the 'KDDI Smart Mobile Safety Manager' application interface. At the top, there are navigation tabs: 営業部 (Organization), ユーザー (User), 組織 (Organization), 設定 (Setting), and ログ (Log). The user is currently logged in as 'testcompany user1'. On the left, there is a sidebar with options like '一覧' (List), 'CSVで追加' (Add via CSV), 'CSVで編集' (Edit via CSV), and 'CSVをダウンロード' (Download CSV). The main content area shows a hierarchical organization tree under '営業部'. A red box highlights the '営業部' node under '全社'. To the right of the tree, there are tabs for '管理' (Management), 'Android設定' (Android Settings), 'iOS設定' (iOS Settings), 'Windows設定' (Windows Settings), and 'その他' (Other). Below these tabs, there's a section titled '管理' (Management) with fields for '組織名' (Organization Name) set to '営業部', '上位組織' (Parent Organization) set to '全社', and '権限を引き継ぐ' (Inherit Permissions). There is also a '編集' (Edit) button. At the bottom of the page, there are links for '利用規約' (Terms of Use), 'プライバシーポリシー' (Privacy Policy), and 'サイトマップ' (Site Map).

- [2]** [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。

This screenshot shows the same application interface as the previous one, but with a different focus. The 'その他' (Other) tab is selected, and a red box highlights the 'ユーザー設定' (User Settings) tab. Below it, another tab labeled '「Appとブック」設定' (App and Book Settings) is visible. The rest of the interface is identical to the previous screenshot, showing the organization management screen.

【3】 [編集] をクリックします。



【4】 プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。

【5】 [保存] をクリックします。



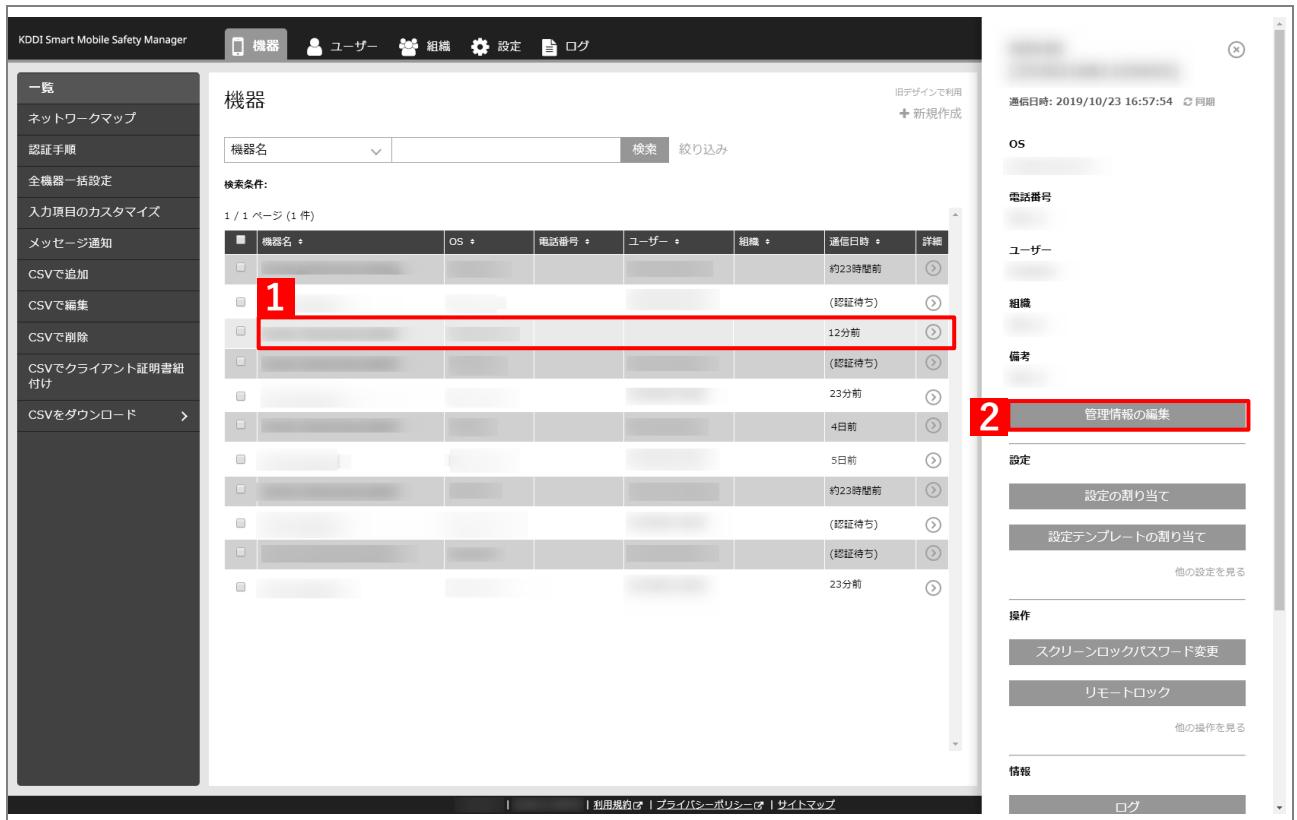
### 2.3.5 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行うと、端末にオリジナルアプリがインストールできます。

 割り当てたユーザーは変更できません。変更する場合は、Android 端末を初期化して、再度キッティングをする必要があります。

[1] [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。

[2] [管理情報の編集] をクリックします。



The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager web interface. On the left, a sidebar menu includes options like '一覧', 'ネットワークマップ', '認証手順', '全機器一括設定', '入力項目のカスタマイズ', 'メッセージ通知', 'CSVで追加', 'CSVで編集', 'CSVで削除', 'CSVでクライアント証明書組付け', and 'CSVをダウンロード'. The main area is titled '機器' and shows a table of devices. A specific row in the table is highlighted with a red box and labeled '1'. To the right of the table, a large red box encloses the '管理情報の編集' (Management Information Edit) button. The right side of the screen displays various settings and logs.

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。

The screenshot shows the 'KDDI Smart Mobile Safety Manager' interface. On the left, there's a sidebar with various options like 'Network Map', 'Authentication Method', and 'CSV Import/Export'. The main area is titled 'Devices' and shows a list of devices with columns for 'Device Name', 'OS', 'Phone Number', 'User', 'Organization', and 'Last Contact'. A search bar at the top right has 'User' selected in the dropdown. To the right, there's a detailed view of a selected device, showing fields for 'Machine Name', 'OS', 'Phone Number', 'User', 'Organization', and 'Last Contact'. A red box highlights the 'User' dropdown menu, and another red box highlights the 'Save' button.

- [5]** [同期] をクリックします。

- [6]** [OK] をクリックします。

⇒ 端末の Play ストアにオリジナルアプリが配信されます。以降の操作は配信先の端末で行います。

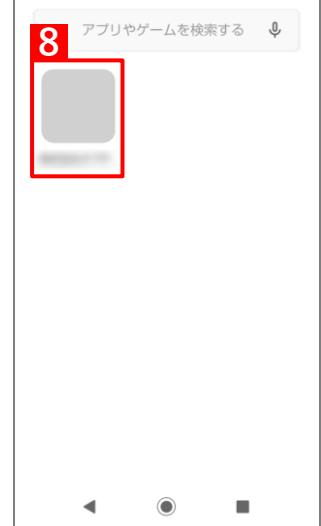
The screenshot shows the 'KDDI Smart Mobile Safety Manager' interface again. The left sidebar is identical. The main area is titled 'Devices' and shows the same list of devices. A red box highlights the 'Sync' button. To the right, there's a detailed view of a selected device with fields for 'Machine Name', 'OS', 'Phone Number', 'User', 'Organization', and 'Last Contact'. A red box highlights the 'Sync' button. A message at the top right says 'Sync was performed. The device's status may vary, so it may take some time to reflect the changes.' Step number 6 is highlighted in red.

**[7]** [Play ストア] をタップします。



**[8]** オリジナルアプリをタップします。

⇒ オリジナルアプリのインストールが開始されます。端末の画面にアプリのアイコンが表示されるまでお待ちください。



## 2.4 ウェブアプリ（ショートカット）をインストールする

「アプリケーション配信」で特定の Web サイトへのショートカットをウェブアプリとして端末にインストールするには、以下の一連の操作を行います。

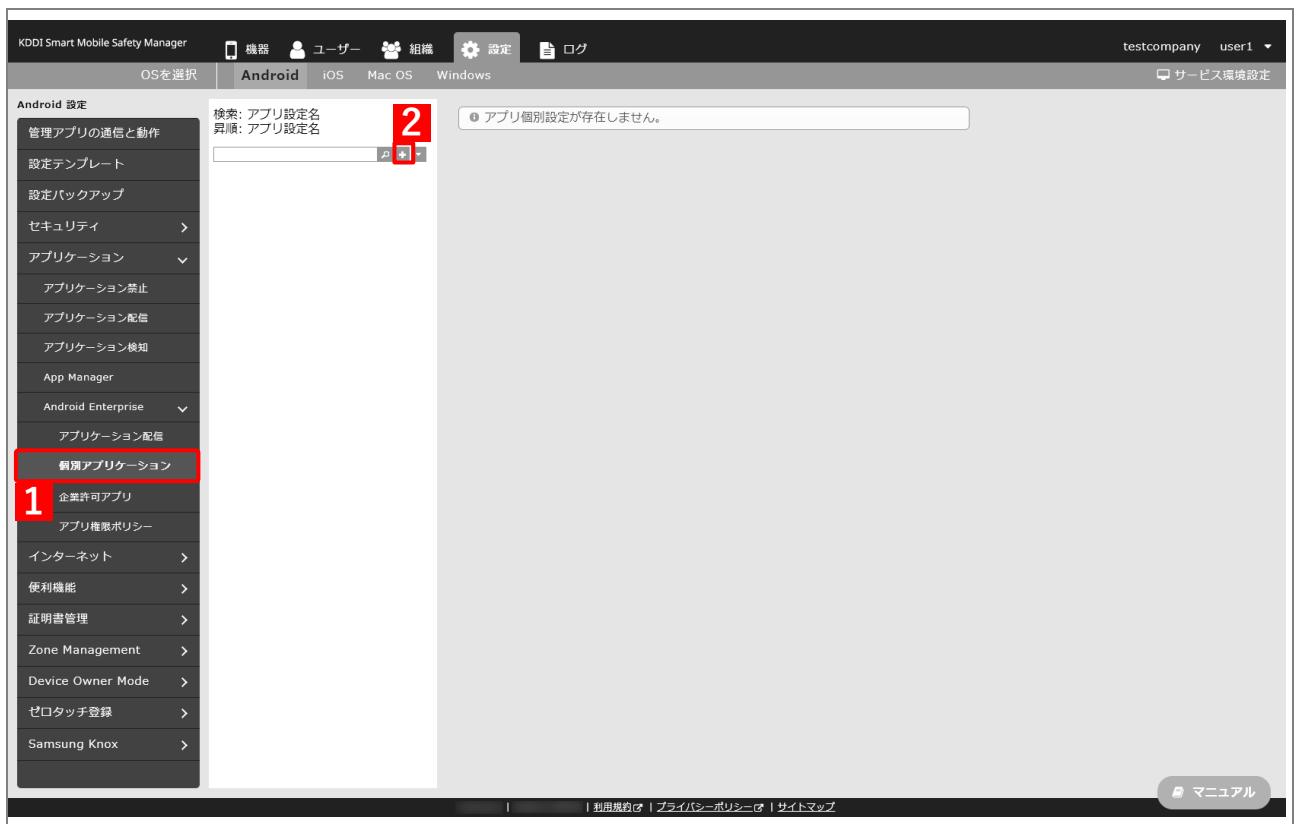
 ウェブアプリを使用するには、端末に Google Chrome をインストールしてください。

### 2.4.1 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

- [1] [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。
- [2]  をクリックします。



【3】「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

【4】「アプリを選択する」をクリックします。

→managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【5】（ウェブアプリ）をクリックします。

【6】をクリックします。



**[7]** 「タイトル」に任意の名前を入力します。

**[8]** 表示する Web サイトの URL を入力します。

**[9]** 表示モードを以下から選択します。

- ・全画面：ウェブアプリが全画面モードで表示されます。端末のステータスバーやナビゲーションバーは表示されません。
- ・スタンドアロン：ウェブアプリとともに端末のステータスバーやナビゲーションバーが表示されます。
- ・ミニマル UI：ウェブアプリとともに端末のステータスバー、ナビゲーションバー、アプリの URL、更新ボタンが表示されます。HTTP URL を使用する場合は、この項目のみ選択できます。

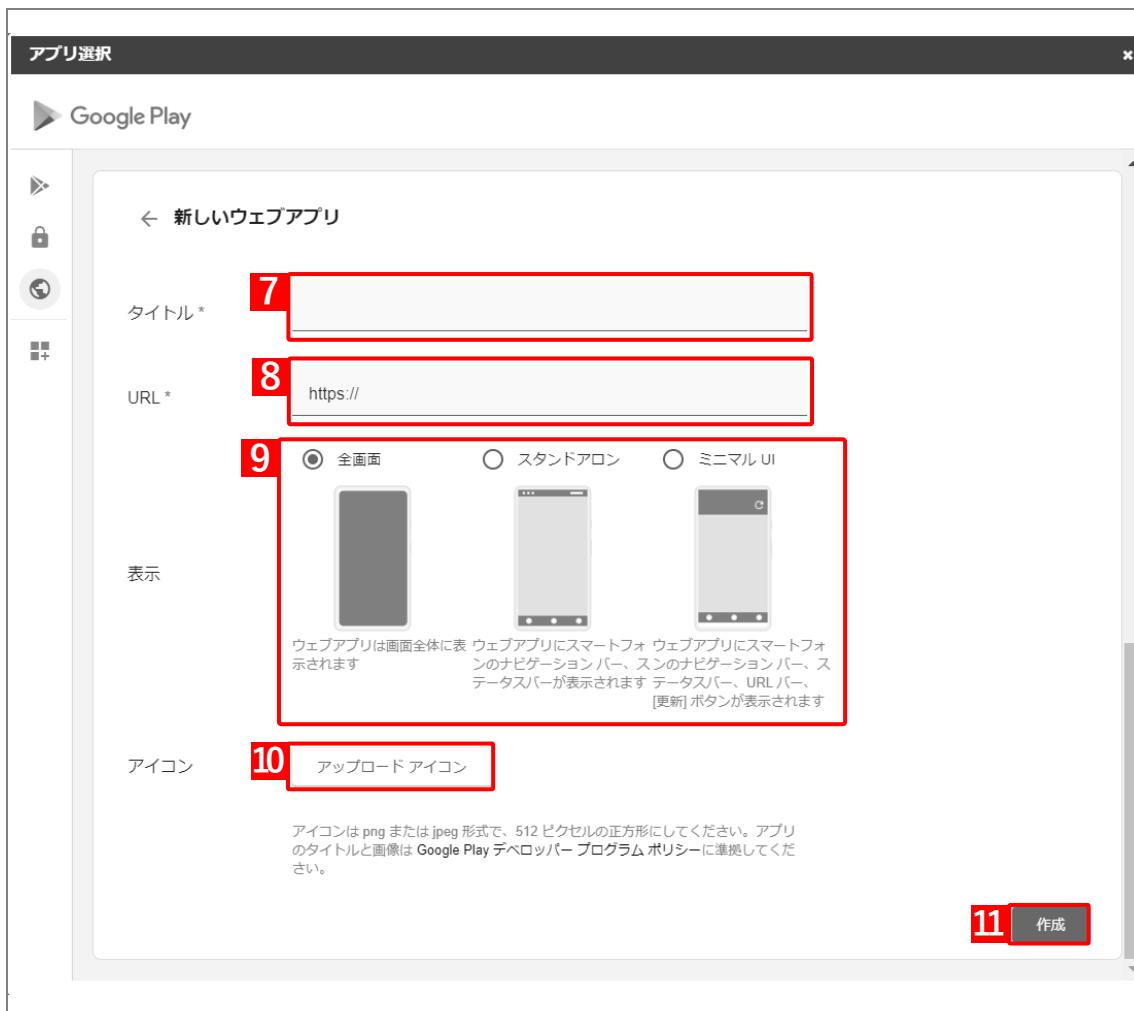
**表示モード**は、指定した URL に属するページにのみ適用されます。URL が別の Web サイトにリダイレクトされている場合は、そのサイトが Google Chrome で表示されます。

**[10]** [アップロード アイコン] をクリックして、アイコンに使用する画像ファイルを指定します。

**画像ファイル**は、サイズが 1MB 以下（512 ピクセル正方形を推奨）の png 形式または jpeg 形式にしてください。

**[11]** [作成] をクリックします。

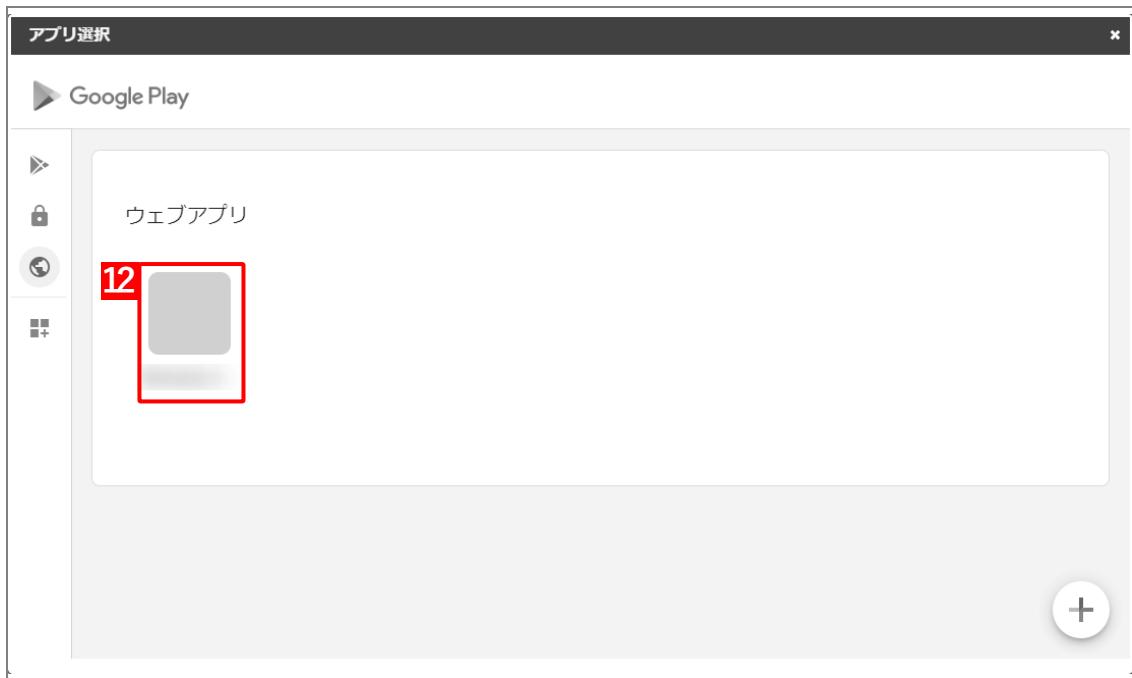
**ウェブアプリ**は、Google Play デベロッパー プログラム ポリシーに準拠している必要があります。タイトルやアイコンに別のアプリやエンティティのブランド、タイトル、ロゴ、名前を使用している場合は、ウェブアプリを公開できないことがあります

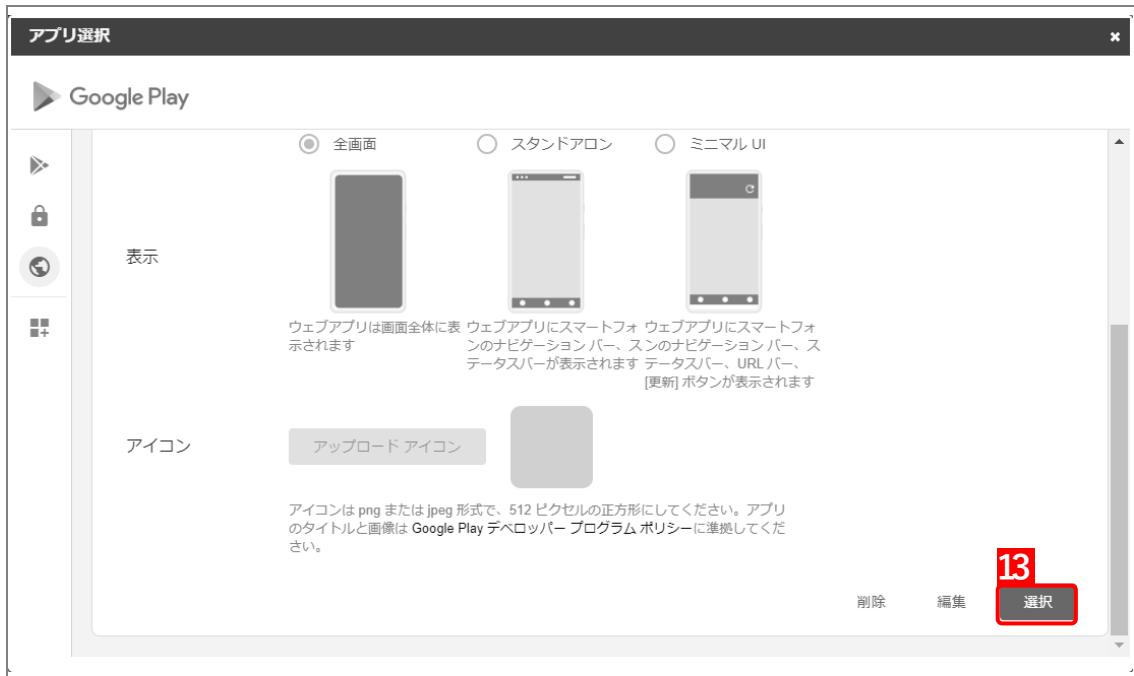


 ウェブアプリが公開されるまで、10分程度お待ちください。公開されると、(A)「まだご利用いただけません」という表示が消えます。



**【12】** 公開されたウェブアプリをクリックします。



**【13】 [選択] をクリックします。****【14】 [保存] をクリックします。**

(A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。



⇒ (B) アプリ個別設定が作成されます。

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager interface. The left sidebar is titled "Android 設定" and contains several sections: "管理アプリの通信と動作", "設定テンプレート", "設定バックアップ", "セキュリティ", "アプリケーション", "アプリケーション登録", "アプリケーション配置", "アプリケーション検知", "App Manager", "Android Enterprise", "アプリケーション配信", and "個別アプリケーション". The "個別アプリケーション" section is currently selected. A red box labeled "(B)" highlights the "操作" (Operation) button in the top right corner of the main content area. The main content area displays a confirmation message: "Android Enterprise アプリ個別設定を作成しました。" Below this, there is a detailed view of the newly created app setting, showing fields for "アプリ名" (App Name), "パッケージ名" (Package Name), and "開発" (Development). The bottom of the screen shows a navigation bar with links for "マニュアル", "お問い合わせ", "プライバシーポリシー", and "サイトマップ".

## 2.4.2 企業許可アプリを追加する

「アプリ個別設定を作成する」で managed Google Play ストアに限定公開したウェブアプリを、Android Enterprise で配信する「企業許可アプリ」として登録します。

【筆記】 「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

**[2]** [アプリを選択する] をクリックします。

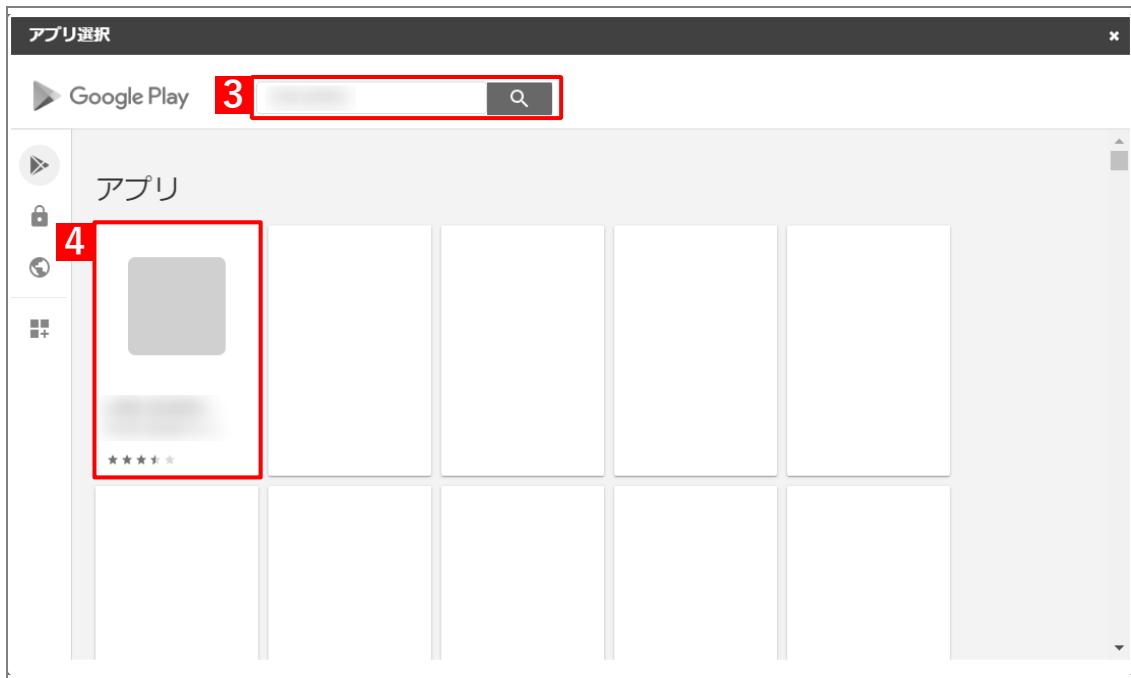
⇒managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。

The screenshot shows the Android Enterprise Admin Console interface. On the left, a sidebar menu is open with various settings categories. The 'Enterprise App' option is highlighted with a red box and labeled with a '1'. In the main content area, there is a search bar at the top with the placeholder 'アプリを選択する' (Select app) and a red box around it labeled '2'. Below the search bar is a table with columns: パッケージ名 (Package name), アプリ名 (App name), 作成者 (Creator), and アプリの料金形態 (App's pricing model). The table is currently empty. At the bottom of the page, there is a footer with links to '©2011', '利用規約', 'プライバシーポリシー', and 'サイトマップ'.

【3】 「アプリ個別設定を作成する」で限定公開したウェブアプリを検索します。

⇒ 検索結果が表示されます。

【4】 該当のアプリをクリックします。



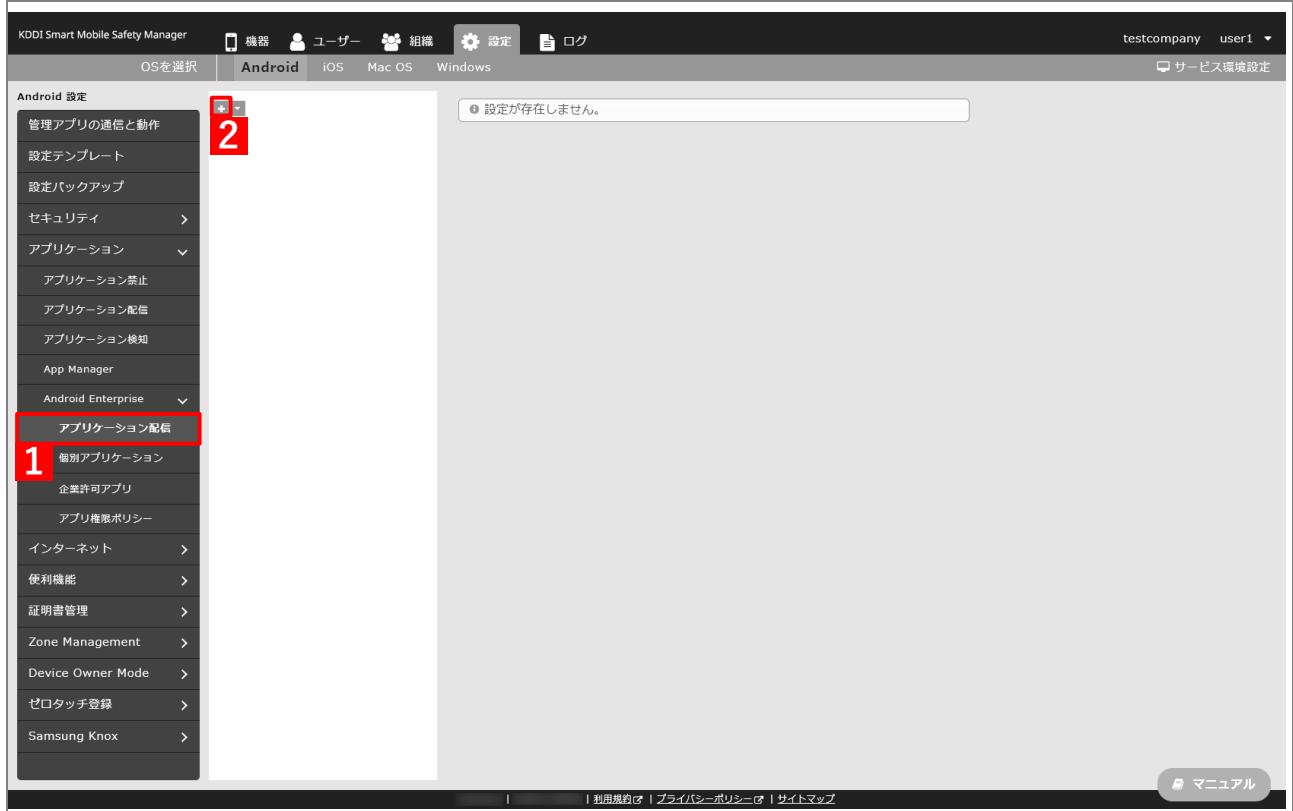
【5】 [選択] をクリックします。



### 2.4.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- 【1】 [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- 【2】  をクリックします。



- 【3】 「配信設定名」に任意の名前を入力します。
- 【4】 「指定アプリのみインストール可能」を選択します。
- 【5】  をクリックします。



- 【6】 「アプリ個別設定」のプルダウンメニューから、「アプリ個別設定を作成する」の手順【3】で設定したアプリ設定名を指定します。
- 【7】 「自動アップデート設定」のプルダウンメニューから、アップデート方法を選択します。
- 〔写〕アップデート方法の詳細は、以下を参照してください。  
〔写〕「企業許可アプリを自動アップデートする」106 ページ
- 【8】 [保存] をクリックします。



⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。

The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager application interface. The main menu on the left includes options like 'Android 設定' (Android Settings), 'セキュリティ' (Security), 'アプリケーション' (Applications), and 'App Manager'. The 'アプリケーション' section is expanded, showing 'アプリケーション配信' (Application Distribution). A red box labeled '(A)' highlights the '設定' (Settings) button next to the '新規' (New) button. A modal window titled '設定' (Settings) is open, showing configuration options for a distribution profile. The '配信アプリ' (Distributed Application) dropdown is set to 'アプリ別設' (App-specific settings). Other options include '複数インストール' (Multiple installations), '自動アップデート設' (Automatic update settings), and '企業許可アプ' (Enterprise permission app). The bottom right of the modal has a '編集' (Edit) button.

## 2.4.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

- [1]** [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。

- [2]** [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

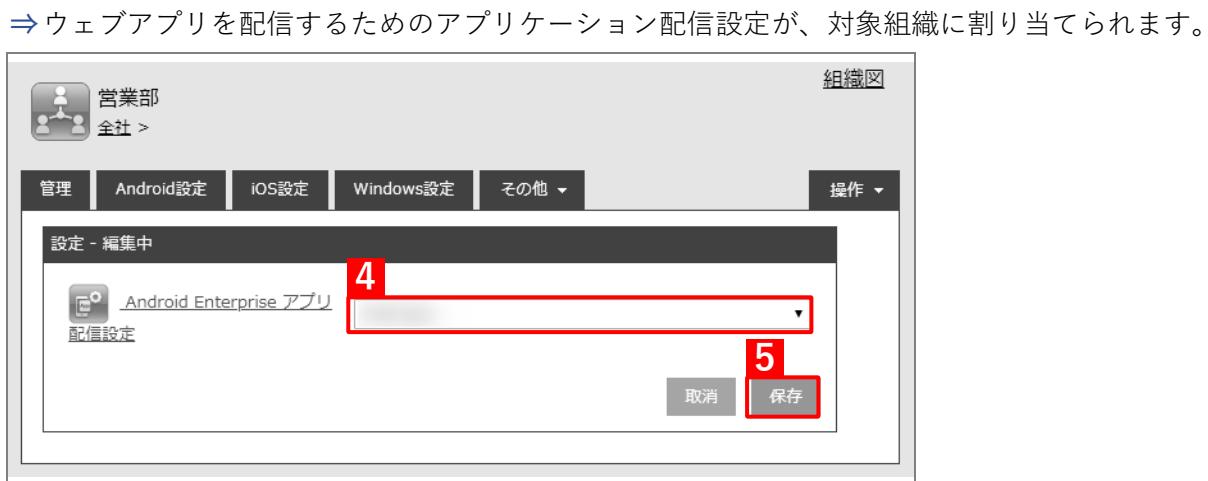
☑ ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。

**[3]** [編集] をクリックします。



**[4]** プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。

**[5]** [保存] をクリックします。



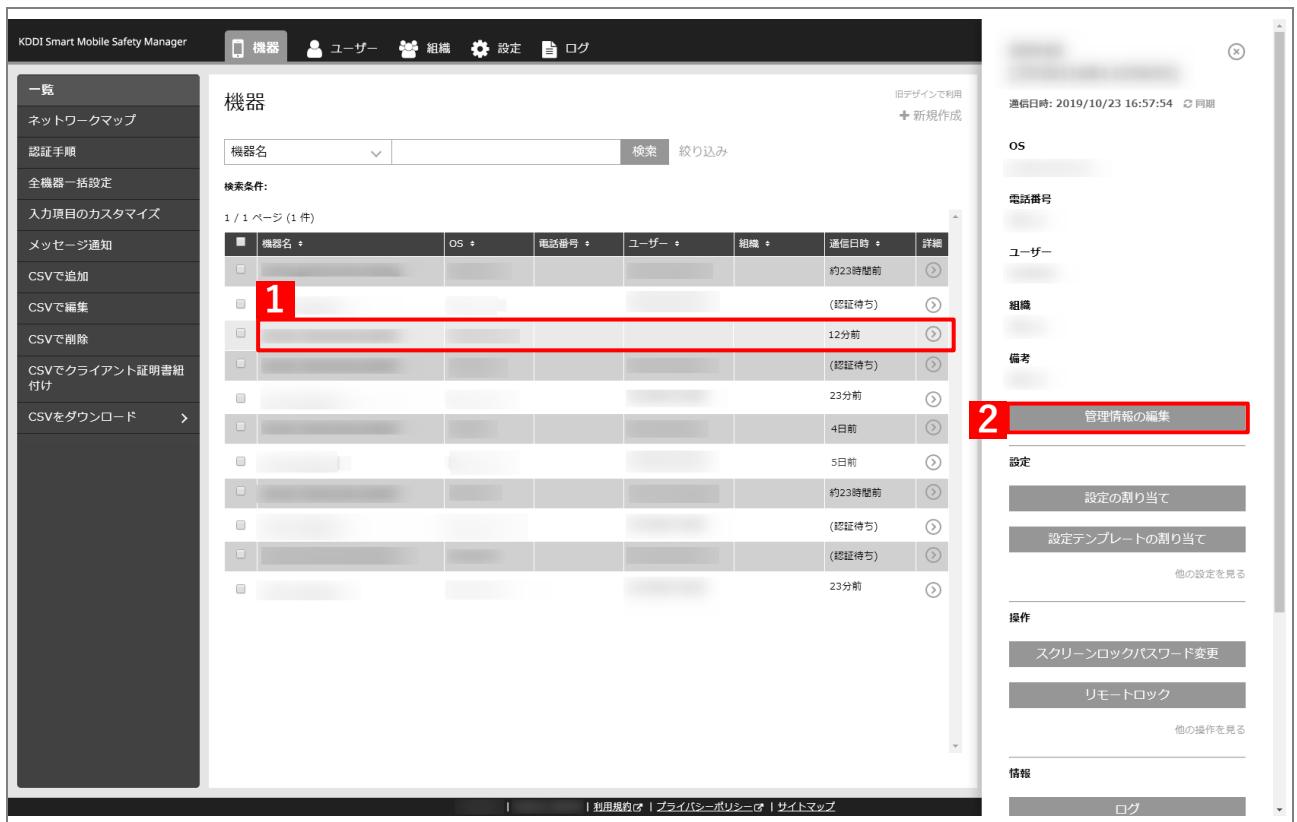
## 2.4.5 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行うと、端末にウェブアプリがインストールできます。

 割り当てたユーザーは変更できません。変更する場合は、Android 端末を初期化して、再度キッティングをする必要があります。

[1] [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。

[2] [管理情報の編集] をクリックします。



The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager web interface. The left sidebar has a dark background with white text links: '一覧', 'ネットワークマップ', '認証手順', '全機器一括設定', '入力項目のカスタマイズ', 'メッセージ通知', 'CSVで追加', 'CSVで編集', 'CSVで削除', 'CSVでクライアント証明書組付け', and 'CSVをダウンロード' (with a right-pointing arrow). The main area has a light gray header with tabs: '機器' (selected), 'ユーザー', '組織', '設定', and 'ログ'. Below the header is a search bar with '検索' and '絞り込み' buttons. A red box labeled '1' highlights the first row in a table of devices. The table columns are: 機器名 (Device Name), OS, 電話番号 (Phone Number), ユーザー (User), 組織 (Organization), 通信日時 (Communication Date & Time), and 詳細 (Details). The first row's details show '(認証待ち)' (Authentication Pending) and a timestamp of '約23時間前' (About 23 hours ago). To the right of the table is a sidebar with sections: 'OS' (OS), '電話番号' (Phone Number), 'ユーザー' (User), '組織' (Organization), '備考' (Notes), '設定' (Settings), and '操作' (Operations). The '設定' section contains '設定の割り当て' (Assign settings) and '設定テンプレートの割り当て' (Assign setting template). The '操作' section contains 'スクリーンロックパスワード変更' (Change screen lock password), 'リモートロック' (Remote lock), and '他の操作を見る' (View other operations). The bottom of the sidebar has a 'ログ' (Log) button.

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。

The screenshot shows the 'KDDI Smart Mobile Safety Manager' interface. On the left, there's a sidebar with various options like 'Network Map', 'Authentication Method', and 'CSV Import/Export'. The main area is titled 'Devices' and shows a list of devices with columns for 'Device Name', 'OS', 'Phone Number', 'User', 'Organization', and 'Last Contact'. On the right, there's a 'Management Information' panel with fields for 'Device Name', 'Assignment' (with 'User' selected), 'Organization', and 'Notes'. A red box labeled '3' highlights the 'User' dropdown. At the bottom right of the screen, there are 'Save' and 'Cancel' buttons, with a red box labeled '4' highlighting the 'Save' button.

- [5]** [同期] をクリックします。

- [6]** [OK] をクリックします。

⇒ 端末の Play ストアにウェブアプリが配信されます。以降の操作は配信先の端末で行います。

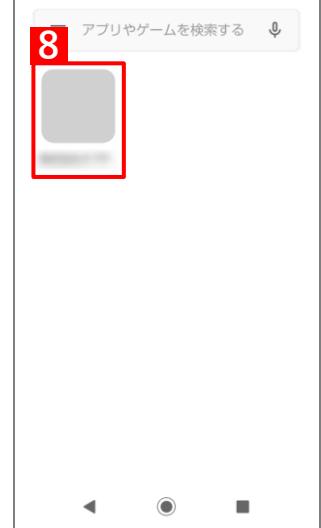
This screenshot shows the same application interface as the previous one, but with a different focus. It shows the 'Sync' button highlighted with a red box labeled '6'. To the right, a message box indicates that synchronization has been performed. The right-hand panel shows the synchronized data, including the 'User' field now populated with the selected user information. A red box labeled '5' highlights the 'Sync' button.

**[7]** [Play ストア] をタップします。



**[8]** ウェブアプリをタップします。

⇒ ウェブアプリのインストールが開始されます。端末の画面に  
アプリのアイコンが表示されるまでお待ちください。



## 2.5 アプリ構成を利用してアプリをインストールする

「個別アプリケーション」の「アプリ構成」を利用すると、対応したアプリの場合は、それらにさまざまな設定値を付加してインストールできます。ここでは LINE WORKS を例に、「アプリ構成」を利用したインストール手順について説明します。この方法でインストールすると、認証された端末からのみ LINE WORKS にログインできるようになります。

「アプリ構成」で付加できる設定値は、アプリによって異なります。「アプリ構成」の利用可否、および設定値の仕様については、アプリの開発元へお問い合わせください。

### 2.5.1 企業許可アプリを追加する

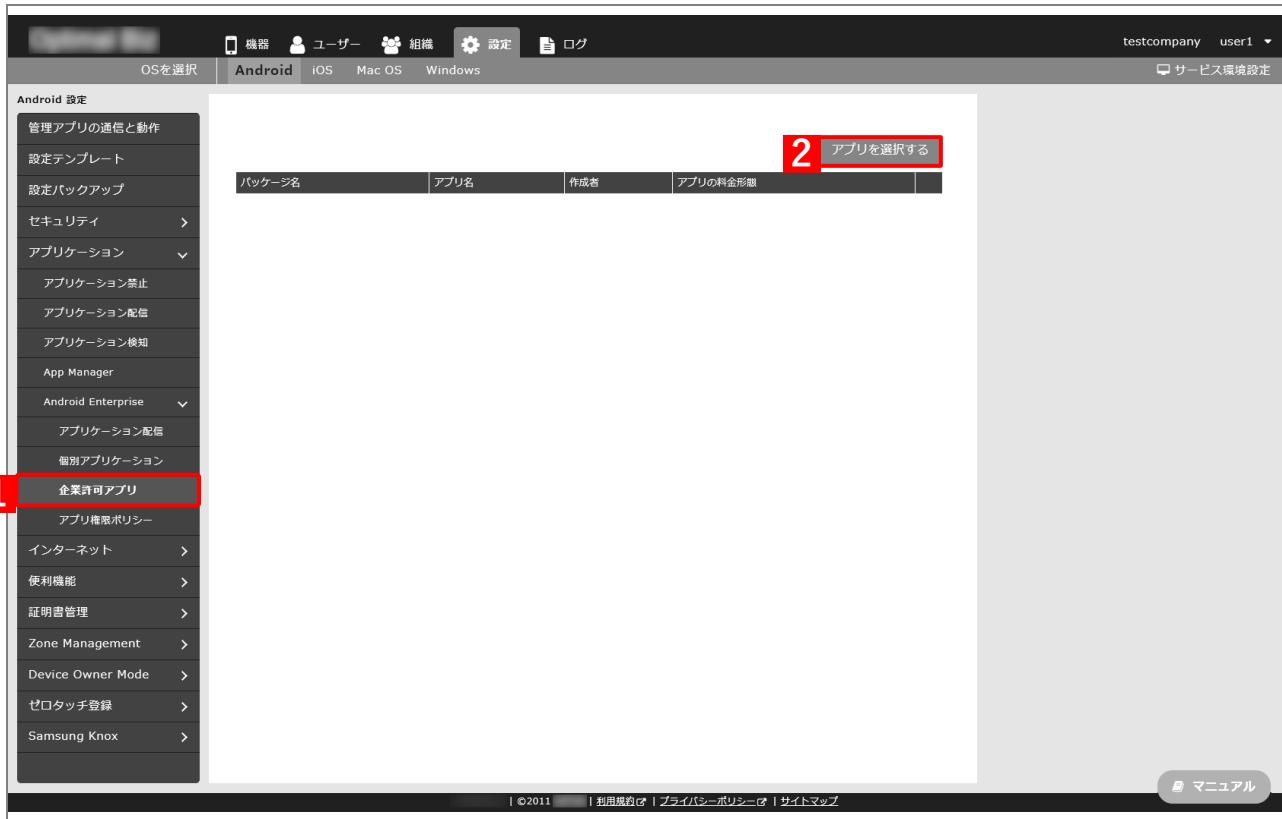
以下の手順で managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、Android Enterprise で配信することを企業で許可するアプリを追加します。

「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

**[2]** [アプリを選択する] をクリックします。

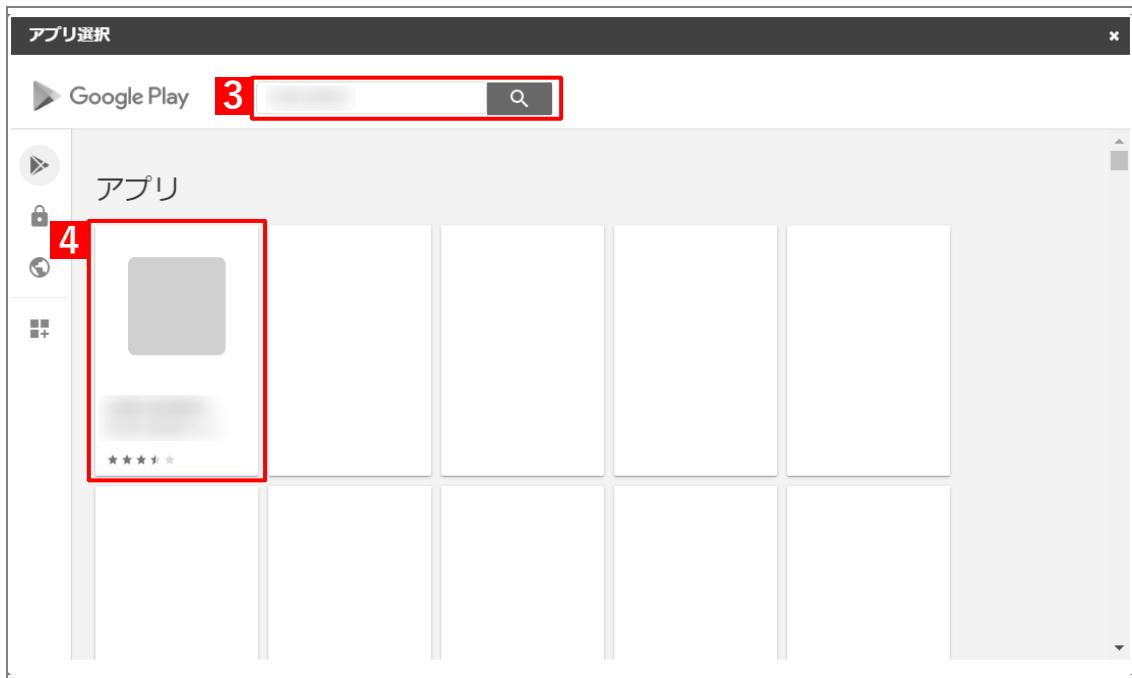
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



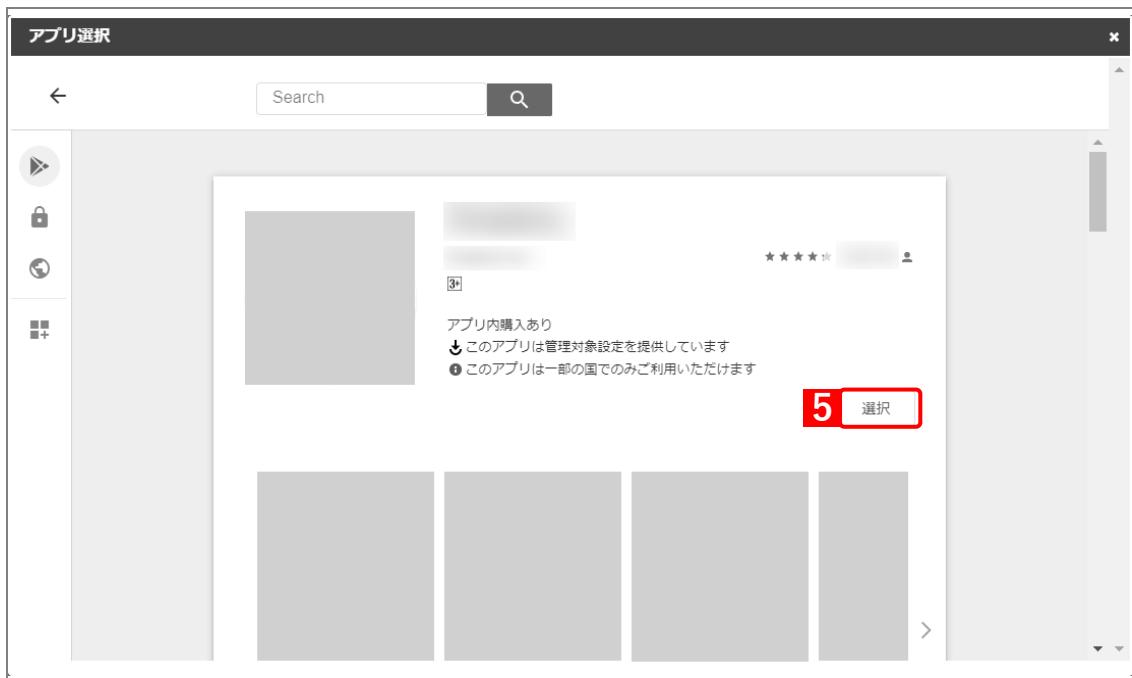
**【3】企業で配信を許可するアプリを検索します。**

⇒検索結果が表示されます。

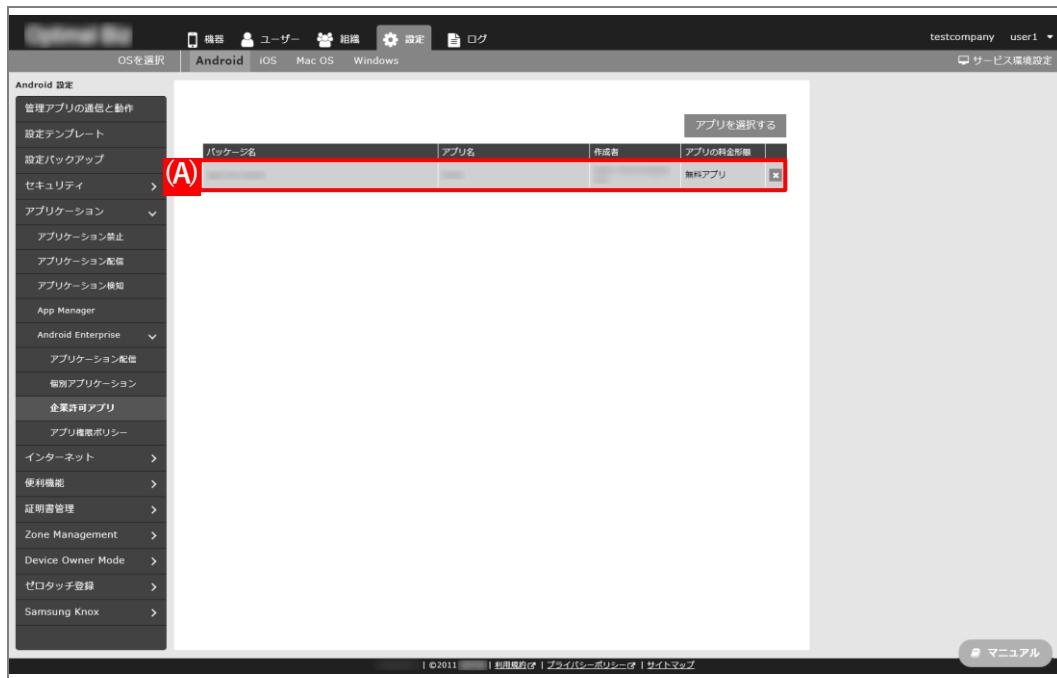
**【4】該当のアプリをクリックします。**



**【5】[選択] をクリックします。**



⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じて、「企業許可アプリ」に (A) 選択したアプリが登録されます。



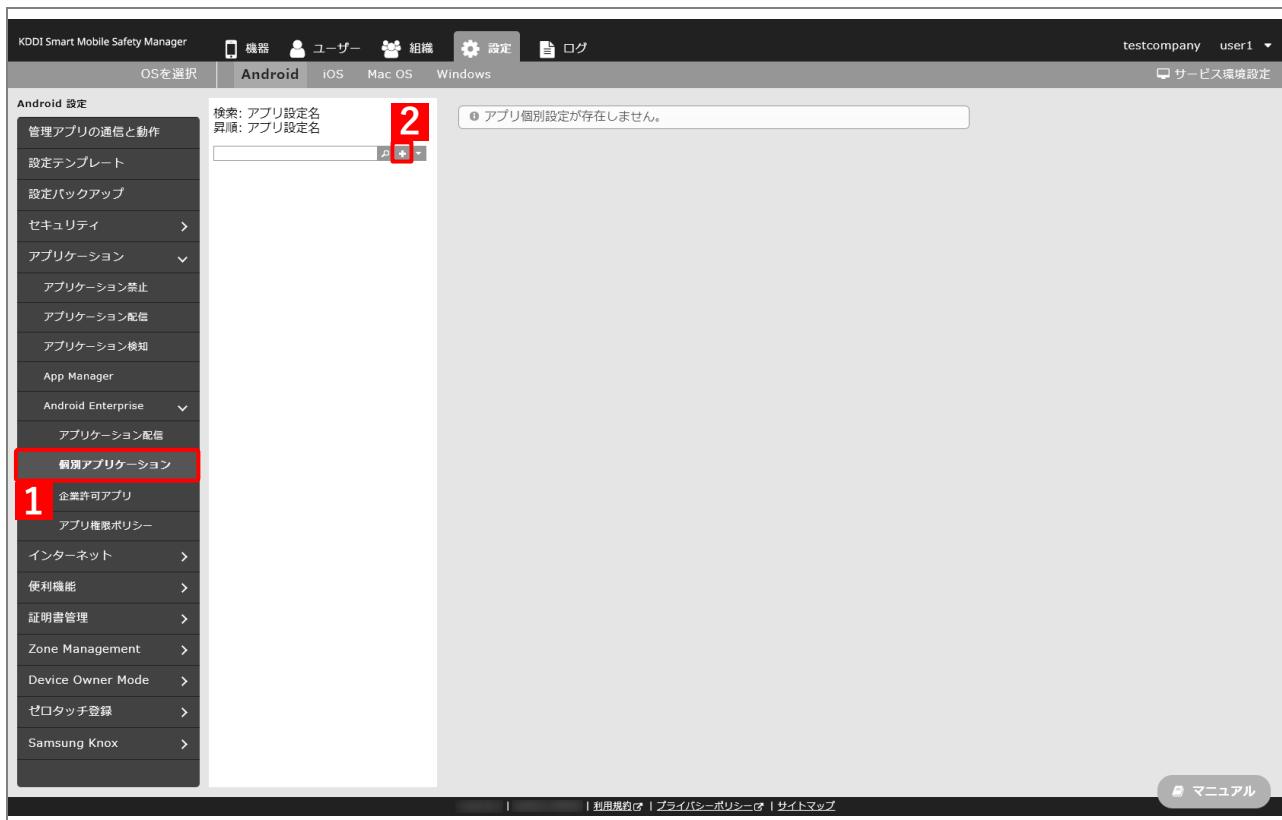
## 2.5.2 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリ（LINE WORKS）を登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。

**[2]** をクリックします。



**[3]** 「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

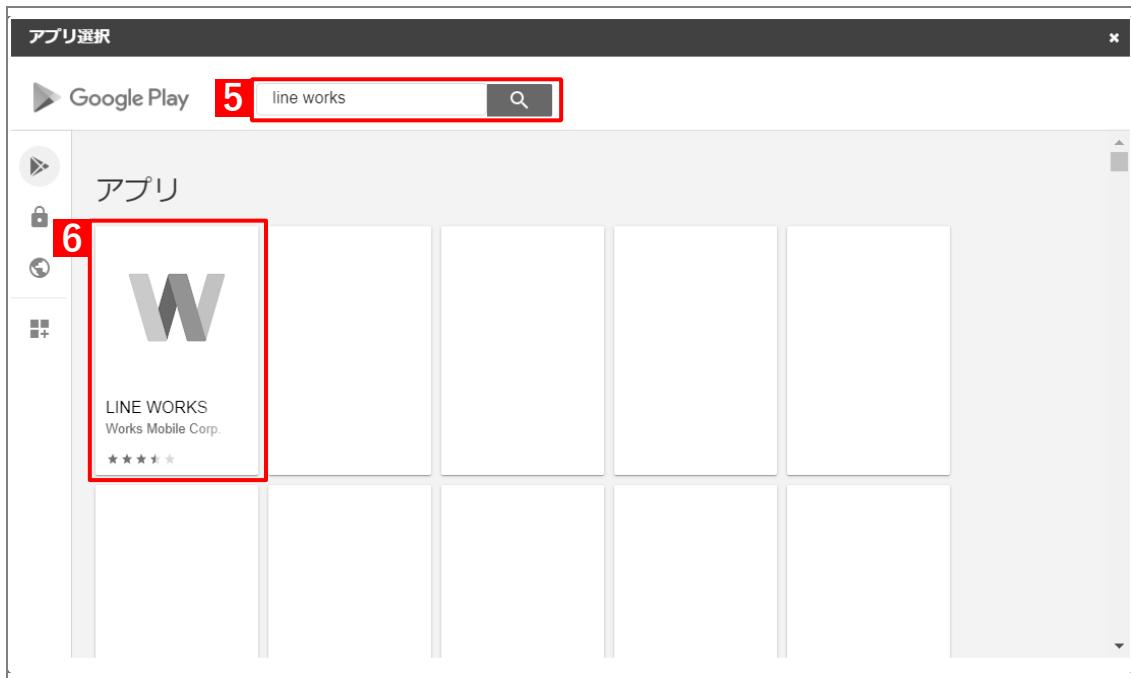
**[4]** [アプリを選択する] をクリックします。

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。

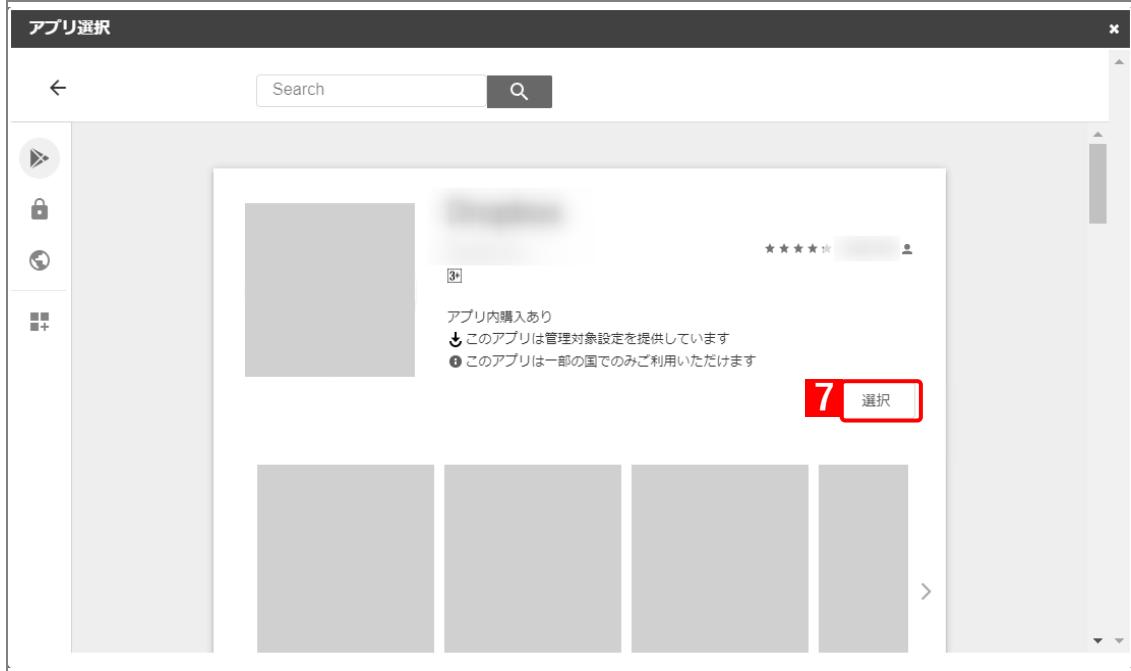


**[5] LINE WORKS を検索します。**

⇒ 検索結果が表示されます。

**[6] [LINE WORKS] をクリックします。****[7] [選択] をクリックします。**

⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じます。



**[8] [保存] をクリックします。**

⇒ アプリ個別設定が作成されます。

 (A) 「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。

**[9] [編集] をクリックします。**

**【10】「アプリ構成」の「未構成」をクリックします。**

設定 - 編集中

ランタイム/パーミッション

デフォルト  
 個別設定

パーミッション名	許可
android.permission.ACCESS_COARSE_LOCATION	デフォルト▼
android.permission.ACCESS_FINE_LOCATION	デフォルト▼
android.permission.CALL_PHONE	デフォルト▼
android.permission.CAMERA	デフォルト▼
android.permission.GET_ACCOUNTS	デフォルト▼
android.permission.READ_CONTACTS	デフォルト▼
android.permission.READ_EXTERNAL_STORAGE	デフォルト▼
android.permission.READ_PHONE_STATE	デフォルト▼
android.permission.RECORD_AUDIO	デフォルト▼
android.permission.WRITE_CONTACTS	デフォルト▼
android.permission.WRITE_EXTERNAL_STORAGE	デフォルト▼

アプリ構成  
未構成

**10** 下のワイルドカードを使用することができます。  
 ・\$emailaddress\$: ユーザーのメールアドレス  
 ・\$username\$: ユーザー名  
 ・\$userid\$: ユーザーID  
 ・\$imei\$: 機器のIMEI  
 ・\$serialnumber\$: 機器のシリアル番号  
 ・\$deviceguid\$: 機器のGUID

▲ アプリ構成を 新規作成 / 更新 / 削除 した場合は、編集中の設定が保存されます。

旧アプリ構成を利用する □  
 対象アプリに設定は存在しません。

アプリケーションへの権限移譲

移譲しない  
 移譲する

移譲する権限	許可
証明書のインストールと管理	不許可▼
アプリ構成の管理	不許可▼
アンインストールの抑止	不許可▼
アクセス権限の設定と管理	不許可▼
アプリの表示や状態の管理	不許可▼
システムアプリの有効化	不許可▼

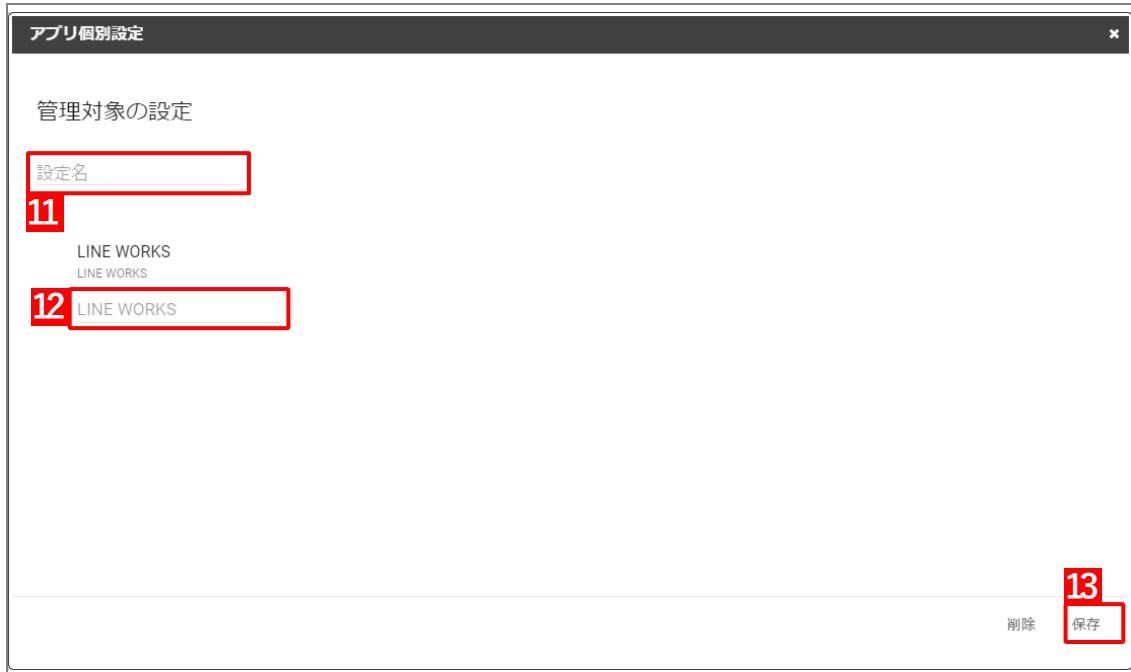
取消 保存

**[11]** 「設定名」に任意の名前を入力します。

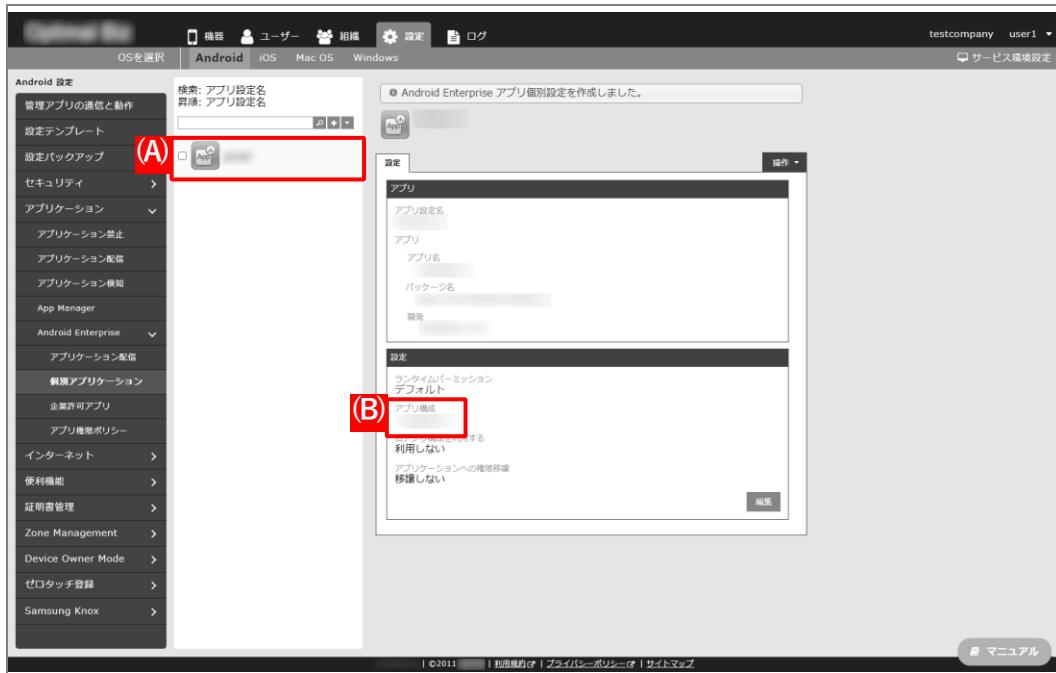
**[12]** 「LINE WORKS」に LINE WORKS Admin から取得した「Key Value」の値を入力します。

☞ 「Key Value」とは、LINE WORKS を本製品と連携させるために必要な値です。詳細については、アプリの開発元にお問い合わせください。

**[13]** [保存] をクリックします。



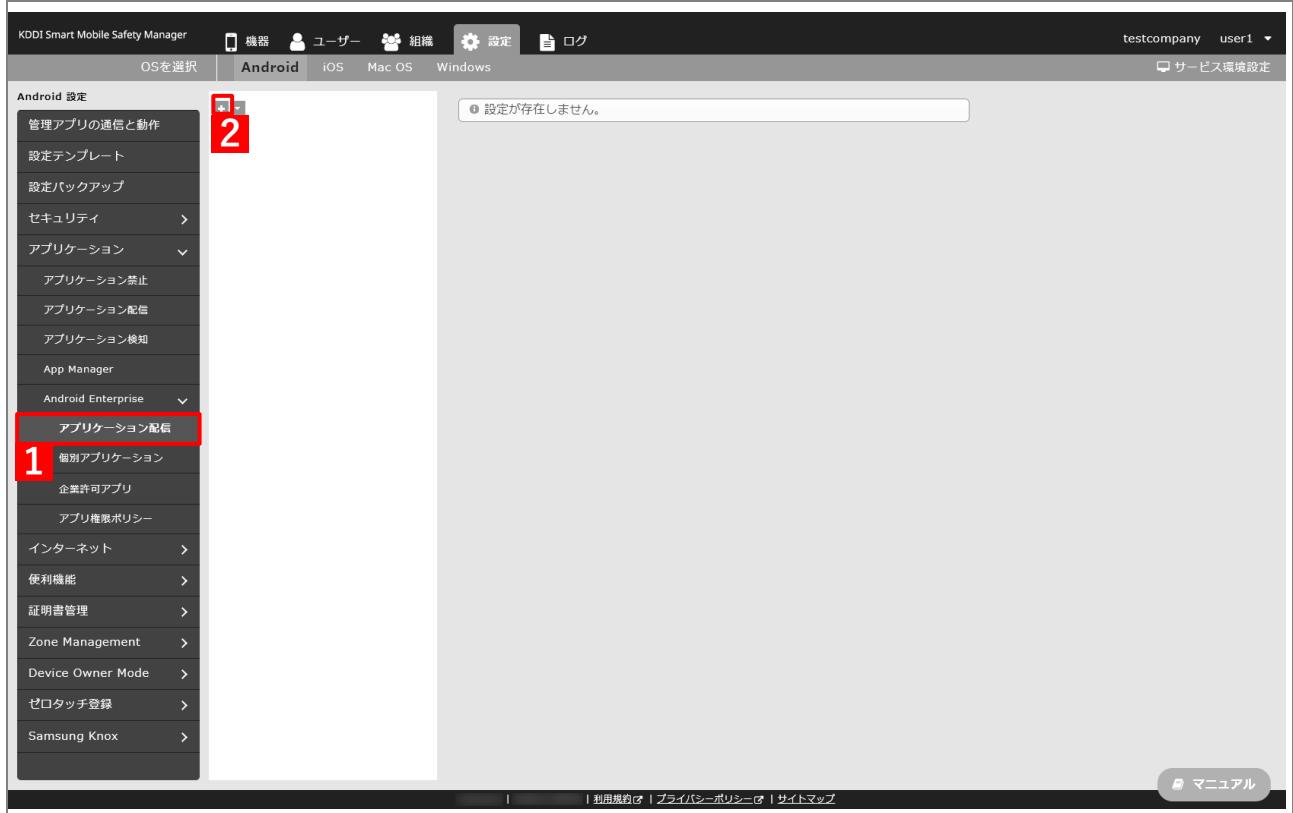
⇒ (A) アプリ個別設定が作成されます。(B) 「アプリ構成」には、【11】で入力した設定名が反映されます。



### 2.5.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリ個別設定を組み合わせた設定セット（アプリケーション配信設定）を作成します。

- [1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。
- [2]**  をクリックします。



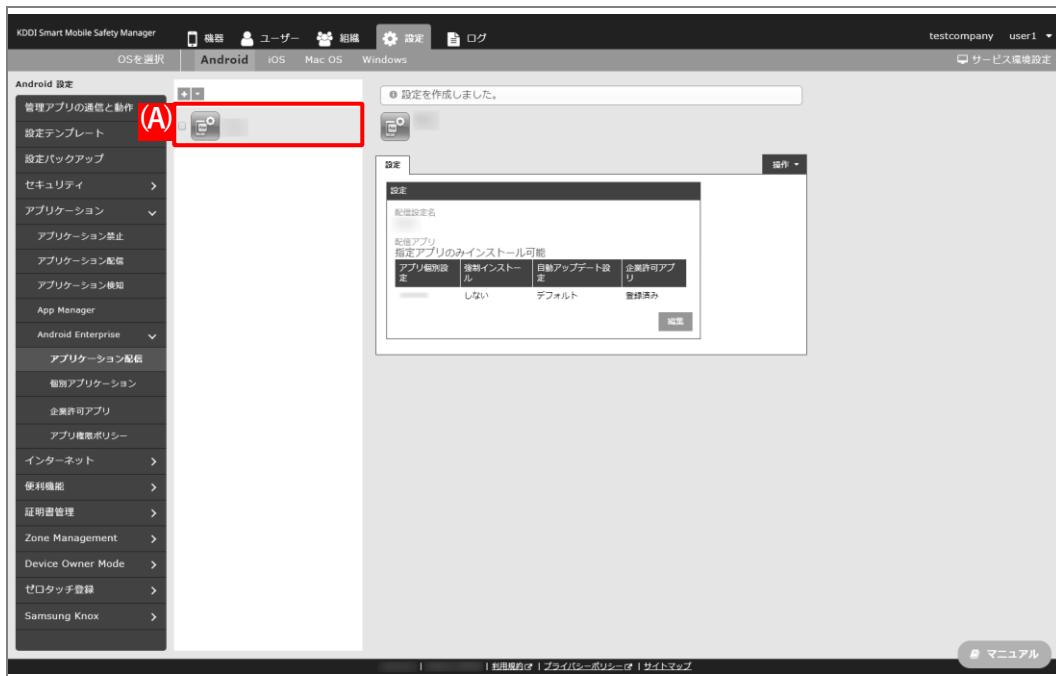
- 【3】 「配信設定名」に任意の名前を入力します。
- 【4】 「指定アプリのみインストール可能」を選択します。
- 【5】  をクリックします。



- 【6】 「アプリ個別設定」のプルダウンメニューから、「アプリ個別設定を作成する」の手順【3】で設定したアプリ設定名を指定します。
- 【7】 「自動アップデート設定」のプルダウンメニューから、アップデート方法を選択します。
- 〔写〕アップデート方法の詳細は、以下を参照してください。  
〔写〕「企業許可アプリを自動アップデートする」106 ページ
- 【8】 [保存] をクリックします。



⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。



## 2.5.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

- [1]** [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。

The screenshot shows the 'Organizations' section of the KDDI Smart Mobile Safety Manager. On the left, there's a sidebar with options like 'CSVで追加', 'CSVで編集', and 'CSVをダウンロード'. The main area shows a tree view of organizations: '全社' (Root) has 'システム企画部' (System Planning Department) and '営業部' (Sales Department). A red box surrounds the '営業部' node. To the right, there's a detailed view for the selected organization, showing its name '営業部', parent '全社', and a 'Permissions' section. At the bottom right of the main area is a 'Manual' button.

- [2]** [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。

This screenshot shows the 'User Settings' tab selected in the top navigation bar of the KDDI Smart Mobile Safety Manager. The main area displays the organization details from the previous step, with a red box highlighting the 'User Settings' tab. Below it, there's a 'Permissions' section and a 'Manual' button at the bottom right.

**[3]** [編集] をクリックします。



**[4]** プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。

**[5]** [保存] をクリックします。

⇒ LINE WORKS を配信するためのアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



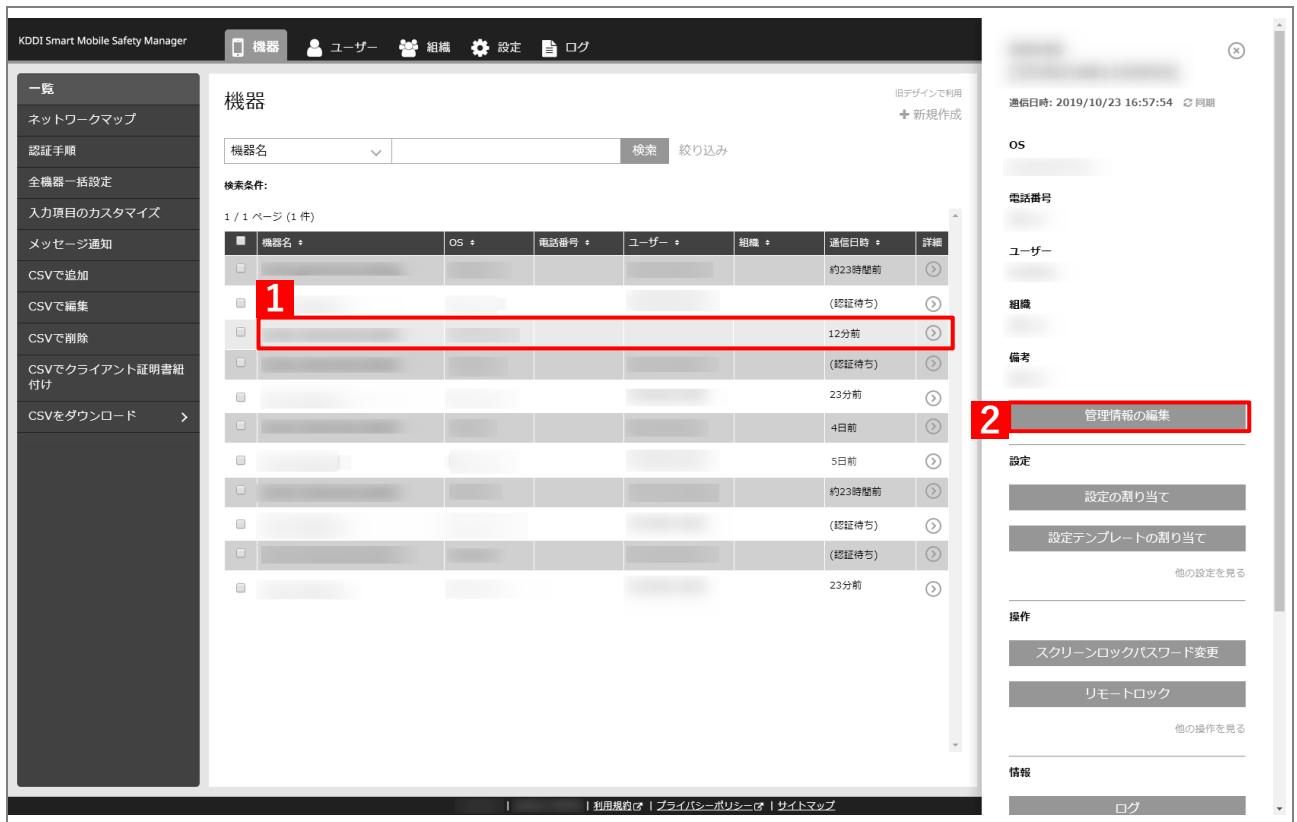
## 2.5.5 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で、アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行うと、端末に対象アプリ（LINE WORKS）がインストールできます。

 割り当てたユーザーは変更できません。変更する場合は、Android 端末を初期化して、再度キッティングをする必要があります。

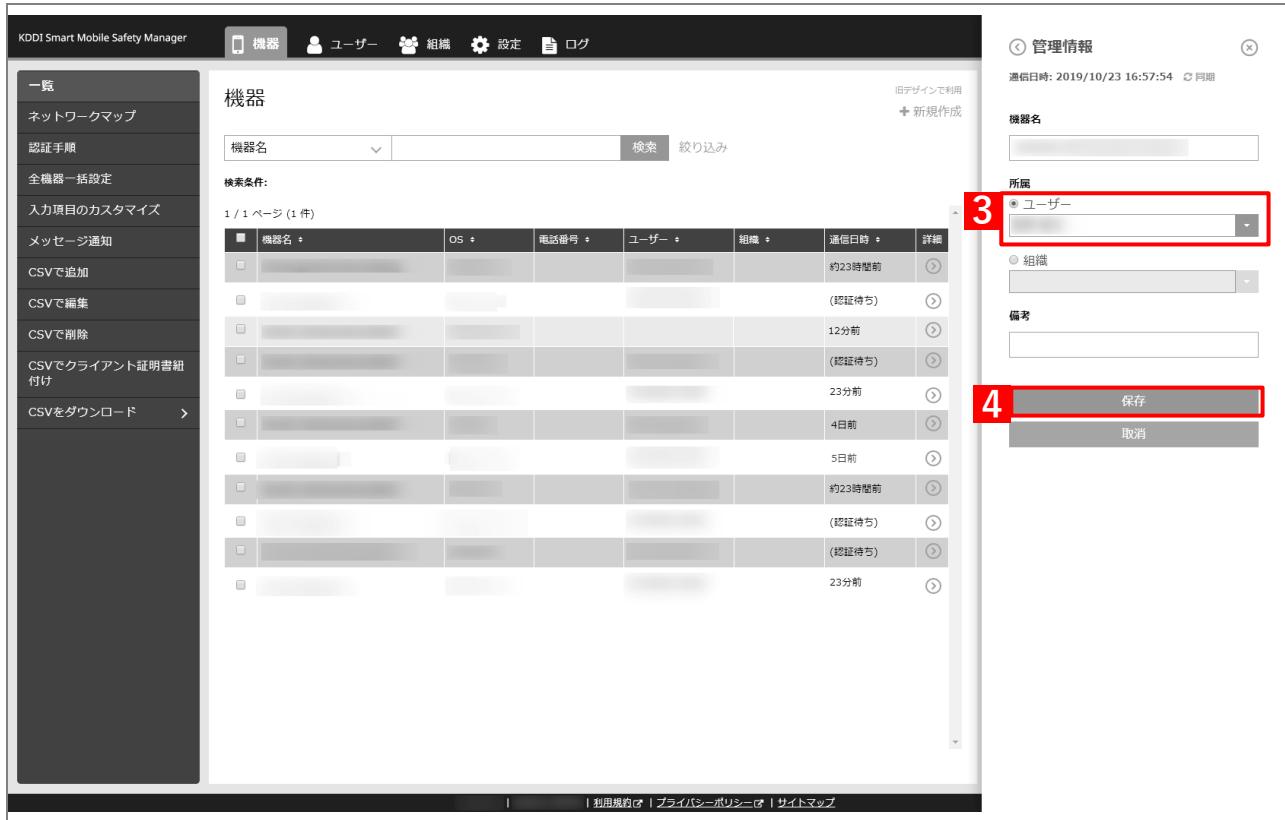
**[1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。

**[2]** [管理情報の編集] をクリックします。



The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager application interface. On the left, there is a sidebar with various options like '一覧', 'ネットワークマップ', '認証手順', etc. The main area is titled '機器' (Devices) and shows a list of devices. A specific row in the list is highlighted with a red box and labeled '1'. To the right of the list, there is a detailed view of the selected device, including OS, phone number, user, organization, and last communication time. Below this, there is a section titled '管理情報の編集' (Edit Management Information) with several buttons: '設定の割り当て' (Assign Settings), '設定テンプレートの割り当て' (Assign Setting Template), 'スクリーンロックパスワード変更' (Change Screen Lock Password), and 'リモートロック' (Remote Lock). At the bottom, there are links for '利用規約' (Terms of Service), 'プライバシーポリシー' (Privacy Policy), and 'サイトマップ' (Site Map).

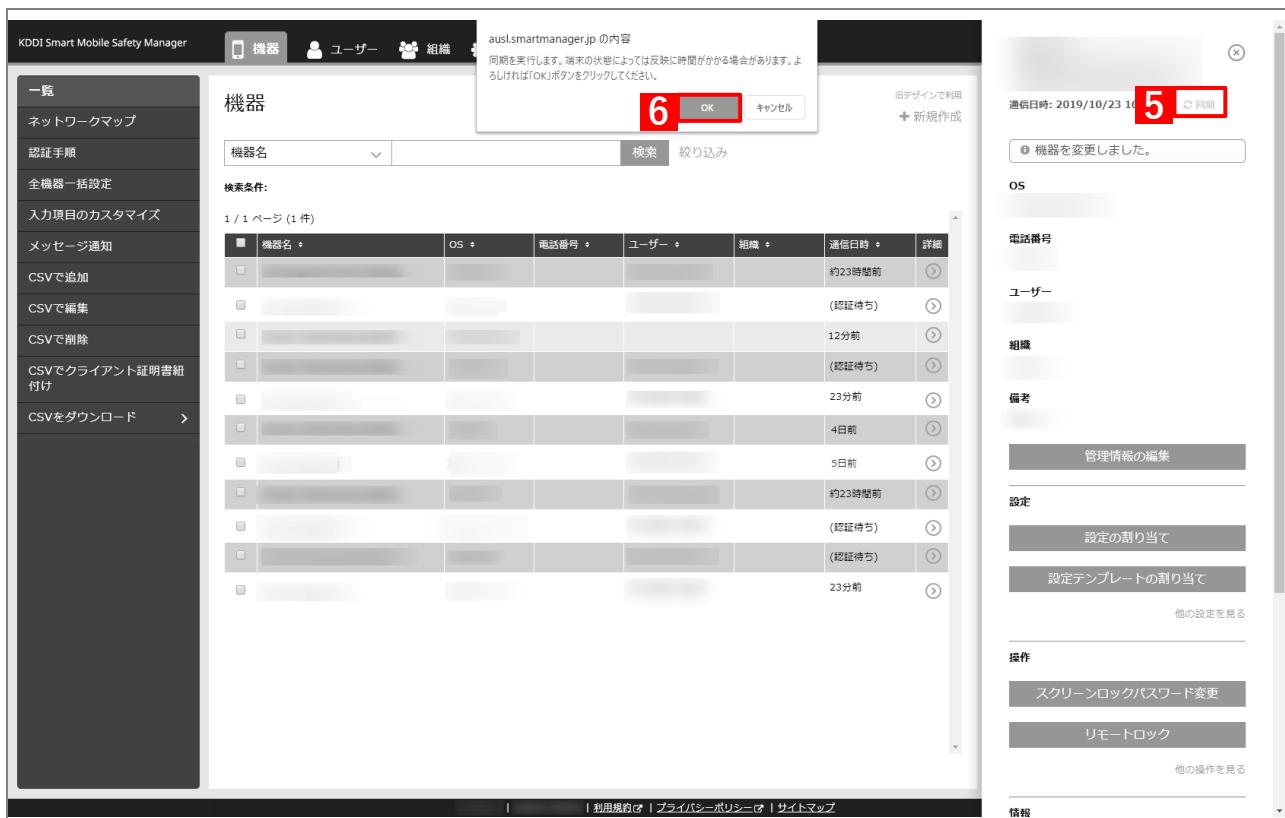
- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。

- [6]** [OK] をクリックします。

⇒ 端末の Play ストアに LINE WORKS が配信されます。以降の操作は配信先の端末で行います。



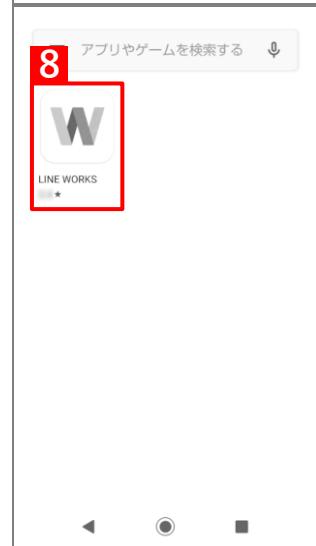
**[7]** [Play ストア] をタップします。



**[8]** [LINE WORKS] をタップします。

⇒ LINE WORKS のインストールが開始されます。端末の画面に  
アプリのアイコンが表示されるまでお待ちください。

**[9]** インストール完了後、指定の ID とパスワードで LINE WORKS  
にログインします。



## 2.6 すべてのアプリのインストールを許可する

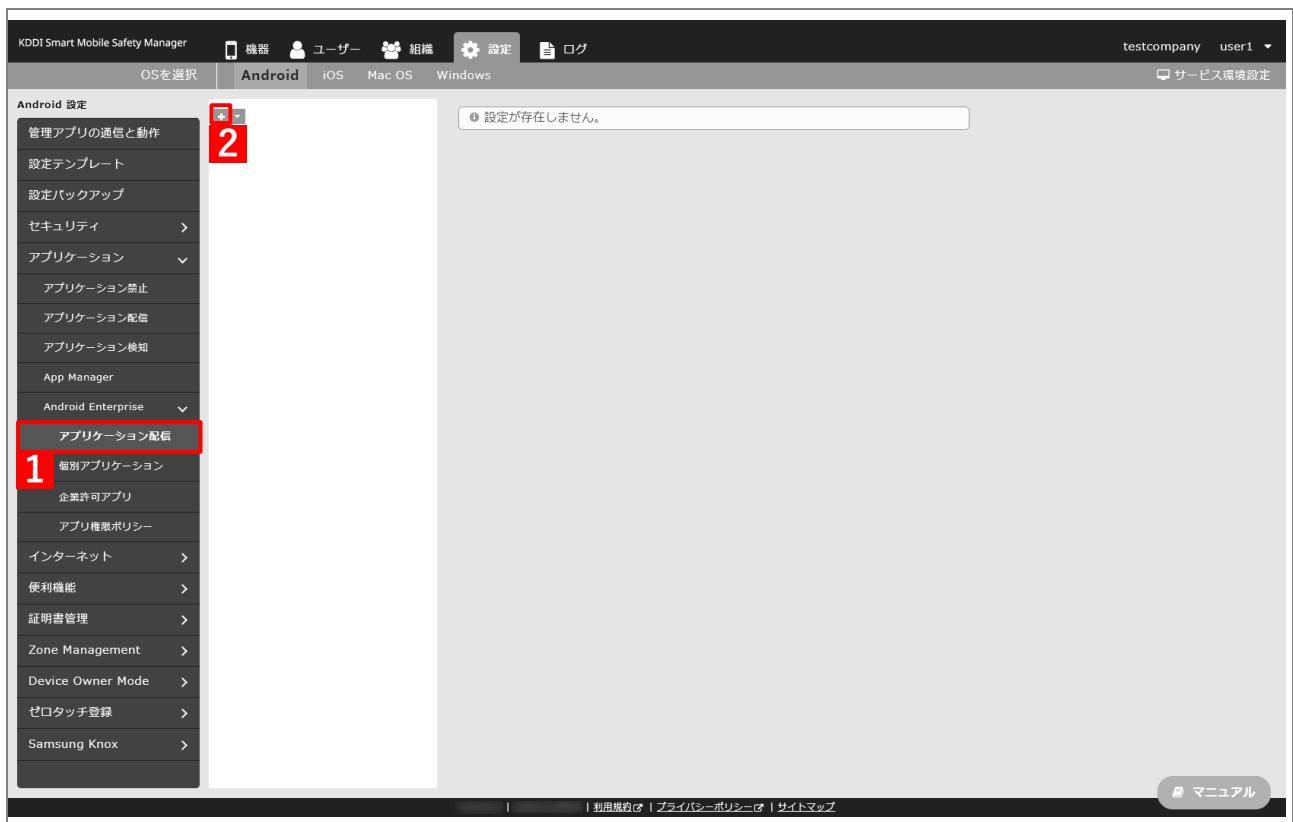
Play ストアに公開されているすべてのアプリを端末にインストールできるようにするには、以下の一連の操作を行います。

### 2.6.1 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリケーション配信設定を作成します。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。

**[2]** + をクリックします。



**[3]** 「配信設定名」に任意の名前を入力します。

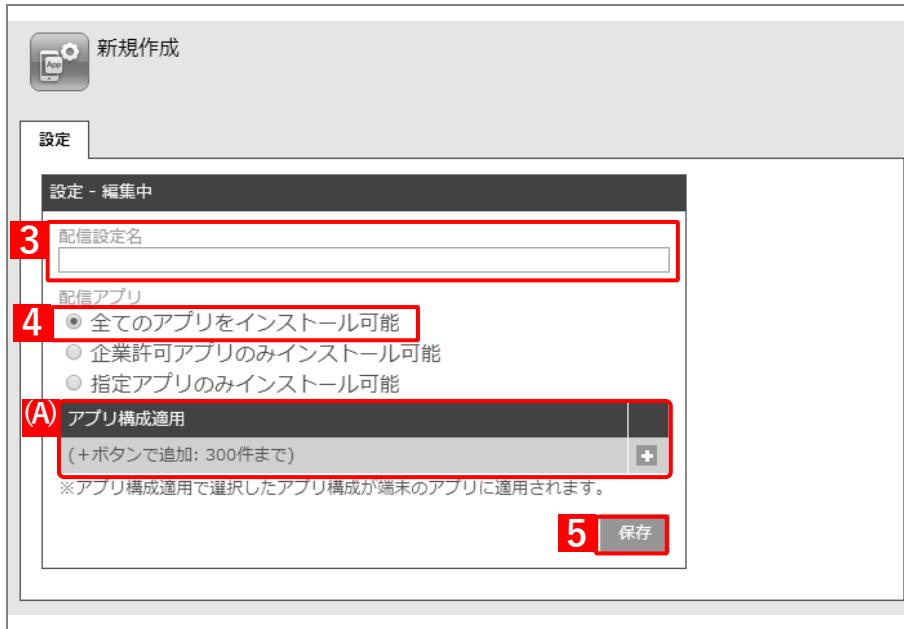
**[4]** 「全てのアプリをインストール可能」を選択します。

インストール対象のアプリには、「アプリ構成」の設定値を付加することもできます。その場合は、「アプリ構成」を適用したアプリ個別設定を作成し、(A)「アプリ構成適用」に追加してください。  
「アプリ構成」の詳細およびアプリ個別設定の作成方法については、以下を参照してください。

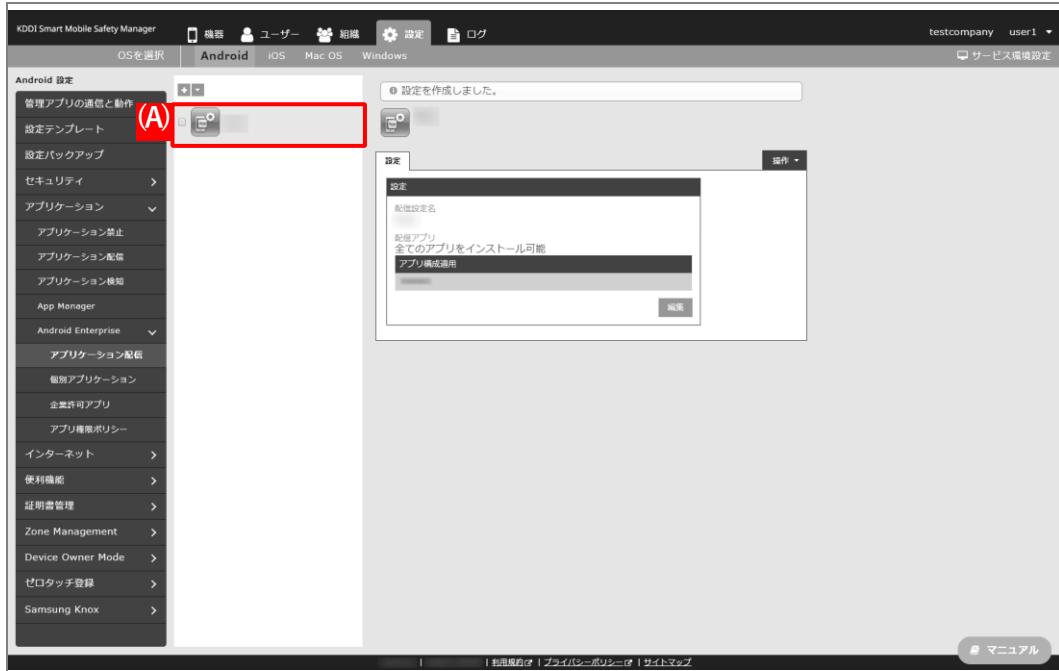
「アプリ構成を利用してアプリをインストールする」 64 ページ

「アプリ個別設定を作成する」 67 ページ

**[5]** [保存] をクリックします。



⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。



## 2.6.2 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

- [1]** [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。

The screenshot shows the 'KDDI Smart Mobile Safety Manager' application interface. At the top, there are navigation tabs: 営業部 (Organization), ユーザー (User), 組織 (Organization), 設定 (Setting), and ログ (Log). The user is currently logged in as 'testcompany user1'. On the left, a sidebar menu has '一覧' (List) selected. The main content area displays a hierarchical organization structure under '営業部' (Sales Department). A red box highlights the '営業部' node. To the right, there are tabs for 'Android設定' (Android Settings), 'iOS設定' (iOS Settings), 'Windows設定' (Windows Settings), and 'その他' (Others). The 'その他' tab is active. Below it, there's a '管理' (Management) section with fields for '組織名' (Organization Name) set to '営業部', '上位組織' (Parent Organization) set to '全社' (Corporate Office), and '権限を引き継ぐ' (Inherit Permissions). A '編集' (Edit) button is at the bottom right.

- [2]** [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。

This screenshot shows the same application interface as the previous one, but with the 'その他' tab selected. A red box highlights the 'ユーザー設定' (User Settings) tab. Below it, there's another tab labeled '「Appとブック」設定' (App and Book Settings). The rest of the interface is identical to the previous screenshot, showing the organization management screen.

【3】 [編集] をクリックします。



【4】 プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。

【5】 [保存] をクリックします。

⇒ すべてのアプリのインストールを許可するアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



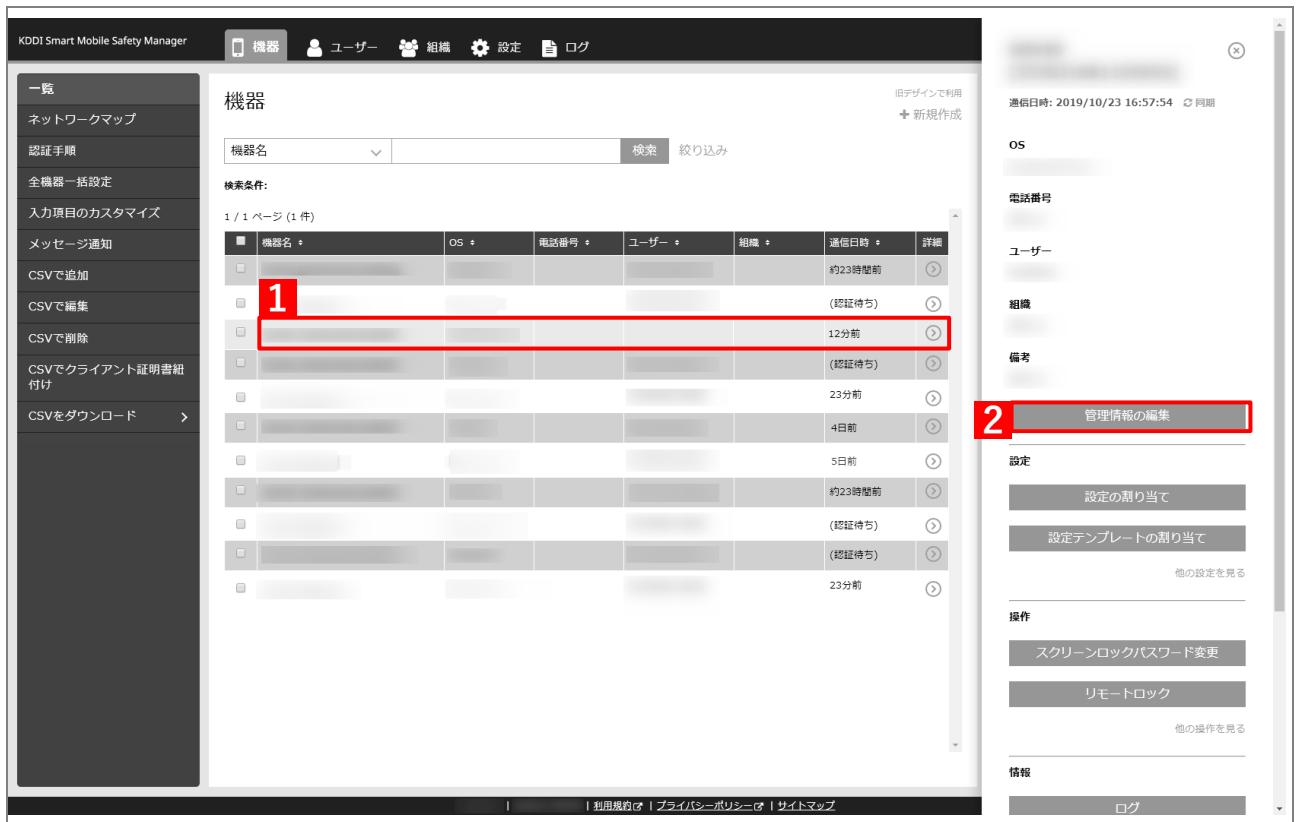
### 2.6.3 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で対象端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行うと、すべてのアプリを端末にインストールできるようになります。

 割り当てたユーザーは変更できません。変更する場合は、Android 端末を初期化して、再度キッティングをする必要があります。

**[1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。

**[2]** [管理情報の編集] をクリックします。



The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager web interface. On the left, a sidebar menu includes options like '一覧', 'ネットワークマップ', '認証手順', '全機器一括設定', '入力項目のカスタマイズ', 'メッセージ通知', 'CSVで追加', 'CSVで編集', 'CSVで削除', 'CSVでクライアント証明書紐付け', and 'CSVをダウンロード'.

The main area is titled '機器' (Devices) and displays a table of devices. The first row in the table is highlighted with a red box and labeled '1'. The table columns include '機器名' (Device Name), 'OS', '電話番号' (Phone Number), 'ユーザー' (User), '組織' (Organization), and '通信日時' (Communication Date). The first row's communication date is '約23時間前' (About 23 hours ago).

To the right of the table, there is a sidebar with sections for 'OS' (Operating System), '電話番号' (Phone Number), 'ユーザー' (User), '組織' (Organization), and '備考' (Notes). Below these are sections for '設定' (Settings) containing '設定の割り当て' (Assignment) and '設定テンプレートの割り当て' (Assignment of setting template), and '操作' (Operations) containing 'スクリーンロックパスワード変更' (Change screen lock password) and 'リモートロック' (Remote lock). At the bottom of the sidebar, there is a link '他の操作を見る' (View other operations).

The status bar at the bottom indicates '送信日時: 2019/10/23 16:57:54' and '同期' (Sync).

- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。

The screenshot shows the 'KDDI Smart Mobile Safety Manager' interface. On the left, there's a sidebar with various options like 'Network Map', 'Authentication Flow', 'Machine Settings', etc. The main area is titled 'Devices' and shows a table of devices with columns for 'Name', 'OS', 'Phone Number', 'User', 'Organization', and 'Last Contact'. A search bar at the top right has 'User' selected in the dropdown. To the right, there's a 'Management Information' panel with fields for 'Machine Name', 'Organization', and 'Notes'. A red box highlights the 'User' dropdown in the panel, and another red box highlights the 'Save' button at the bottom.

**[5]** [同期] をクリックします。

**[6]** [OK] をクリックします。

⇒ 以降の操作は配信先の端末で行います。

This screenshot shows the same application interface as the previous one, but with a modal window in the center. The modal has a title 'ausl.smartmanager.jp の内容' and a message: 'Sync is performed. Depending on the status of the terminal, it may take some time to reflect. If OK, click the OK button.' Below the message are 'OK' and 'Cancel' buttons, with 'OK' highlighted by a red box. To the right of the modal, a status bar shows 'Sync time: 2019/10/23 16:57:54' and a red box highlights the 'Sync' button. The main interface on the left shows the device list and management information panel, which now includes a 'Sync' section with buttons for 'Setting Allocation' and 'Template Setting Allocation'.

**[7]** [Play ストア] をタップし、インストールしたいアプリを選択します。

⇒ アプリのインストールが開始されます。



## 2.7 管理者が登録したアプリのみインストールを許可する

managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、管理者が承認したもののみを端末にインストールできるようにするには、以下の一連の操作を行います。

### 2.7.1 企業許可アプリを追加する

以下の手順で managed Google Play ストアに公開されているアプリのうち、Android Enterprise で配信することを企業で許可するアプリを追加します。

「企業許可アプリ」は、1,000 件まで登録できます。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [企業許可アプリ] をクリックします。

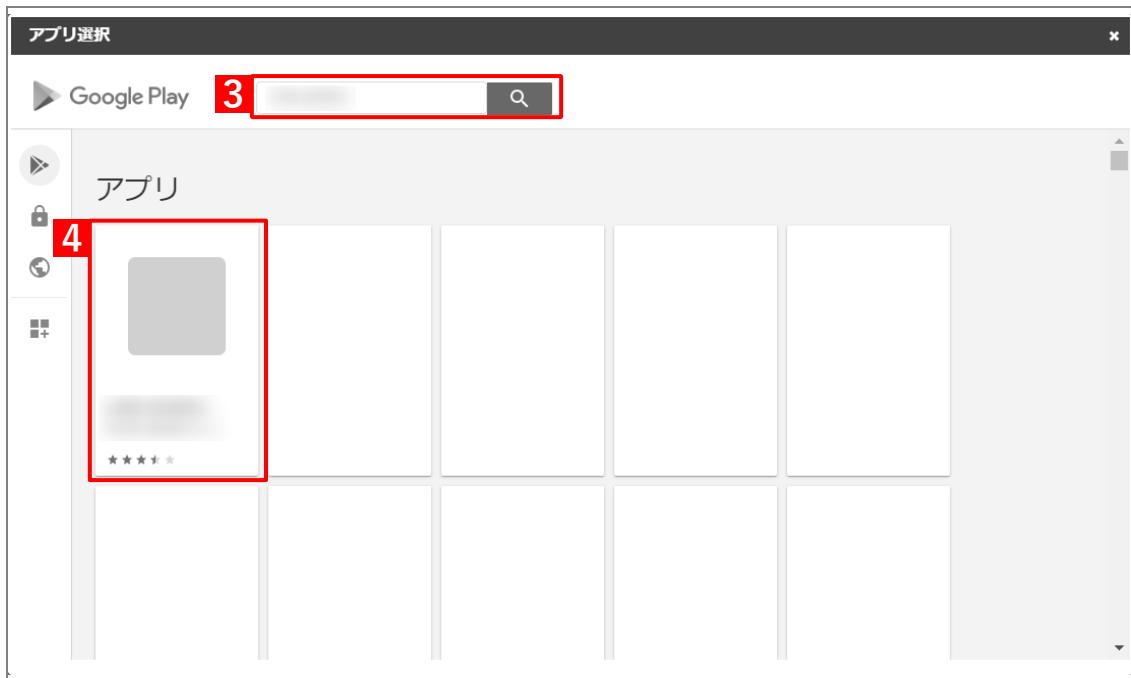
**[2]** [アプリを選択する] をクリックします。



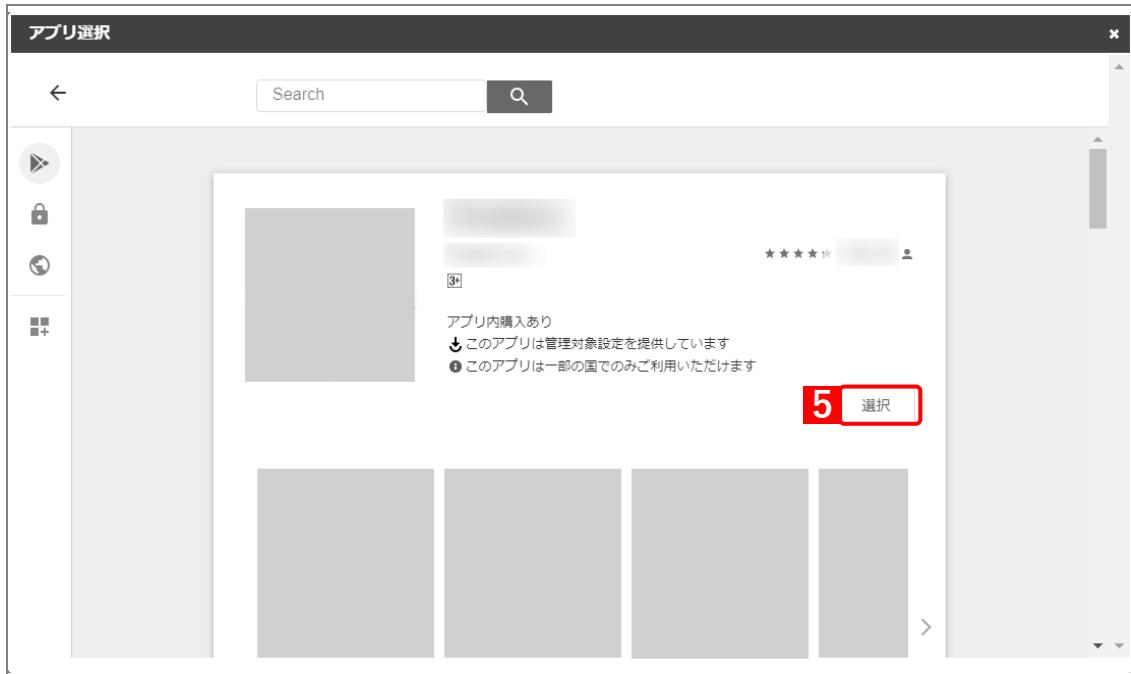
**【3】企業で配信を許可するアプリを検索します。**

⇒検索結果が表示されます。

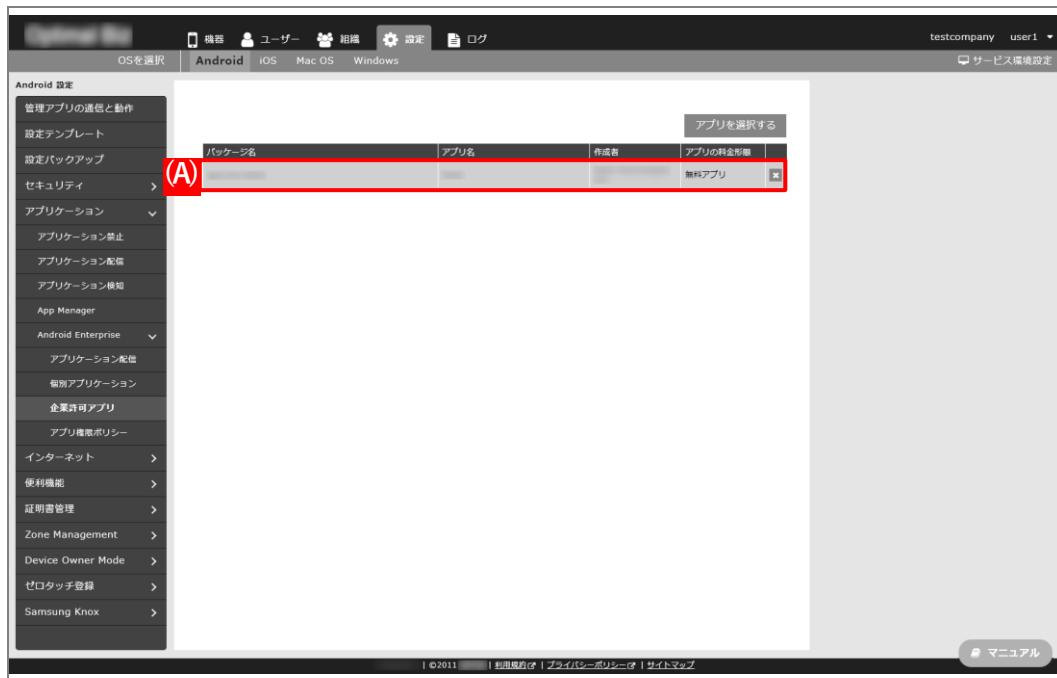
**【4】該当のアプリをクリックします。**



**【5】[選択] をクリックします。**



⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じて、「企業許可アプリ」に (A) 選択したアプリが登録されます。



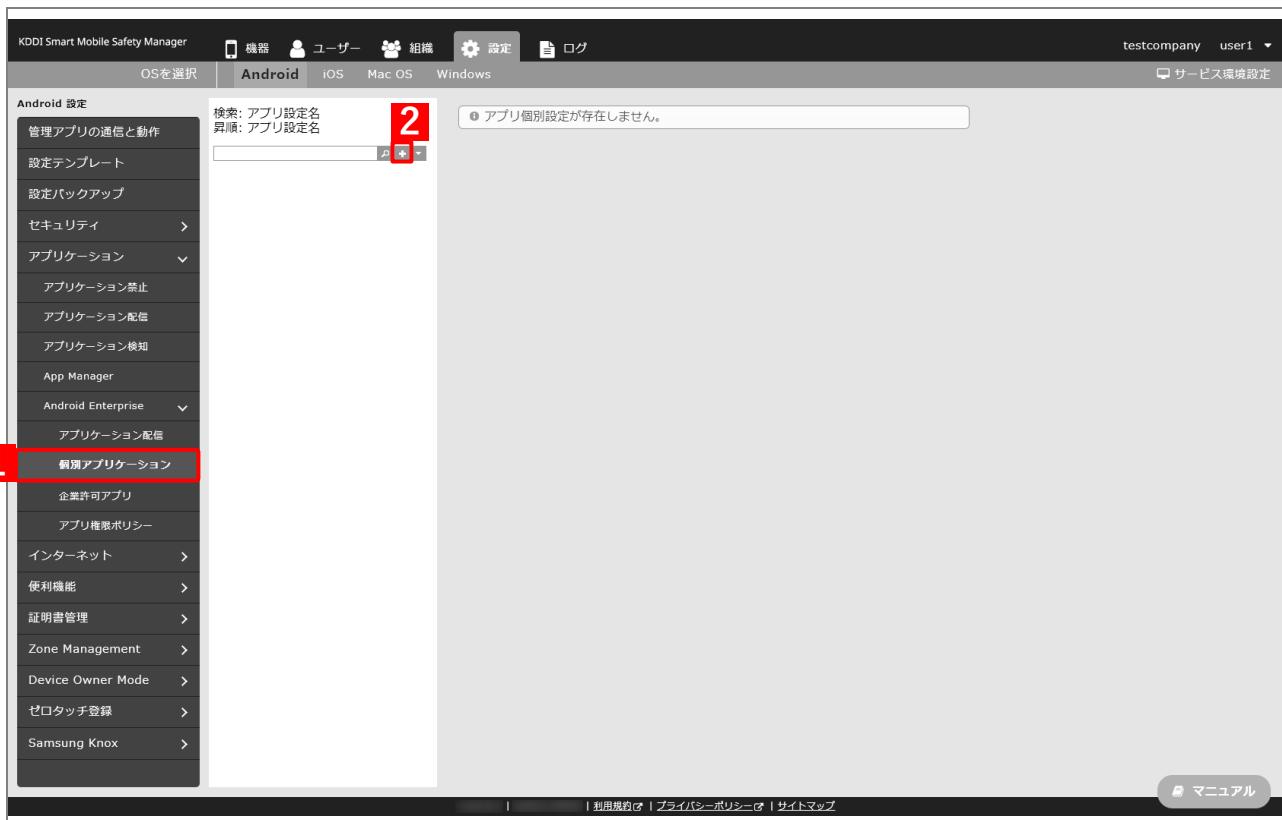
## 2.7.2 アプリ個別設定を作成する

以下の手順で「個別アプリケーション」から、インストール対象のアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成します。

**■** 1つの設定セットに複数のアプリをセットすることはできません。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。

**[2]** **+** をクリックします。



**[3]** 「アプリ設定名」に任意の名前を入力します。

**[4]** 「アプリを選択する」をクリックします。

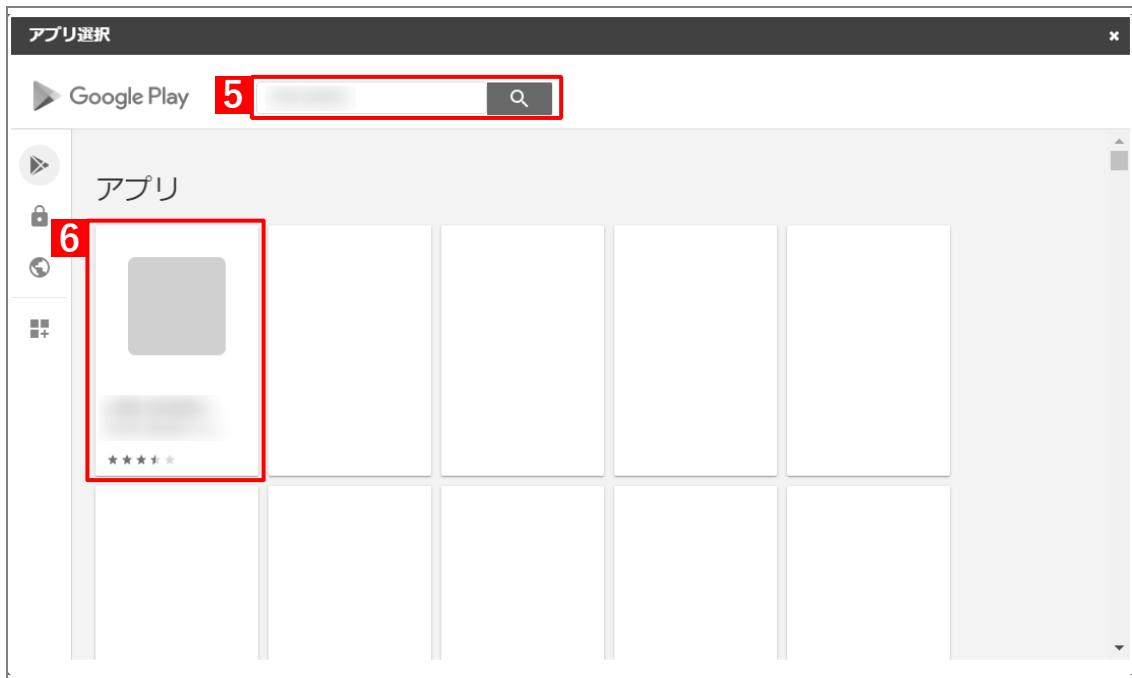
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



**【5】インストール対象のアプリを検索します。**

⇒検索結果が表示されます。

**【6】該当のアプリをクリックします。**



**【7】[選択] をクリックします。**

⇒managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が閉じます。



**[8] [保存] をクリックします。**

⇒ アプリ個別設定が作成されます。

（A）「選択中のアプリ」には、アプリのパッケージ名が表示されています。

**[9] [編集] をクリックします。**

**【10】「アプリ構成」の「未構成」をクリックします。**

設定 - 編集中

ランタイムパーミッション  
◎ デフォルト  
○ 個別設定

パーミッション名	許可
android.permission.CAMERA	不許可 ▾
android.permission.READ_EXTERNAL_STORAGE	不許可 ▾

アプリ構成  
**未構成**

10 ※以下のワイルドカードを使用することが出来ます。  
・\$emailaddress\$: ユーザーのメールアドレス  
・\$username\$: ユーザー名  
・\$userid\$: ユーザーID  
・\$imei\$: 機器のIMEI  
・\$serialnumber\$: 機器のシリアル番号  
・\$deviceguid\$: 機器のGUID

▲ アプリ構成を 新規作成 / 更新 / 削除 した場合は、編集中の設定が保存されます。

旧アプリ構成を利用する   
対象アプリに設定は存在しません。

アプリケーションへの権限移譲  
◎ 移譲しない  
○ 移譲する

移譲する権限	許可
証明書のインストールと管理	不許可 ▾
アプリ構成の管理	不許可 ▾
アンインストールの抑止	不許可 ▾
アクセス権限の設定と管理	不許可 ▾
アプリの表示や状態の管理	不許可 ▾
システムアプリの有効化	不許可 ▾

取消 保存

**[11]** 「設定名」に任意の名前を入力します。

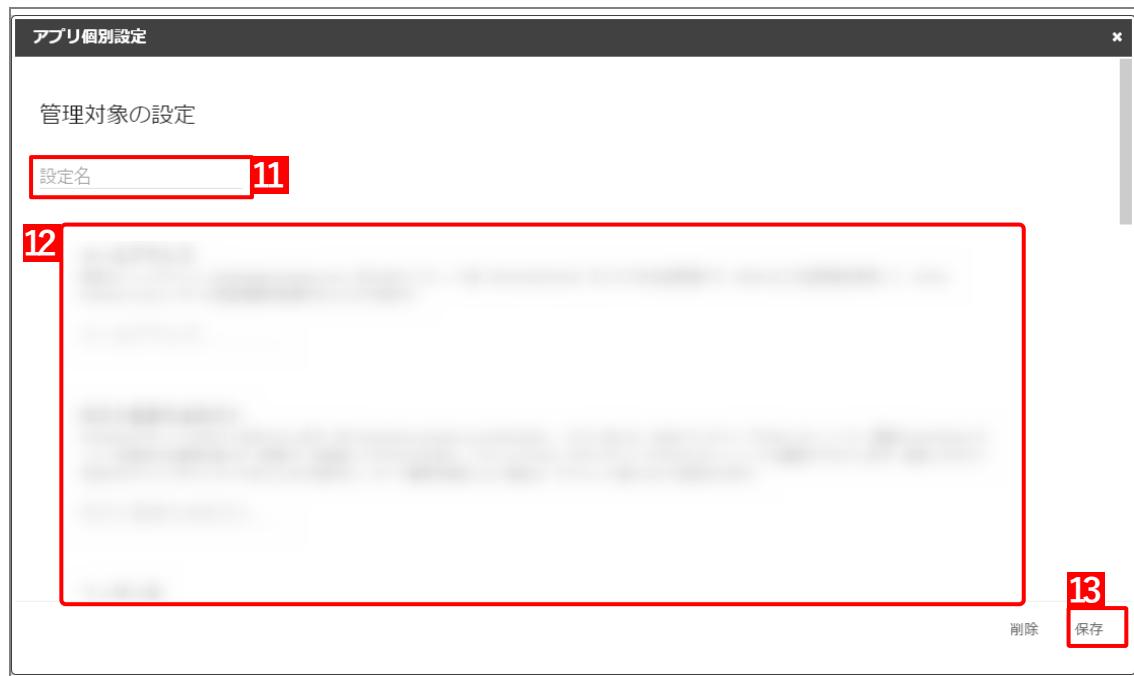
**[12]** アプリに付加する設定値を入力します。

付加できる設定値は、アプリによって異なります。詳細については、アプリの開発元にお問い合わせください。

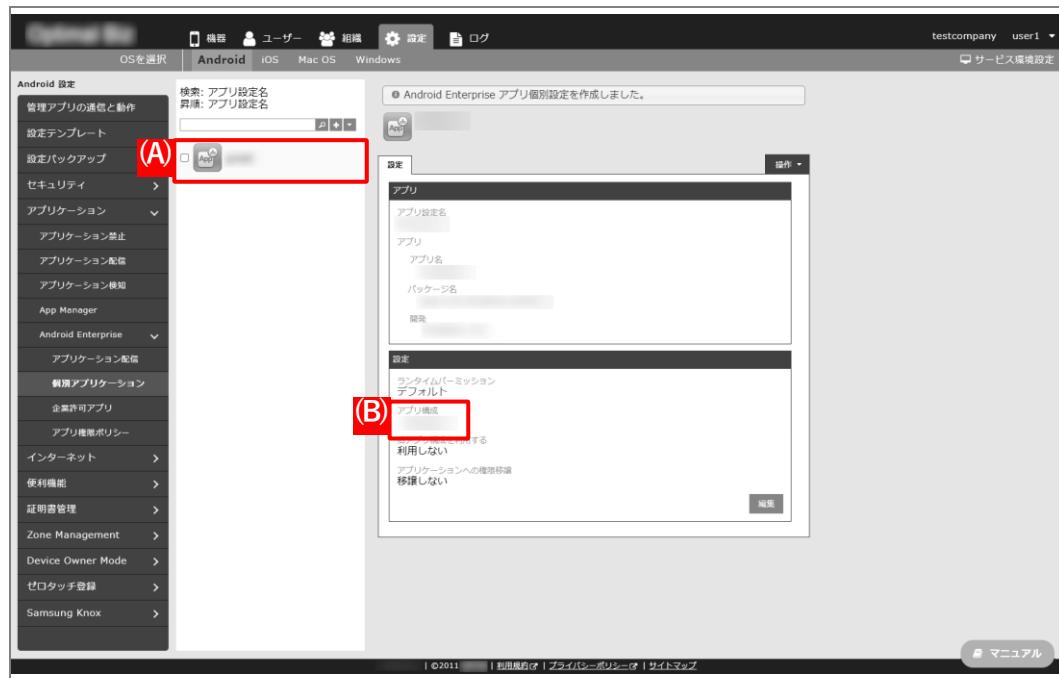
特定のアプリでは、管理サイトで設定されているユーザー情報、機器の固有情報に紐づくワイルドカードを設定値として使用できます。ワイルドカードを使用すると、メールアプリなどをインストールするとき各ユーザーに対応したユーザー情報や機器の固有情報が自動的に設定できます。使用できるワイルドカードは、以下の6種類です。

ワイルドカード	ユーザー情報／機器の固有情報	備考
\$emailaddress\$	ユーザーのメールアドレス	
\$username\$	ユーザー名	
\$userid\$	ユーザーID	
\$imei\$	機器のIMEI	管理サイトの「機器」→「詳細画面」→「情報」の「デバイス」に表示される「SIM情報[1]」パネルの「IMEI/MEID」です。
\$serialnumber\$	機器のシリアル番号	
\$deviceguid\$	機器のGUID	

**[13]** [保存] をクリックします。



⇒ (A) アプリ個別設定が作成されます。(B) 「アプリ構成」には、【11】で入力した設定名が反映されます。

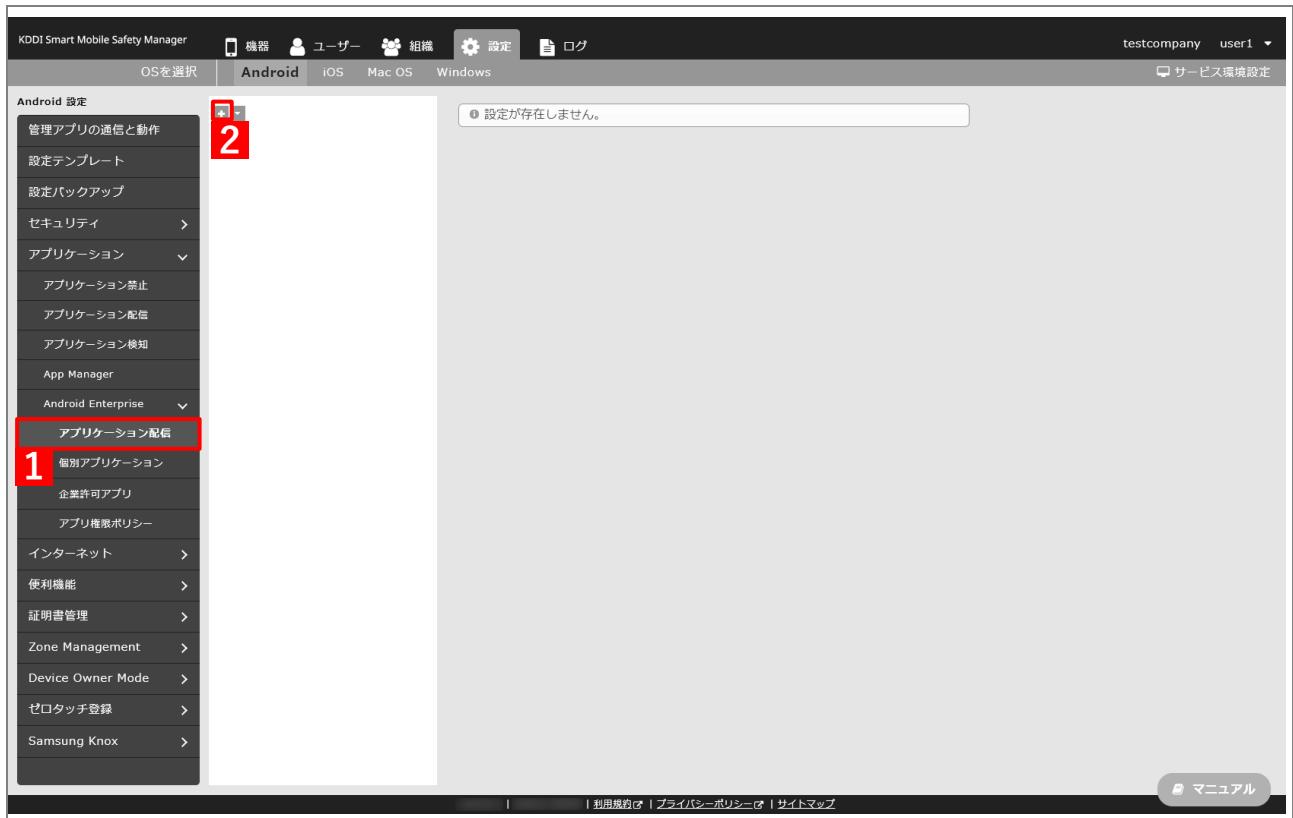


## 2.7.3 アプリケーション配信設定を作成する

以下の手順で「アプリケーション配信」から、アプリケーション配信設定を作成します。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [アプリケーション配信] をクリックします。

**[2]**  をクリックします。



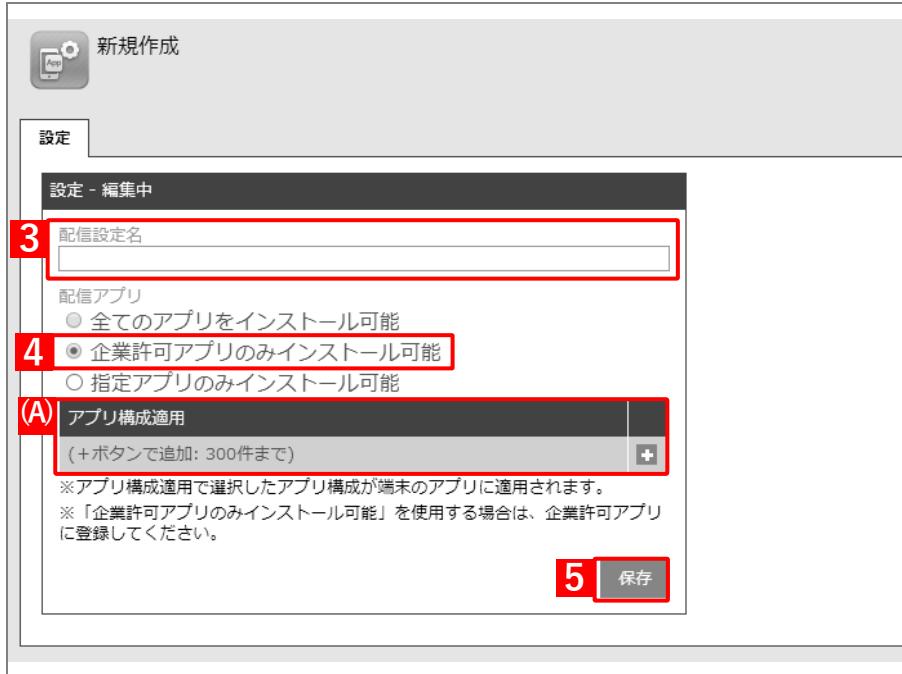
**[3]** 「配信設定名」に任意の名前を入力します。

**[4]** 「企業許可アプリのみインストール可能」を選択します。

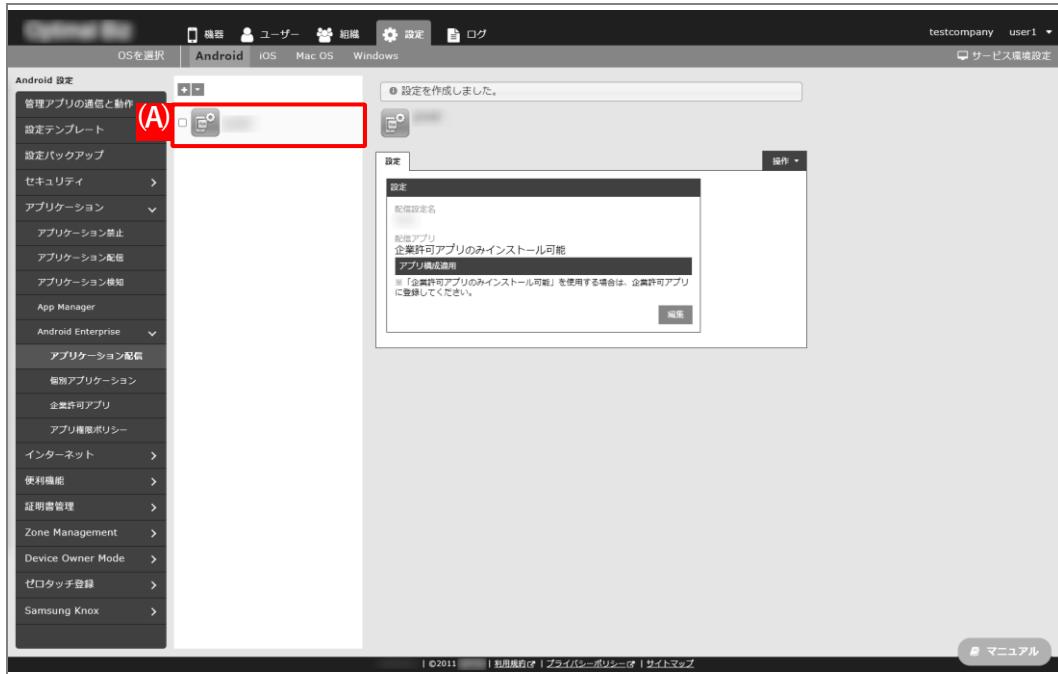
特定のアプリケーションにアプリ構成を適用したい場合は、事前に「個別アプリケーション」でアプリ構成を含んだ設定を作成したうえで (A) 「アプリ構成適用」欄に追加してください。  
「個別アプリケーション」設定の作成方法は以下を参照してください。

☞ 「アプリ個別設定を作成する」 91 ページ

**[5]** [保存] をクリックします。



⇒ (A) アプリケーション配信設定が作成されます。



## 2.7.4 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる

以下の手順で、アプリケーション配信設定を組織（ユーザー）に割り当てます。

- [1]** [組織] → [一覧] → 一覧から対象組織を選択します。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、[ユーザー] → [一覧] → 一覧から対象ユーザーを選択します。

The screenshot shows the 'KDDI Smart Mobile Safety Manager' application interface. At the top, there are navigation tabs: 営業部 (Organization), ユーザー (User), 組織 (Organization), 設定 (Setting), and ログ (Log). The user is currently logged in as 'testcompany user1'. On the left, there's a sidebar with options like '一覧' (List), 'CSVで追加' (Add via CSV), 'CSVで編集' (Edit via CSV), and 'CSVをダウンロード' (Download CSV). The main content area shows a hierarchical organization structure under '営業部' (Organization). A red box highlights the '営業部' node. To the right, there are tabs for 'Android設定' (Android Settings), 'iOS設定' (iOS Settings), 'Windows設定' (Windows Settings), and 'その他' (Other). Below these tabs, there's a '管理' (Management) section with fields for '組織名' (Organization Name), '上位組織' (Parent Organization), and '権限を引き継ぐ' (Inherit Permissions). At the bottom, there's a '利用状況' (Usage Status) section indicating '権限を共有する機器: 0' (0 devices sharing permissions).

- [2]** [その他▼] タブ → [ユーザー設定] をクリックします。

☑ ユーザーに割り当てる場合は、対象ユーザーの選択時に [その他▼] タブ → [設定] を選択します。

This screenshot shows the same application interface as the previous one, but with a different focus. The 'その他' (Other) tab is selected in the navigation bar, and a red box highlights the 'ユーザー設定' (User Settings) tab within the sub-navigation. The rest of the interface is identical to the previous screenshot, showing the organization management screen.

【3】 [編集] をクリックします。



【4】 プルダウンメニューから、「アプリケーション配信設定を作成する」の手順【3】で設定した配信設定名を指定します。

【5】 [保存] をクリックします。

⇒ 許可アプリを設定したアプリケーション配信設定が、対象組織に割り当てられます。



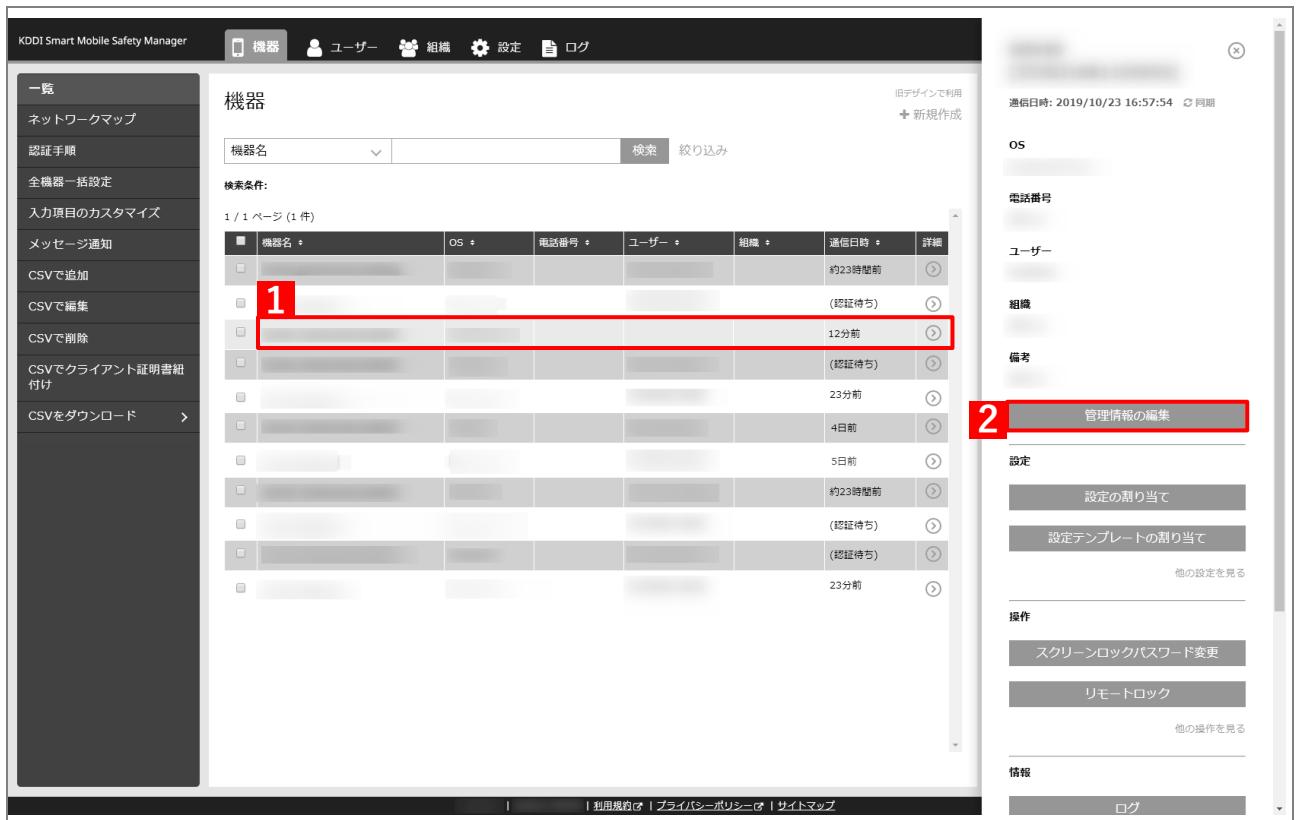
## 2.7.5 端末にユーザーを割り当てる

以下の手順で対象端末にユーザーを割り当て、同期を行います。この操作まで行うと、許可アプリのみ端末にインストールできるようになります。

 割り当てたユーザーは変更できません。変更する場合は、Android 端末を初期化して、再度キッティングをする必要があります。

**[1]** [機器] → [一覧] → 一覧から対象端末をクリックします。

**[2]** [管理情報の編集] をクリックします。



The screenshot shows the KDDI Smart Mobile Safety Manager web interface. On the left, a sidebar menu includes options like '一覧', 'ネットワークマップ', '認証手順', '全機器一括設定', '入力項目のカスタマイズ', 'メッセージ通知', 'CSVで追加', 'CSVで編集', 'CSVで削除', 'CSVでクライアント証明書紐付け', and 'CSVをダウンロード'.

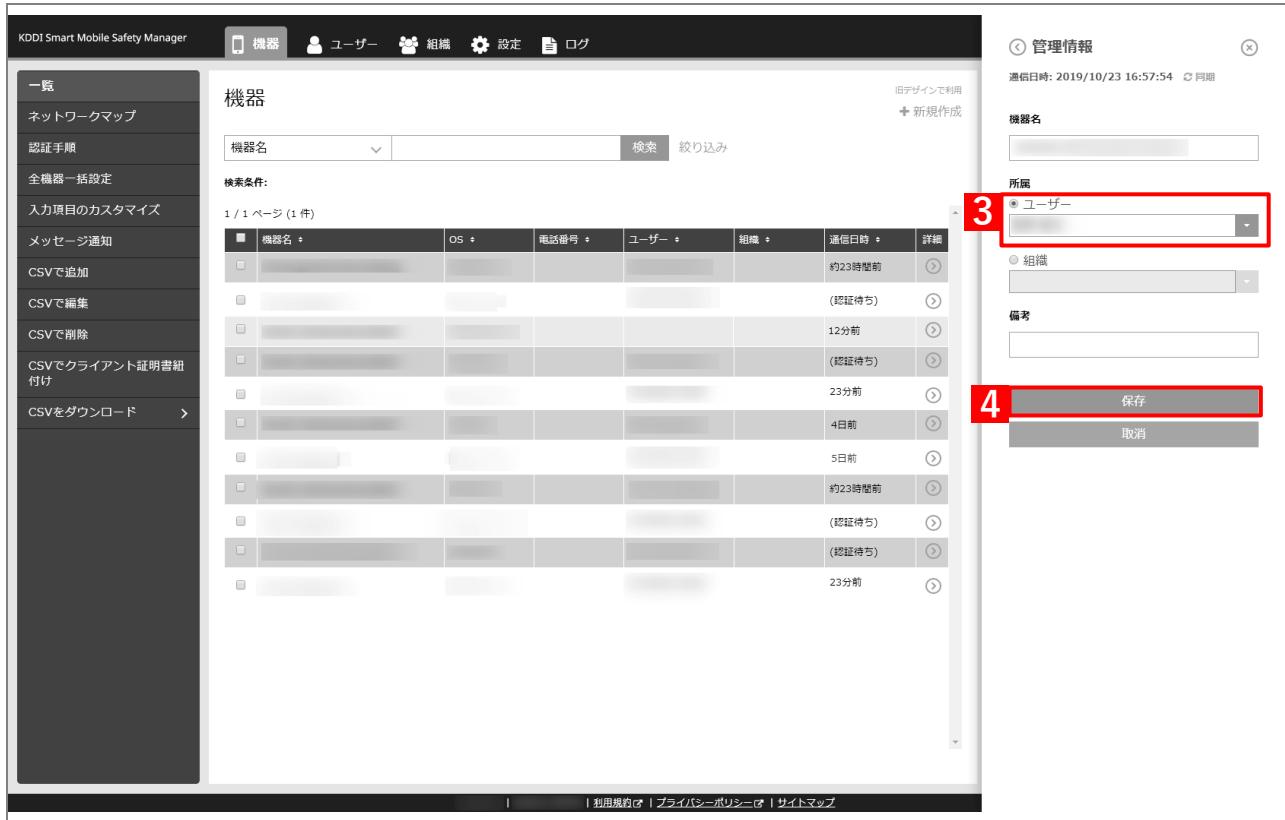
The main area is titled '機器' (Devices) and displays a table of devices. The first row of the table is highlighted with a red box and labeled '1'. The table columns include '機器名' (Device Name), 'OS', '電話番号' (Phone Number), 'ユーザー' (User), '組織' (Organization), and '通信日時' (Communication Date). The first row's communication date is '約23時間前' (About 23 hours ago).

To the right of the table, there is a detailed view of the selected device. It shows the following information:

- OS: [redacted]
- 電話番号: [redacted]
- ユーザー: [redacted]
- 組織: [redacted]
- 通信日時: 2019/10/23 16:57:54 同期

Below this, there are sections for '設定' (Settings) and '操作' (Operations). The '設定' section contains '設定の割り当て' (Assign settings) and '設定テンプレートの割り当て' (Assign setting template). The '操作' section contains 'スクリーンロックパスワード変更' (Change screen lock password) and 'リモートロック' (Remote lock). A link '他の操作を見る' (View other operations) is also present.

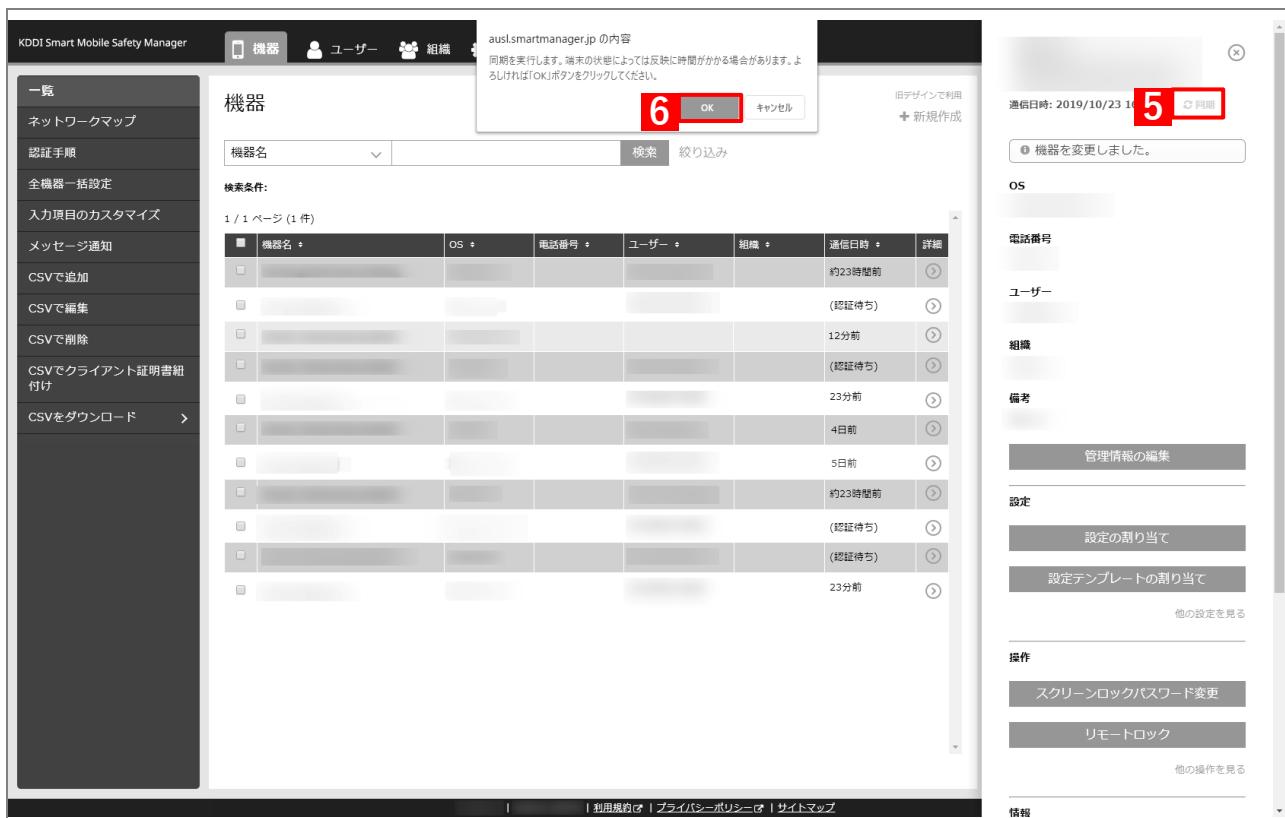
- [3]** 「所属」の「ユーザー」を選択し、プルダウンメニューから「ユーザーを組織に紐づける」の手順【1】で選択したユーザーを指定します。
- [4]** [保存] をクリックします。



- [5]** [同期] をクリックします。

- [6]** [OK] をクリックします。

⇒ 以降の操作は配信先の端末で行います。



**[7]** [Play ストア] をタップし、インストールしたいアプリを選択します。

⇒ アプリのインストールが開始されます。

☑ Play ストアには許可アプリのみ表示されます。



## 3 アプリをアップデートする

### 3.1 インストール済みアプリを自動アップデートする

以下の条件を満たしていれば、アプリケーション配信を利用して端末にインストールしたアプリ（Play ストア公開アプリまたはオリジナルアプリ）は、自動的にアップデートされます。

- managed Google Play ストアにアプリの最新バージョンが公開されている。

☞ 「アプリ個別設定を作成する」手順【5】

☒ managed Google Play ストアの仕様により、アプリの最新バージョンが公開されてから端末へのアップデートが開始されるまで時間がかかることがあります。

- オリジナルアプリ（限定公開アプリ）の場合は、managed Google Play ストアに apk ファイルの最新バージョンをアップロードしている。

☞ 「アプリ個別設定を作成する」30 ページ

☒ managed Google Play ストアの仕様により、apk ファイルの最新バージョンが公開されてから端末へのアップデートが開始されるまで時間がかかることがあります。

- アプリケーション配信設定で該当アプリを登録した「アプリ個別設定」が指定され、「強制インストール」の「する」にチェックが入っている。

☞ 「アプリケーション配信設定を作成する」手順【6】、【7】

- 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定が正しく割り当てられている。

☞ 「組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる」

- managed Google Play ストアの設定で、「アプリの自動更新」が「アプリを自動更新しない」以外に設定されている。

### 3.2 インストール済みアプリを自動アップデートする

#### （アプリケーション配信の利用以前にインストールしたアプリの場合）

以下の操作を行うことにより、managed Google Play ストアに該当アプリの最新バージョンが公開されたときに、アプリを自動的にアップデートできます。

1. 「個別アプリケーション」で、該当アプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成する。
2. 「アプリケーション配信」で、1 のアプリ個別設定を指定し、強制インストールする設定セット（アプリケーション配信設定）を作成する。
3. 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる。
4. アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行う。

手順の詳細については、以下を参照してください。

☞ 「アプリを強制インストールする」

☒ managed Google Play ストアの仕様により、アプリの最新バージョンが公開されてから端末へのアップデートが開始されるまで時間がかかることがあります。

☒ Play ストアの設定で「アプリの自動更新」が「アプリを自動更新しない」に設定されている場合は、自動アップデートは行われません。

### 3.3 プリインストールアプリを自動アップデートする

以下の操作を行うことにより、managed Google Play ストアに該当プリインストールアプリの最新バージョンが公開されたときに、アプリを自動的にアップデートできます。

1. 「個別アプリケーション」で、該当プリインストールアプリを登録した設定セット（アプリ個別設定）を作成する。
2. 「アプリケーション配信」で、1 のアプリ個別設定を指定し、強制インストールする設定セット（アプリケーション配信設定）を作成する。
3. 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる。
4. アプリのインストール先となる端末にユーザーを割り当て、同期を行う。

手順の詳細については、以下を参照してください。

☞ 「アプリを強制インストールする」

managed Google Play ストアの仕様により、アプリの最新バージョンが公開されてから端末へのアップデートが開始されるまで時間がかかることがあります。

Play ストアの設定で「アプリの自動更新」が「アプリを自動更新しない」に設定されている場合は、自動アップデートは行われません。

### 3.4 企業許可アプリを自動アップデートする

企業許可アプリは、アプリケーション配信設定で、以下のアップデート方法を設定します。

#### ● デフォルト

以下の条件をすべて満たした場合に、アプリが自動アップデートされます。

- ・各端末の Google Play ストアの「ネットワーク設定」が「ネットワークの指定なし」に設定されている。または、「Wi-Fi 経由のみ」を設定し、端末が Wi-Fi に接続されている。
- ・端末を操作していない状態である。
- ・端末が充電中である。
- ・アップデートするアプリが画面上で起動していない。

#### ● 90 日間延期

Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されても、90 日間はアップデートされません。90 日を過ぎると、「デフォルト」と同じ条件で自動アップデートされます。

#### ● 高優先度

Google Play ストアで新しいバージョンのアプリが公開されたあと、端末の Google Play ストアがアップデートを受け取ると、すぐにアプリが自動アップデートされます。「デフォルト」の条件を満たしている必要はありません。

端末で使用中のアプリがアップデートされる場合、アプリが終了し、ユーザーに影響を与える場合があります。

☞ 自動アップデートの設定手順は、以下を参照してください。

☞ 「アプリを強制インストールする」 - 「アプリケーション配信設定を作成する」 20 ページ

☞ 「オリジナルアプリをインストールする」 - 「アプリケーション配信設定を作成する」 38 ページ

☞ 「ウェブアプリ（ショートカット）をインストールする」 - 「アプリケーション配信設定を作成する」 55 ページ

☞ 「アプリ構成を利用してアプリをインストールする」 - 「アプリケーション配信設定を作成する」 72 ページ

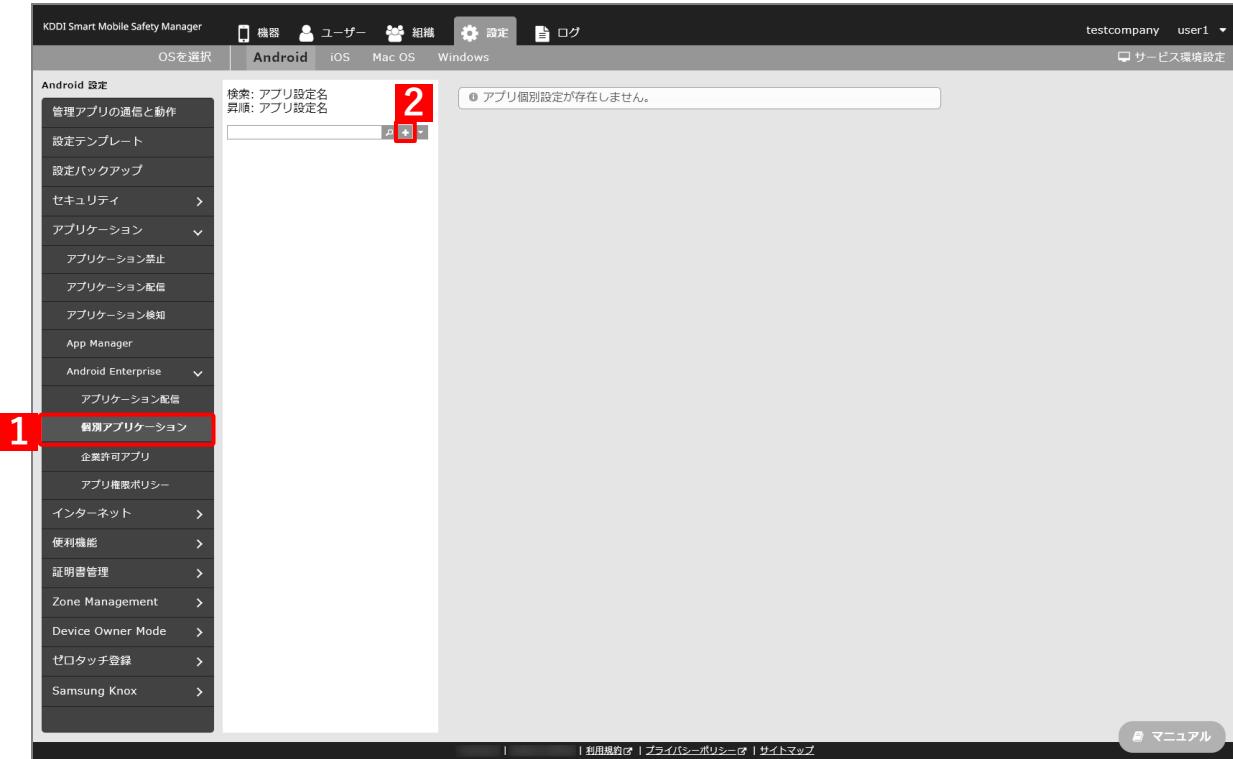
### 3.5 オリジナルアプリをアップデートする

公開したオリジナルアプリをバージョンアップする場合は、Google Play Console でアップデートを行います。

手順 【4】～【15】で表示される Google の画面は、予告なく変更される場合があります。

**[1]** [設定] → [Android] → [アプリケーション] → [Android Enterprise] → [個別アプリケーション] をクリックします。

**[2]** をクリックします。



**[3]** [アプリを選択する] をクリックします。

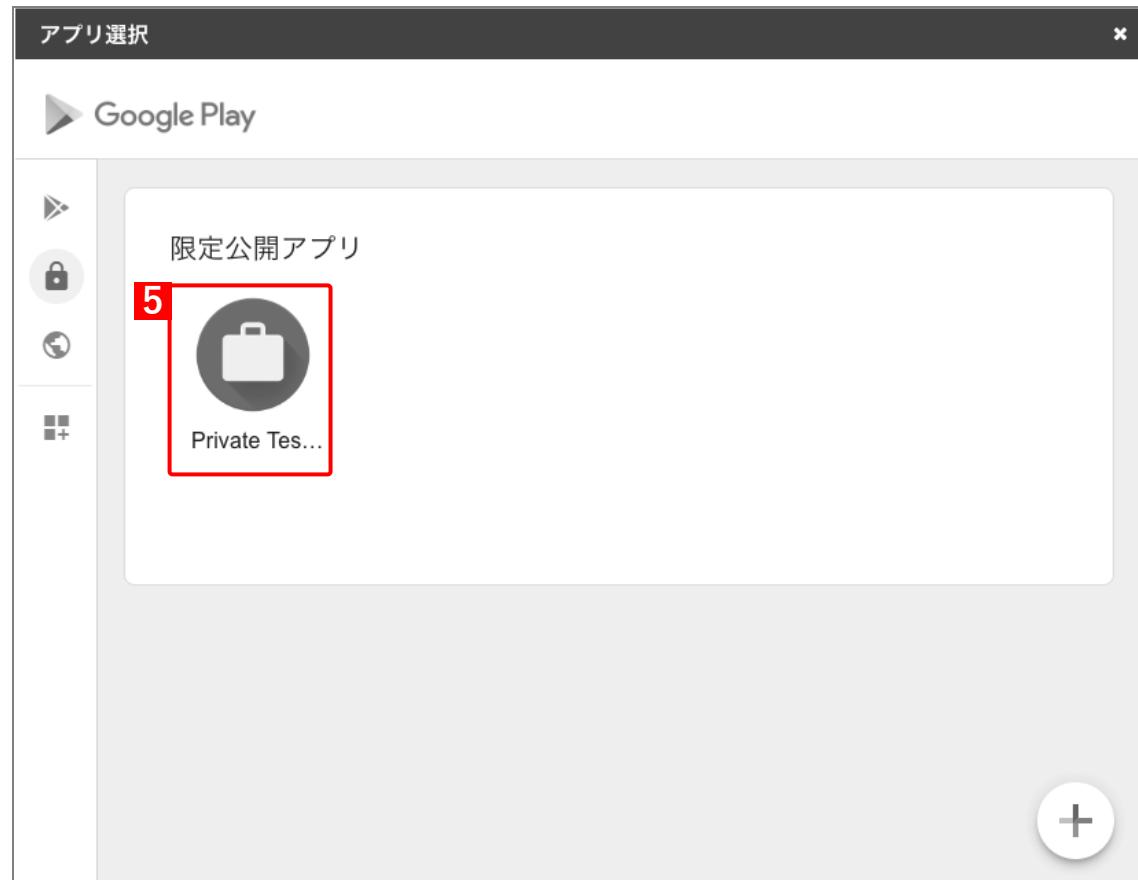
⇒ managed Google Play ストアの「アプリ選択」画面が表示されます。



【4】をクリックします。



【5】アップデートするアプリケーションをクリックします。



**[6]** [詳細な編集を行う] をクリックします。

⇒ Google のログイン画面が表示されます。

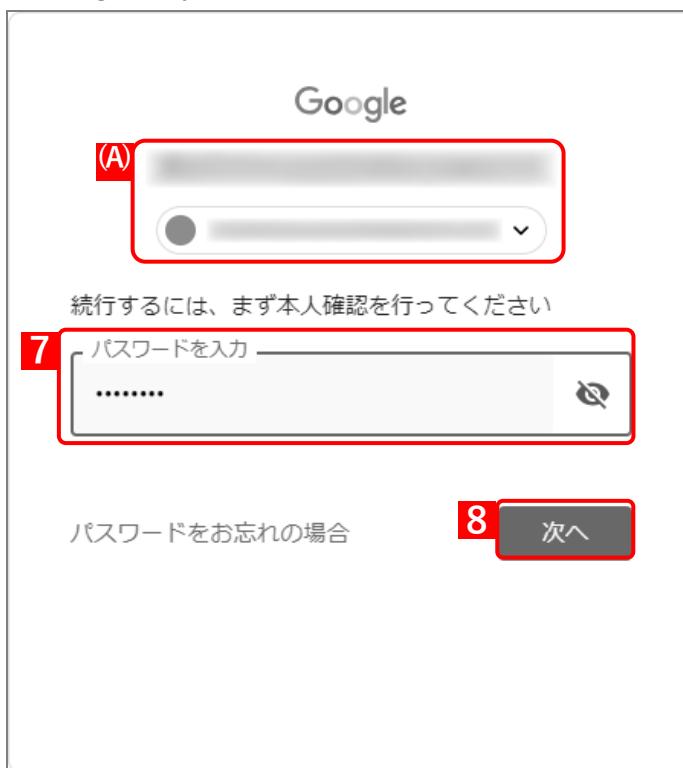
**[7]** 「パスワード」入力します。

(A) ログインアカウントが、以下であることを確認してください。

- Google アカウントでの連携の場合は、Android Enterprise アカウント登録画面に表示されているメールアドレスと同一である。
- Google Workspace での連携の場合は、Google Workspace の特権管理者アカウントである。

**[8]** [次へ] をクリックします。

⇒ Google Play Console 画面が表示されます。



**[9] [製品版] をクリックします。**



The screenshot shows the Google Play Console interface. The left sidebar has several tabs: ダッシュボード, 受信トレイ (5), 統計情報, 公開の概要, リリース, リリースの概要, 製品版 (highlighted with a red box), テスト, リーチとデバイス, App Bundle エクスプローラー, and 設定. The main content area is titled 'メインのストアの掲載情報' (Main Store Listing Information). It includes a search bar, a help icon, and a message about store listing policy changes. Below is a dropdown for language: デフォルト - 英語 (アメリカ合衆国) - en-US. A note says '\* - 必須項目です。すべての欄に英語 (アメリカ合衆国) - en-US で入力してください' (\* - Required field. Please enter in English (United States) - en-US for all fields). There's a section for 'アプリの詳細' (App Details) with a form for 'アプリ名' (App Name) containing '[REDACTED]' and a note 'ここで設定した名前がアプリ名として Google Play に表示されます。簡潔な名前を設定し、価格、ランク、絵文字、記号の繰り返しを含めないでください' (The name you set here will be displayed as the app name on Google Play. Set a simple name, avoiding price, rank, emoji, and symbol repetition). A note says '26 / 50'. Below is a '簡単な説明' (Brief Description) input field. At the bottom right are '変更を破棄' (Discard changes) and '保存' (Save) buttons.

**[10] [新しいリリースを作成] をクリックします。**



The screenshot shows the Google Play Console interface. The left sidebar has the same tabs as the previous screen, but the 'Products' tab is selected. A red box highlights the 'Products' tab in the sidebar. The main content area is titled '製品版' (Product Edition). It includes a search bar, a help icon, and a note about creating releases for all users in selected countries. Below is a 'トラックの概要' (Track Summary) section showing '無効' (Ineffective), '最新リリース: 4 (1.3)' (Latest release: 4 (1.3)), '0 か国 / 地域' (0 countries / regions), and 'インストール数: 0 件' (Number of installations: 0 pieces). There are three tabs at the top: 'リリース ダッシュボード' (selected), 'リリース', and '国 / 地域'. The 'リリース ダッシュボード' section shows 'リリース: 最新 (4 (1.3))' and '比較: すべてのリリース'. The 'リリースの安定性' (Release Stability) section shows 'クラッシュ' (Crash) with a note 'データを使用できません' (Data cannot be used) and 'デバイス 1,000 台あたりのクラッシュ数' (Number of crashes per 1,000 devices) with a note 'データを使用できません' (Data cannot be used). The '成長' (Growth) section shows two charts with notes 'データを使用できません' (Data cannot be used). At the bottom left is a 'ストアでの表示' (Store display) section with a note 'データを使用できません' (Data cannot be used).

- [11]** [アップロード] をクリックして、新しいバージョンのアプリの apk ファイルを選択します。  
**[12]** [保存] をクリックします。



- [13]** [リリースのレビュー] をクリックします。



**【14】 [製品版としての公開を開始] をクリックします。**

Google Play Console

すべてのアプリ

ダッシュボード

受信トレイ 5

統計情報

公開の概要

リリース

リリースの概要

■ 製品版

▶ テスト

▶ リッチとデバイス

App Bundle エクスプローラー

▶ 設定

成長

Play Console を検索

製品版リリースの作成

▲ リリースでエラーが検出されました

✓ 準備 — ② 確認して公開

リリースの破棄

エラー、警告、メッセージ

▲ 3 件の警告 もっと見る ▾

サポートされているデバイスの変更

デバイス カタログで除外されたデバイスは表示されません

デバイスタイプ 以前サポートされていたデバイス サポート対象外となったデバイス 新たにサポートされるデバイス

デバイスタイプ	以前サポートされていたデバイス	サポート対象外となったデバイス	新たにサポートされるデバイス
電話	9,933	0	0
タブレット	1,486	0	0
テレビ	8	0	0

公開前にリリースを確認

リリースを開始

14 製品版としての公開を開始

**【15】 [公開] をクリックします。**

Google Play Console

すべてのアプリ

ダッシュボード

受信トレイ 5

統計情報

公開の概要

リリース

リリースの概要

■ 製品版

▶ テスト

▶ リッチとデバイス

App Bundle エクスプローラー

▶ 設定

成長

Play Console を検索

製品版リリースの作成

▲ リリースでエラーが検出されました

✓ 準備 — ② 確認して公開

リリースの破棄

エラー、警告、メッセージ

▲ 3 件の警告 もっと見る ▾

製品版として公開しますか？

このリリースは、限定公開アプリにアクセスできる組織に公開されます。

キャンセル 15 公開

サポートされているデバイスの変更

デバイス カタログで除外されたデバイスは表示されません

デバイスタイプ 以前サポートされていたデバイス サポート対象外となったデバイス 新たにサポートされるデバイス

デバイスタイプ	以前サポートされていたデバイス	サポート対象外となったデバイス	新たにサポートされるデバイス
電話	9,933	0	0
タブレット	1,486	0	0
テレビ	8	0	0

公開前にリリースを確認

リリースを開始

15 製品版としての公開を開始

## 4 その他

## 4.1 注意事項

- 組織（ユーザー）に割り当てた「Android Enterprise アプリ配信設定」を以下のとおり変更すると、「アプリケーション配信」を利用してインストールていたアプリは、同期したときにアンインストールされます。
  - ・「(設定なし)」または「(所属組織に従う：設定なし)」に変更した場合
  - ・該当アプリが含まれていないアプリケーション配信設定に変更した場合
- 「個別アプリケーション」のアプリ個別設定を削除すると、「アプリケーション配信」でその設定を指定してインストールしていたアプリは、同期したときにアンインストールされます。
- 端末にユーザーを割り当てて同期させたあと、端末にアプリがインストールされるまでに多少時間がかかることがあります。
- アプリケーション配信設定に多くのアプリが含まれている場合は、端末にすべてのアプリがインストールされるまでに時間がかかります。

## 4.2 インストール／アップデートできないときは

以下のとおり設定されているか、確認してください。

### ◆管理サイト

- 組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定が正しく割り当てられている。  
☞ 「組織（ユーザー）にアプリケーション配信設定を割り当てる」
- アプリを配信する端末に、ユーザーが正しく割り当てられている。  
☞ 「端末にユーザーを割り当てる」
- 強制インストール（サイレントインストール）する場合は、アプリケーション配信設定で強制インストールしたい各アプリの「強制インストール」にチェックが入っている。  
☞ 「アプリケーション配信設定を作成する」手順【7】
- 企業許可アプリで、自動アップデート設定の条件を満たしている。  
☞ 「企業許可アプリを自動アップデートする」106 ページ

### ◆端末

- 「Play ストア」を「アプリを自動更新する」または「Wi-Fi 経由のみ」に設定している。
- Wi-Fi ネットワークに接続している。
- 端末を充電中にしている。
- 端末を操作していない。
- 更新対象のアプリがフォアグラウンドで実行していない。

 参考

- 上記を確認してもインストールができないときは、アプリケーション配信設定が割り当てられているユーザーの端末に、アプリを一括で配信します。(A) [配信] をクリックします。詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定—Android」—「アプリケーション」—「Android Enterprise／アプリケーション配信」—「画面（一括配信）」



- Android Enterprise で配信したアプリが、Google Play ストア上で「保留中」の状態からインストールされないときは、Google Play ストアのキャッシュ削除を行います。詳細については、以下を参照してください。

 『管理サイト リファレンスマニュアル』の「(操作—Android) Google Play ストアのキャッシュ削除」